

IP電話会議装置

MEETING BOX

取扱説明書
基本編

技術基準適合認証品

このたびは、MEETING BOXをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書・基本編」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

1
お使用に
なる前に**2**
本商品の
接続**3**
本商品の
設定方法**4**
電話機能の
使いかた**5**
Web機能
について**6**
ご参考に**7**
お困りの
ときには**8**
付録

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。
 外線接続	本書は、「外線接続」をメインに説明しています。 「外線接続」のみに該当する説明には、このマークを付けています。
 ゲートウェイ接続	本書は、「外線接続」をメインに説明しています。 「ゲートウェイ接続」のみに該当する説明には、このマークを付けています。
 内線接続	本書は、「外線接続」をメインに説明しています。 「内線接続」のみに該当する説明には、このマークを付けています。
 IPアドレス接続	本書は、「外線接続」をメインに説明しています。 「IPアドレス接続」のみに該当する説明には、このマークを付けています。

厳守事項

■ 取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的にご覧いただくことをおすすめします。

当社ホームページ： <http://web116.jp/ced/>

： <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。本商品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 記載しているWebブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。また、機能向上のためWebブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。

* Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 professional operating systemの略です。

* Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよび Microsoft® Windows® XP professional operating systemの略です。

* Windows Vista®は、Microsoft® Windows Vista® Ultimate、Microsoft® Windows Vista® Business、Microsoft® Windows Vista® Enterprise、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® Home Basicの略です。

* Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

* 画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

* その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

警告

- 本商品のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品は次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



- 本商品の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと、内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

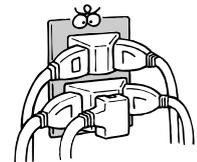
- ・ 本商品を逆さまにする。
- ・ 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- ・ 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
- ・ 本商品にテーブルクロスなどをかける。
- ・ 本商品の周りに物をおいて、開口部をふさぐ。

お取り扱いについて

警告

●電源アダプタは、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、本商品の誤動作の原因となることもあります。



●電源アダプタは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●お客様による本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。本商品の設置工事、配線作業、修理、移動を行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

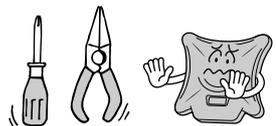
●万一、本商品を倒したり破損した場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品から異常音がしたり、本商品が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●本商品に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグ、LANケーブルや電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります）。



●万一、本商品に水などの液体が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて (つづき)



- 電源アダプタコードおよびLANケーブルや電話機コードなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源アダプタコードおよびLANケーブルや電話機コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタコードおよびLANケーブルや電話機コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 電源アダプタコードおよびLANケーブルや電話機コードの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 近くに雷が発生したときは、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタコードなどを熱器具に近づけないでください。本商品やコード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 電源アダプタは必ず専用のもを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください。火災・感電や故障の原因となることがあります。

設置について

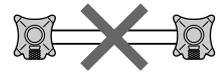
⚠ 注意

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

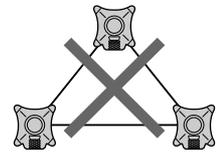
●本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- ・振動、衝撃の多い場所。

●本商品を2台接続し、IP電話回線どうしや加入電話回線を含めての2回線以上の接続は、ハウリングを生じますので絶対におやめください。



●本商品をリング状態接続して多地点接続をすると、ハウリングを生じますので絶対におやめください。



●本商品をカスケード状態で接続して多地点接続すると、遅延等により通話品質が悪化しますのでおやめください。



お取り扱いについて

⚠ 注意

●本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをおすすめします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

STOP お願い

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。



●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

●反響や残響の多い部屋や回線の種類およびネットワークの条件など、ご使用環境によっては、エコーを消しきれなかったり、音が途切れたり小さくなることがあります。



お取り扱いについて

STOP お願い

●本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



●本商品は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

●LANケーブルや電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



●本商品のプラスチック部分の一部に、光りの具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製造過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

取扱説明書の構成／取扱説明書の見かた

本商品の取扱説明書の構成と取扱説明書の見かたについて説明します。

取扱説明書の構成

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

取扱説明書・基本編（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。

取扱説明書・システムデータ設定編（CD-ROM：PDFファイル）

本書には記載されていない、本商品のより詳細な機能や設定方法について解説しています。

取扱説明書の見かた

本書は下記のように構成されています。

1 お使いになる前に

本商品の特長や注意事項、最初に必ず確認していただきたいことについて説明しています。

2 本商品の接続

本商品を電話回線や外部機器と接続する方法について説明しています。

3 本商品の設定方法

ご使用になる前に設定しておくIP電話およびネットワーク設定の内容について説明しています。

4 電話機能の使いかた

本商品のご使用方法について説明しています。

5 Web機能について

パソコンを利用して設定データをバックアップ／リストアする方法、ファームウェアの更新方法について説明しています。

6 ご参考に

本商品の初期化方法などについて説明しています。

7 お困りのときには

本商品がうまく動かないなど、お困りのときにお読みください。

8 付 録

各種サービスの利用方法や、本商品の仕様、本商品の保証・保守サービスの案内などについて記載しています。

お知らせ

- ご利用になる際には、お客様が外線接続しているIP電話サービス（ひかり電話ビジネスタイプ）のマニュアルや、内線接続しているビジネスホンの機器マニュアル、またはゲートウェイ接続しているひかり電話対応オフィスゲートウェイまたはひかり電話対応ホームゲートウェイの機器マニュアルなどを参照してください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
取扱説明書の構成／取扱説明書の見かた	9
取扱説明書の構成	9
取扱説明書の見かた	9

1 お使いになる前に

本商品のできること	12
方向別AGC (Automatic Gain Control：自動音量調整)	14
ご利用前の注意事項	15
セットを確認してください	17
各部の名前と機能	18

2 本商品の接続

接続方式	24
IP電話サービスに接続する(外線接続)	24
ゲートウェイに接続する(ゲートウェイ接続)	25
ビジネスホンに接続する(内線接続)	26
IPアドレス指定により接続する (IPアドレス接続)	27
システム動作モード	28
VoIP優先モード	28
TEL専用モード	29
外部機器接続モード	30
設置環境	31
本商品の設置	31
IP回線と接続するには	33
加入電話回線と接続するには	34
外部機器と接続するには	35
録音機器と接続するには	37
スピーカやマイクを接続するには	38
本商品の電源を入れるには	39
本商品を再起動するには	41

3 本商品の設定方法

IP電話の設定	43
ネットワーク設定を行うには	44
IP電話を利用するための設定	44
着信音量を調節するには	48
受話音量を調節するには	50
マイクミュートをするには	51

4 電話機能の使いかた

電話をかけるには	52
電話をかける(発信)	52
プリセットダイヤル	54
加入電話回線を選択して電話をかける	56
電話をかけられる相手先について	57
IP電話利用時の緊急通報(110/118/119) 発信の留意事項	57
短縮ダイヤルで電話をかけるには	58
発信履歴を使って電話をかけるには	60
着信履歴を使って電話をかけるには	62
電話を受けるには(着信)	64
多地点接続するには(発着信)	65
通話中に新たに電話をかける	66
通話中にかかってきた電話を受ける	67
各地点の電話番号を表示する	68
終話するには(切断先選択)	69
キャッチホンについて	70
加入電話のキャッチホンサービスをご利用の方	70
加入電話のキャッチホンサービスを利用していない方	70
ひかり電話のキャッチホンサービスをご利用の方	70
ひかり電話のキャッチホンサービスを利用していない方	70
発信者番号の通知と表示	71
通知される電話番号	71
電話番号の通知のされかた	71
短縮ダイヤルを登録するには	72
方向ランプの表示について	76
話者方向表示	76
通話地点表示	77

5 Web機能について

ログイン方法	78
ログアウト方法	81
システムデータのバックアップ方法	82
システムデータのリストア方法	84
ファームウェアの更新方法	88
ファームウェアバージョンの確認方法	88
ファームウェアのダウンロード方法	88
ファームウェアの更新方法	89
再起動方法	92

6 ご参考に

メニュー構成	94
バージョンを確認するには	96
自IPアドレスを確認するには	98
本商品の初期化について	100
初期化スイッチによる操作	101
メニューによる操作	102
手動アップデート	104
メニューによる操作	104

7 お困りのときには

トラブルや疑問点がある場合	106
---------------	-----

8 付録

各種サービスを利用するには	108
キャッチホンサービスを利用する	108
プッシュホンサービスを利用する	
(DP→PB切替)	109
文字入力について	110
文字入力モード別入力ボタン対応表	111
用語の説明	112
索引	115
仕様	116
お買い求め商品の保証および	
保守サービスのご案内	117

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

本商品でできること

本商品の特長などについて説明します。

特長

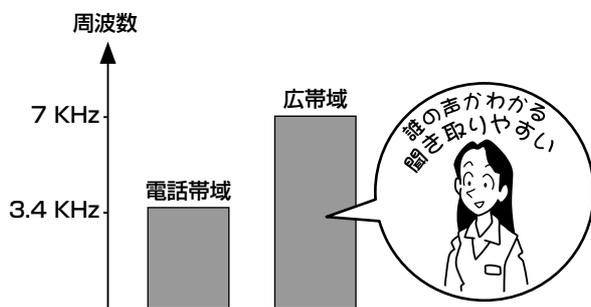
IP電話サービスが利用できます

ひかり電話ビジネスタイプや、ひかり電話対応オフィスゲートウェイまたはひかり電話対応ホームゲートウェイを介してひかり電話オフィスタイプまたはひかり電話が利用できます。



広帯域音声コーデック

ひかり電話対応オフィスゲートウェイまたはひかり電話対応ホームゲートウェイを介してひかり電話オフィスタイプまたはひかり電話をご利用の場合など、従来の3.4KHz音声帯域に比べて広帯域の7KHz音声帯域の音声通信が可能となり、高音質の会議通話ができます。



集音範囲を選択することができます

会議室の広さに応じて集音範囲を選択し、一定の音量の音声で相手とお話できます。



多地点接続による会議が利用できます

3地点のIP電話回線と1地点の加入電話回線で、IP電話サービス内容に従い、最大同時に4地点（自地点を含めて最大5地点）と会議通話ができます。



明瞭、高音質な通話を可能にするエコーキャンセラ機能

高音質の音声でお話することができ、ハウリングやエコーを抑えた自然な通話ができます。



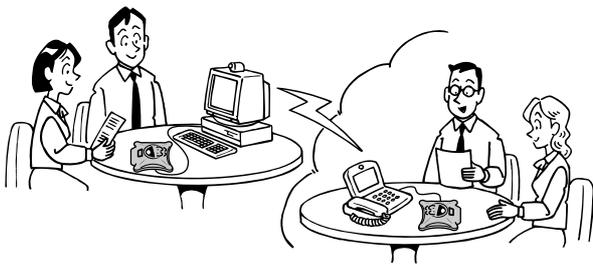
ノイズリダクション機能

周囲の雑音が入っても、ノイズを抑えてクリアな音声を相手に伝えます。



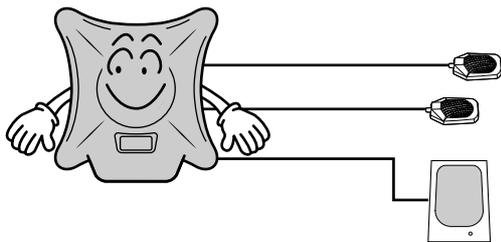
外部機器を接続してハンズフリー通話装置として利用できます

TV会議装置、携帯電話、パソコンなどを接続して、ハンズフリー通話装置として利用できます。



外部マイクや外部スピーカを接続することができます

外部マイクを最大2個、外部スピーカを1個接続することができます。



ボタン1つでマイクミュートすることができます

こちらの音声を相手に伝えたくないときは、マイクミュートボタンを押して、相手からの音声のみを聞くことができます。



見やすいディスプレイで簡単設定ができます

ディスプレイ（16桁×3行）を搭載しているため、本商品の状態がわかりやすく表示されます。また、ディスプレイを見ながら、設定を簡単に実行できます。

VoIPチャクシ
ヤマダ
0312345678

短縮ダイヤル機能で素早く発信することができます

最大100件の相手先の電話番号と名称を登録できます。短縮ダイヤルに登録していれば、電話番号を入力しなくても、短縮ボタンから相手を選択して素早く発信することができます。また、短縮ダイヤルに登録した電話番号と一致する相手先から着信した場合、ディスプレイに短縮ダイヤルに登録した名称が表示されます。

ヤマダさんは
短縮番号50番!



ファームウェアを手動でアップデートできます

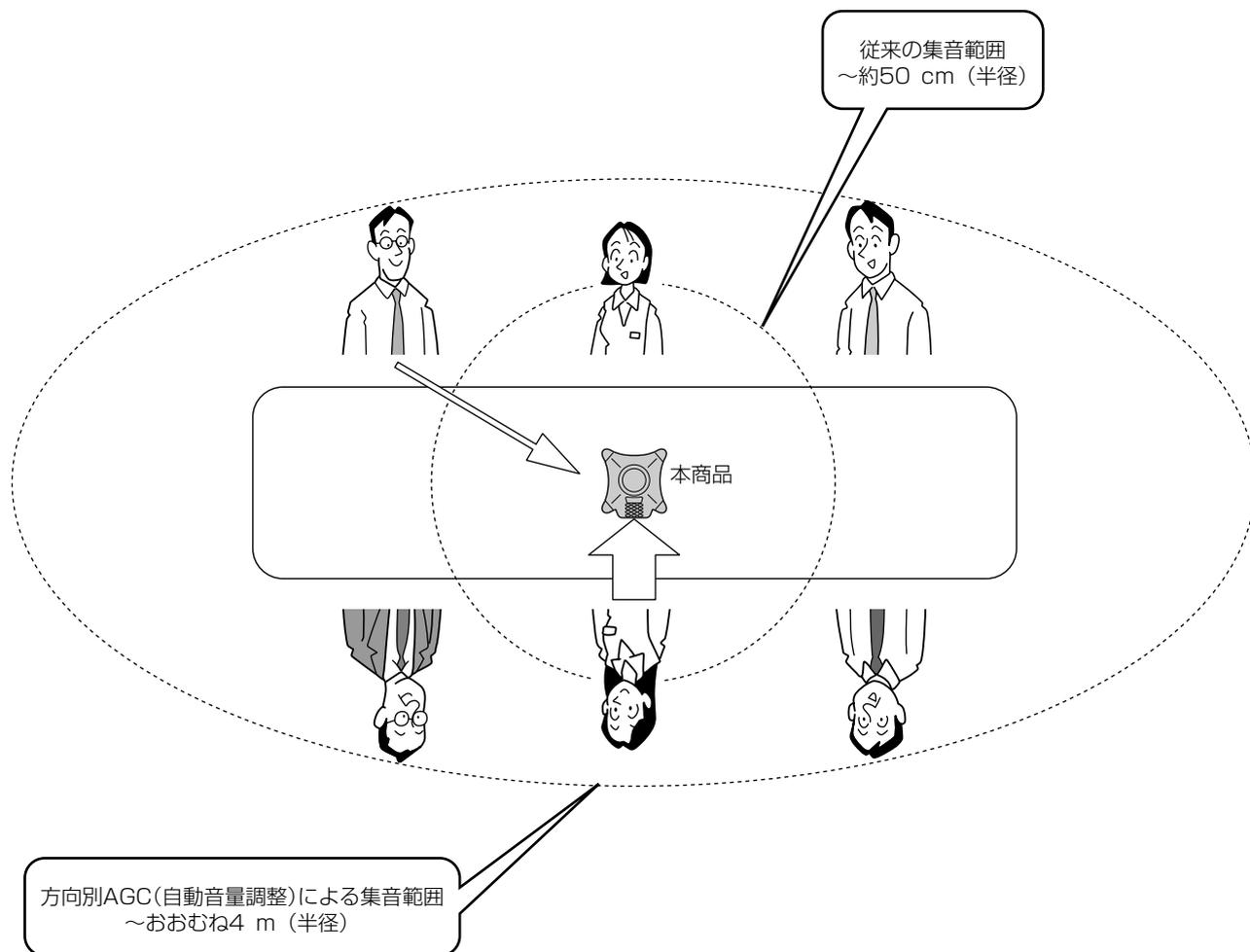
手動で最新のファームウェアが公開されているかを問い合わせ、公開されていた場合はアップデートすることができます。

新しいファームウェアは
あるかな...



方向別AGC (Automatic Gain Control : 自動音量調整)

本商品には方向別AGC（自動音量調整）機能が搭載されています。この機能は、1つの会議室にいる全員の声の大きさを同じような音量に補正して相手に伝える機能です。従来は、マイクから遠い人や小さな声の人の音声は、相手に届きにくいことがありましたが、方向別AGC（自動音量調整）機能を搭載することにより、マイクから遠い人と近い人が同時に話しても、両者とも同じような音量で相手に伝えることができるようになりました。4つのマイクに入力された音声をもとに、会議参加者が話すたびに話者の方向と声の大きさを測定し、過去の発言者を含めてマイク感度の指向性を決めることで、参加者全員の声を適正な音量となるようにします。



お知らせ

- 設置環境、周囲の雑音、部屋の残響、通話音量によっては、集音範囲内であっても、適正な音量とならない場合があります。
- 話し始めてから適正な音量となるまでに時間がかかることがあります。

電話機能に関するご注意

■IP電話と加入電話の識別

IP電話として通話しているか加入電話として通話しているかは、ディスプレイの表示により識別できません。



■IP電話の利用

- IP電話サービス（ひかり電話ビジネスタイプ）をご利用いただくためには、NTT東日本またはNTT西日本との契約および本商品へのIP電話設定が必要です。なお、本商品がひかり電話ビジネスタイプのサーバと通信できる状態にない場合、IP電話はご利用できません。
- IP電話サービス（ひかり電話ビジネスタイプ）はNTT東日本またはNTT西日本が提供するサービスです。ひかり電話ビジネスタイプのサービス内容や利用料金等は、NTT東日本またはNTT西日本に必ずご確認ください。
- IP電話サービス（ひかり電話ビジネスタイプ）として通話した場合の通話料金はNTT東日本またはNTT西日本から請求されます。また、IP電話として通話した場合に相手先に通知できる発信者番号は、NTT東日本またはNTT西日本から付与されたIP電話番号です。
- ご利用のネットワークの条件やIP回線の種類により、回線混雑時などに伝送帯域や伝送遅延が確保されず、音が途切れたり、雑音や通話の遅延が発生して通話しづらい場合があります。
- 音声ガイド等で通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。確実に通信したい場合には、加入電話をご利用ください。
- IP電話通話中に本商品の電源が切れた場合や再起動中、ファームウェア更新中になった場合は、通話が切断されます。

■加入電話の利用

- 加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。
- 緊急通報（110番や119番等）や一部の電話番号（※）をダイヤルする場合は、必ず加入電話を選択して発信してください。本商品に加入電話回線が接続されていないと通話できませんのでご注意ください。
※他に113、116、117、177等の「1」から始まる3桁番号や「#」で始まる番号。ただし、184/186は除きます。
- 加入電話として通話した場合の通話料金は、NTT東日本・NTT西日本またはマイライン（マイラインプラス）に登録された電話会社から請求されます。
- VoIP優先モードで意図的に加入電話として発信したい場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロ4桁）をダイヤルしてください。
- VoIP優先モードでなんらかの事情によりIP電話がご利用いただけない場合は、「0000」（ゼロ4桁）をダイヤルすることにより加入電話として通話することができます。
- LANケーブルが接続されていない場合は、TEL専用モードとなり、全て加入電話としての通話となります。この場合、「0000」（ゼロ4桁）はダイヤルする必要はありません。
- 停電時、および本商品の電源が切れている場合、本商品はご利用できません。

お客様情報に関するご注意

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を廃棄（または譲渡、返却等）される際は、本商品を初期化して本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書「ご参考に」の「本商品の初期化について」（P100）に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

CD-ROMのお取り扱い上・保管上のご注意

- ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
- ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。
- ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないでください。
- ひび割れや変形、また接着剤等で補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。
- 直射日光のあたる場所や、高温・多湿の場所には放置しないでください。
- ディスクは使用后、元のケースに入れて保管してください。

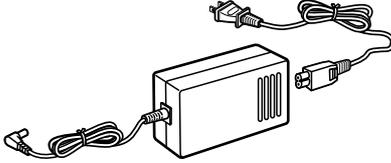
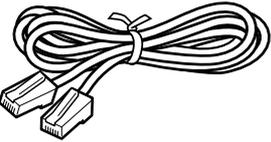
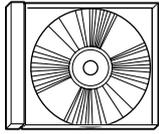
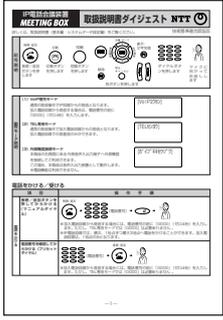
CD-ROMの著作権、免責事項について

- 当社は、添付CD-ROMに不備があっても、訂正する義務を負わないものとします。
- 添付CD-ROMの記載事項は、ご利用者への事前連絡なく仕様を変更したり、サービスの提供を中止する場合があります。

セットを確認してください

設置を始める前に、構成品が全てそろっていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

【構成品】

<p>①本体（1台）</p> 	<p>②電源アダプタ（1セット） （本体、電源コード）</p>  <p>※ご使用になる場合には、両方を正しくつなげてください。</p>	<p>③電話機コード（1本） （長さ：約5 m、色：グレー）</p> 
<p>④LANケーブル（1本） （ストレート、長さ：約5 m、色：アイボリー）</p> 	<p>⑤取扱説明書CD-ROM（1枚）</p> 	<p>⑥取扱説明書ダイジェスト（1枚）</p> 
<p>⑦取扱説明書 基本編（本書1冊） ⑧お取扱相談センタシール（1枚） ⑨保証書（1枚）</p>		

1
お
使
い
に
な
る
前
に

2
本
商
品
の
接
続

3
本
商
品
の
設
定
方
法

4
電
話
機
能
の
使
い
か
た

5
W
e
b
機
能
に
つ
い
て

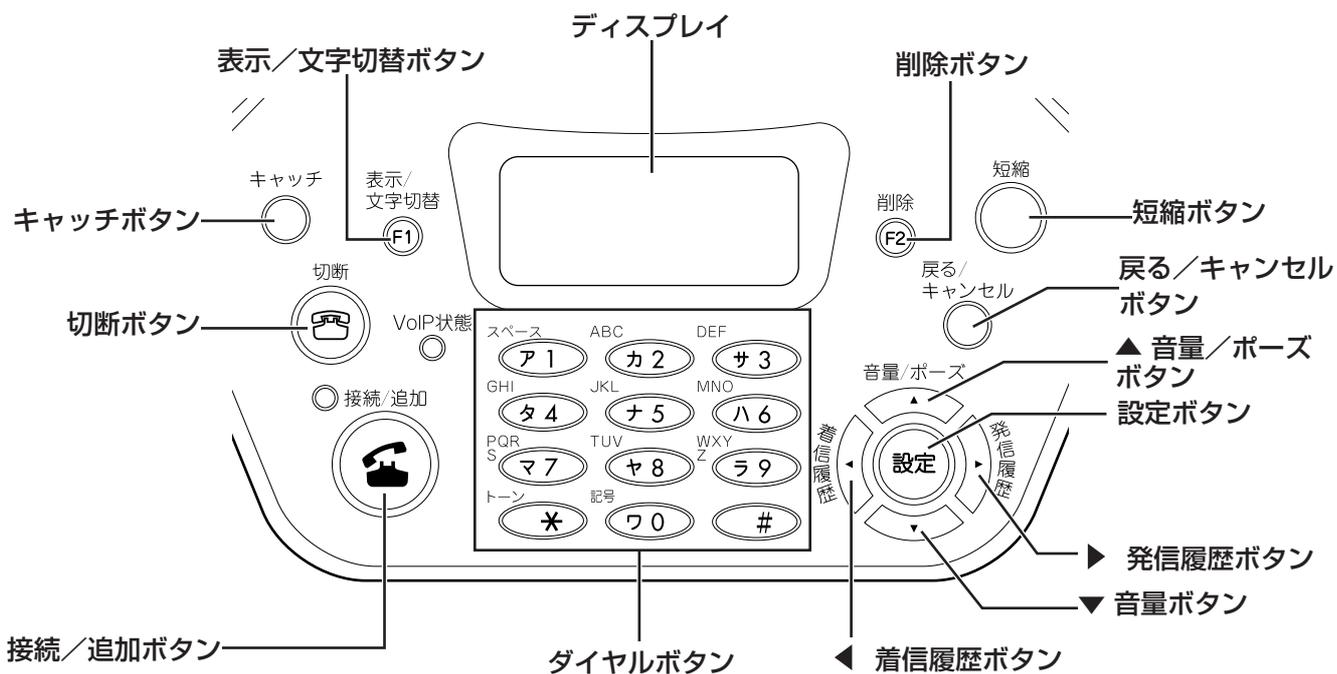
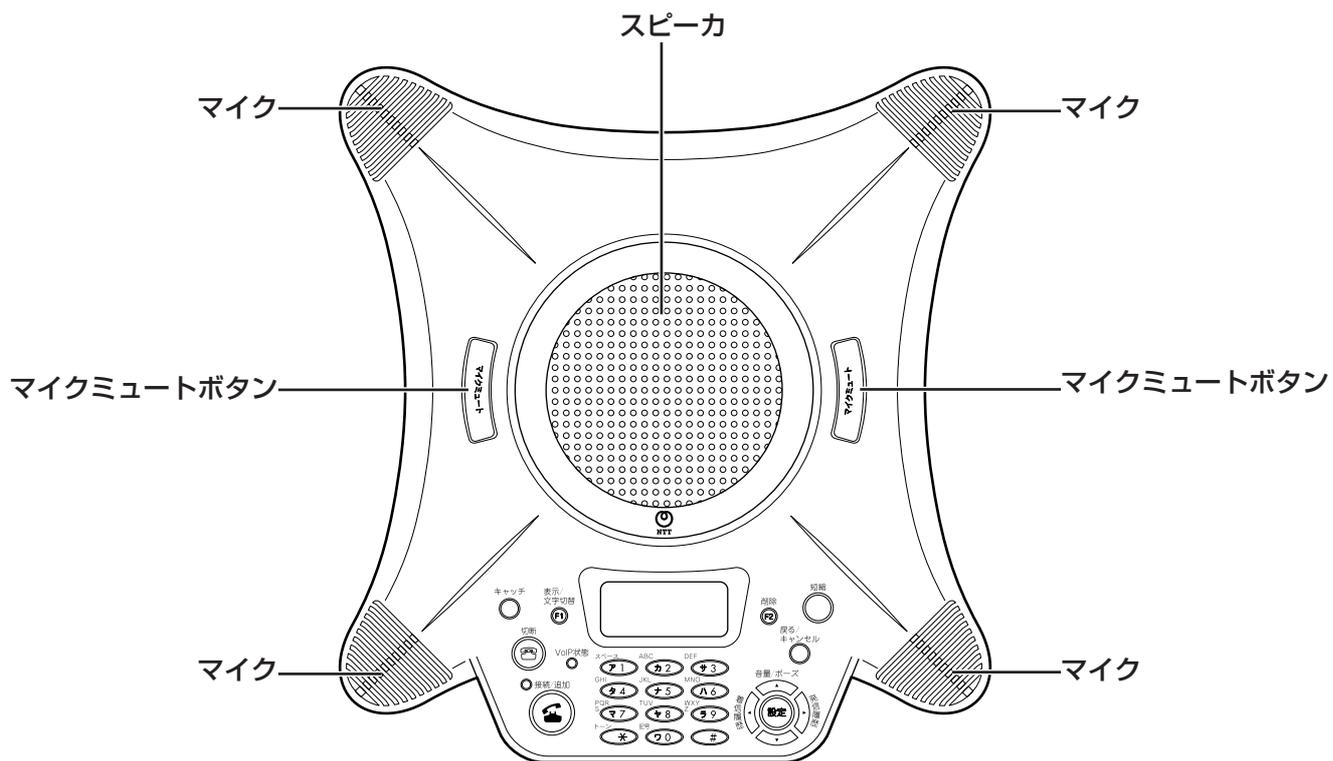
6
ご
参
考
に

7
お
困
り
の
時
に
は

8
付
録

各部の名前と機能

【上面図】



■各部の機能

名 前	機 能	参照ページ
マイク	本体の4か所にあります。	「本商品の設置」(●P31)
スピーカ	相手の音声を出力します。	「本商品の設置」(●P31)
マイクミュートボタン	本体の2か所にあります。マイクのON/OFFを切り替えるときに押します。	「マイクミュートをするには」(●P51)
キャッチボタン	加入電話でキャッチホンサービスを利用する場合に押します。	「キャッチホンについて」(●P70) 「キャッチホンサービスを利用する」(●P108)
表示/文字切替ボタン	文字入力をする場合に、文字の種類を切り替えます。多地点接続中に相手先を表示する場合にも使用します。	「文字入力について」(●P110) 「各地点の電話番号を表示する」(●P68)
切断ボタン	通話を切断するときに押します。切断する相手を選択して切断することもできます。メニュー操作中に、待機状態に戻る場合に押します。	「終話するには(切断先選択)」(●P69) 「メニュー構成」(●P94)
接続/追加ボタン	こちらから電話をかけるときに押します。かかってきた電話を受けるときに押します。	「電話をかけるには」(●P52) 「電話を受けるには(着信)」(●P64)
ディスプレイ	各種の情報が表示されます。また、各種の設定をするときに使用します。	「ディスプレイの見かた」(●P23)
ダイヤルボタン	電話をかけるときや文字入力をするときに使用します。ダイヤルボタン(75)の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方が電話をかけるときのダイヤル操作を容易にするためのものです。	「電話をかけるには」(●P52)
短縮ボタン	短縮ダイヤルで電話をかけるときに押します。	「短縮ダイヤルで電話をかけるには」(●P58)
削除ボタン	文字入力時に、文字を削除するときに押します。プリセットダイヤル入力時に、1桁削除するときに押します。	「文字入力について」(●P110)
戻る/キャンセルボタン	メニュー操作や短縮ダイヤル登録などで、前の画面に戻るときに押します。	「メニュー構成」(●P94)
設定ボタン	設定メニューを表示します。選択した項目や入力した内容を確定するときにも使用します。	「メニュー構成」(●P94)
▲ 音量/ポーズボタン	メニュー操作で、選択行を上に移動します。通話中に受話音量を大きくします。短縮ダイヤルを登録するときに、ポーズを入力することができます。	「受話音量を調節するには」(●P50) 「メニュー構成」(●P94) 「文字入力について」(●P110)
▼ 音量ボタン	メニュー操作で、選択行を下に移動します。通話中に受話音量を小さくします。	「受話音量を調節するには」(●P50) 「メニュー構成」(●P94)
◀ 着信履歴ボタン	メニュー操作や文字入力で、カーソルを左に移動します。各種レベルの調節をします。着信履歴を表示します。	「文字入力について」(●P110) 「着信履歴を使って電話をかけるには」(●P62)
▶ 発信履歴ボタン	メニュー操作や文字入力で、カーソルを右に移動します。各種レベルの調節をします。発信履歴を表示します。	「文字入力について」(●P110) 「発信履歴を使って電話をかけるには」(●P60)

1
お
使
い
に
な
る
前
に

2
接
続
本
商
品
の

3
設
定
方
法
本
商
品
の

4
使
い
か
た
電
話
機
能
の

5
に
W
e
b
機
能
に
つ
い
て

6
ご
参
考
に

7
お
困
り
の
時
に
は

8
付
録

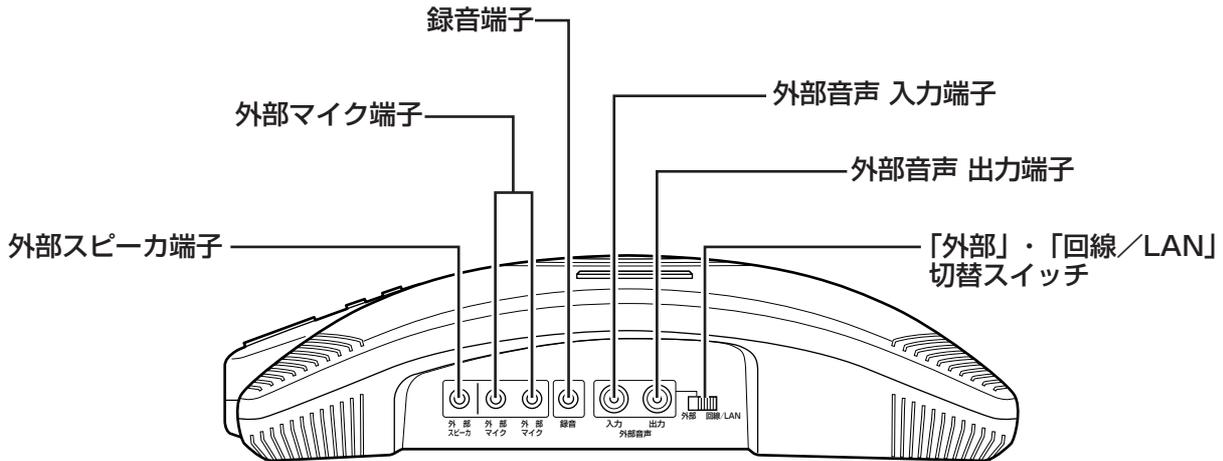
各部の名前と機能



■ランプ表示

ランプの種類	ランプのつきかた (色)	状態	参照ページ
VoIP状態ランプ	消灯	IP電話をご利用できないとき	「IP回線と接続するには」(●P33)
	遅い点滅 (緑)	IP電話接続登録中	
	点灯 (緑)	IP電話をご利用可能なとき	
通話状態ランプ	消灯	待機中	「電話をかけるには」(●P52) 「電話を受けるには(着信)」(●P64)
	速い点滅 (緑)	着信中 通話中に別の着信があった場合も点滅します。	
	点灯 (緑)	発信中／通話中	
方向ランプ	点灯 (青)	発話者方向 (話者方向表示設定時) 発話地点 (通話地点表示設定時)	「方向ランプの表示について」(●P76)
	点灯／点滅 (青) × 8個	初期化実行中	
	点灯 (赤)	接続地点 (通話地点表示設定時)	
	遅い点滅 (赤) × 8個	マイクミュート中	
	点灯／点滅 (赤と青)	起動中 (通電時)	
	消灯	表示OFFモード設定時	

【右側面図】

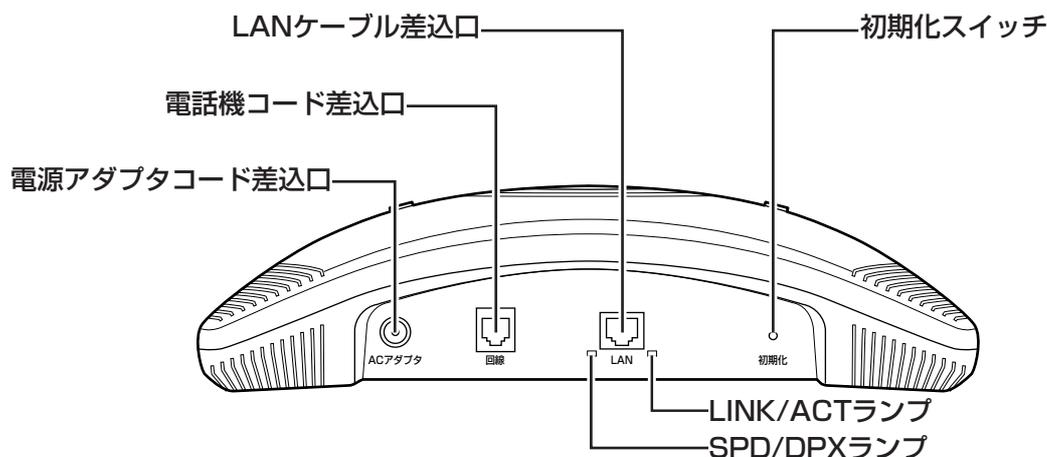


■各部の機能

名 前	機 能	参照ページ
外部スピーカ端子	外部スピーカを接続する端子です。	「スピーカやマイクを接続するには」(●P38)
外部マイク端子	外部マイクを接続する端子です。2本のマイクを接続できます。	
録音端子	録音機器を接続する端子です。相手とこちらの音声を録音できます。	「録音機器と接続するには」(●P37)
外部音声 入力端子	「外部」・「回線/LAN」切替スイッチを「外部」に切り替えると、本商品を音声入力装置にすることができます。 TV会議装置、携帯電話、パソコンなどを接続できます。	「外部機器と接続するには」(●P35)
外部音声 出力端子	「外部」・「回線/LAN」切替スイッチを「外部」に切り替えると、本商品を音声出力装置にすることができます。 TV会議装置、携帯電話、パソコンなどを接続できます。	
「外部」・「回線/LAN」切替スイッチ	「外部」に切り替えると、外部機器接続モードになり、外部機器の音声入出力装置になります。(電話機としてはご利用できません。) 「回線/LAN」に切り替えると、IP電話や加入電話回線を利用できます。 このスイッチを切り替えた場合には、本商品の再起動が必要です。	「システム動作モード」(●P28)

各部の名前と機能

【背面図】



■各部の機能

名前	機能	参照ページ
電源アダプタコード差込口	電源アダプタのプラグを差し込みます。本商品には電源をON/OFFするボタンがありません。電源アダプタを接続すると電源がONになります。	「本商品の電源を入れるには」 (●P39)
電話機コード差込口	加入電話回線の電話機コードを差し込みます。	「加入電話回線と接続するには」 (●P34)
LANケーブル差込口	LANケーブルを差し込み、IP回線やパソコンと接続します。	「IP回線と接続するには」 (●P33)
初期化スイッチ	小穴に細くて堅い棒を入れて押しながら電源を入れると、お買い求め時の状態に戻ります。	「初期化スイッチによる操作」 (●P101)

■ランプ表示

ランプの種類	ランプのつきかた (色)	状態	参照ページ
LINK/ ACTランプ	消灯	IP回線が利用できないとき	「VoIP優先モード」 (●P28)
	点灯 (緑)	IP回線が利用可能なとき	
	点滅 (緑)	IP回線でデータ通信中	
SPD/ DPXランプ	消灯	IP回線が利用できない、または10 Mbps (半二重) のとき	—
	点灯 (赤)	100 Mbps (半二重) のとき	
	点灯 (緑)	10 Mbps (全二重) のとき	
	点灯 (赤・緑)	100 Mbps (全二重) のとき	

【ディスプレイの見かた】

本書では、**選択状態の行を反転表示で説明していますが、実際のディスプレイでは、選択状態の行が点滅します。**

ディスプレイの表示は、システム動作モードによって異なります。ここでは、「VoIP優先モード」でのディスプレイの見かたについて説明します。

システム動作モードによる表示の違いについては、「システム動作モード」を参照してください。(▶P28)

■ディスプレイの表示例

待機中	[VoIPウセ]	待機中にシステム動作モードが表示されます。
	[VoIPウセ] チャクンキヨクON ナイブマイクOFF	一時設定(※1)がされている場合はその内容も表示されます。
発信中表示	VoIPワッソ 0312345678	ダイヤルボタンで発信するときは電話番号が表示されます。
	VoIPワッソ ツカ 0312345678	短縮番号で発信するときは、発信先の名称と電話番号またはIPアドレスが表示されます。
着信中表示(※2)	VoIPチャクン 0312345678	短縮ダイヤルに登録していない相手から着信したときは、電話番号またはIPアドレスが表示されます。
	VoIPチャクン ツカ 0312345678	短縮ダイヤルに登録している相手から着信したときは、名称と電話番号またはIPアドレスが表示されます。
	VoIPチャクン ヒツウチ	電話をかけてきた相手が非通知で発信したときは、「ヒツウチ」と表示されます。
通話中表示	ツウ (IP3/TEL1) PB	IP回線と加入電話回線の使用回線数が表示されます。左記の画面は、IP回線3回線、加入電話回線1回線が使用中であることを示します。PB送出モードになっている場合には“PB”が表示されます。
	IP#1ツウ コウオンツ ツカ 0312345678	通話しているときに表示/文字切替ボタンを押すと、通話している相手の電話番号またはIPアドレス(短縮ダイヤルに登録している場合は電話番号またはIPアドレスと名称)と通話中の音質が表示されます。表示/文字切替ボタンを押すたびに、IP#1→IP#2→IP#3→TELの順に表示されます。

通話ダイヤル	ツウ (IP2/TEL1) PB #12345678	通話中に、ダイヤルした内容が表示されます。
受話音量切替	ツウ (IP3/TEL1) PB ジユオンリョウ 12 >>>>>>>>>>>>	通話中に、▲ボタンまたは▼ボタンを押すと、受話音量を調節できます。このとき、音量を調節する画面が表示されます。
切断	セツタンサキセンタク スベテセツタン IP#1:ススキ	切断ボタンを押すと切断先を選択する画面が表示されます。この状態では、まだ切断されていません。「スベテセツタン」を選択している状態で、再度、切断ボタンを押すと、全ての通話が切断されます。
	セツタンサキセンタク IP#1:ススキ IP#2:0312345678	切断先を選択するには、▼ボタンまたは▲ボタンで切断する相手を選択してから、切断ボタンを押します。
その他	Webログインチュウ!	本商品とパソコンを接続して、パソコンから本商品にログインしているときに設定ボタンを押すと表示されます。

※1 一時設定には着信拒否と内部マイクのON/OFFがあります。設定方法については、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。

※2 加入電話回線に電話がかかってきた場合には、名称・電話番号は表示されません。

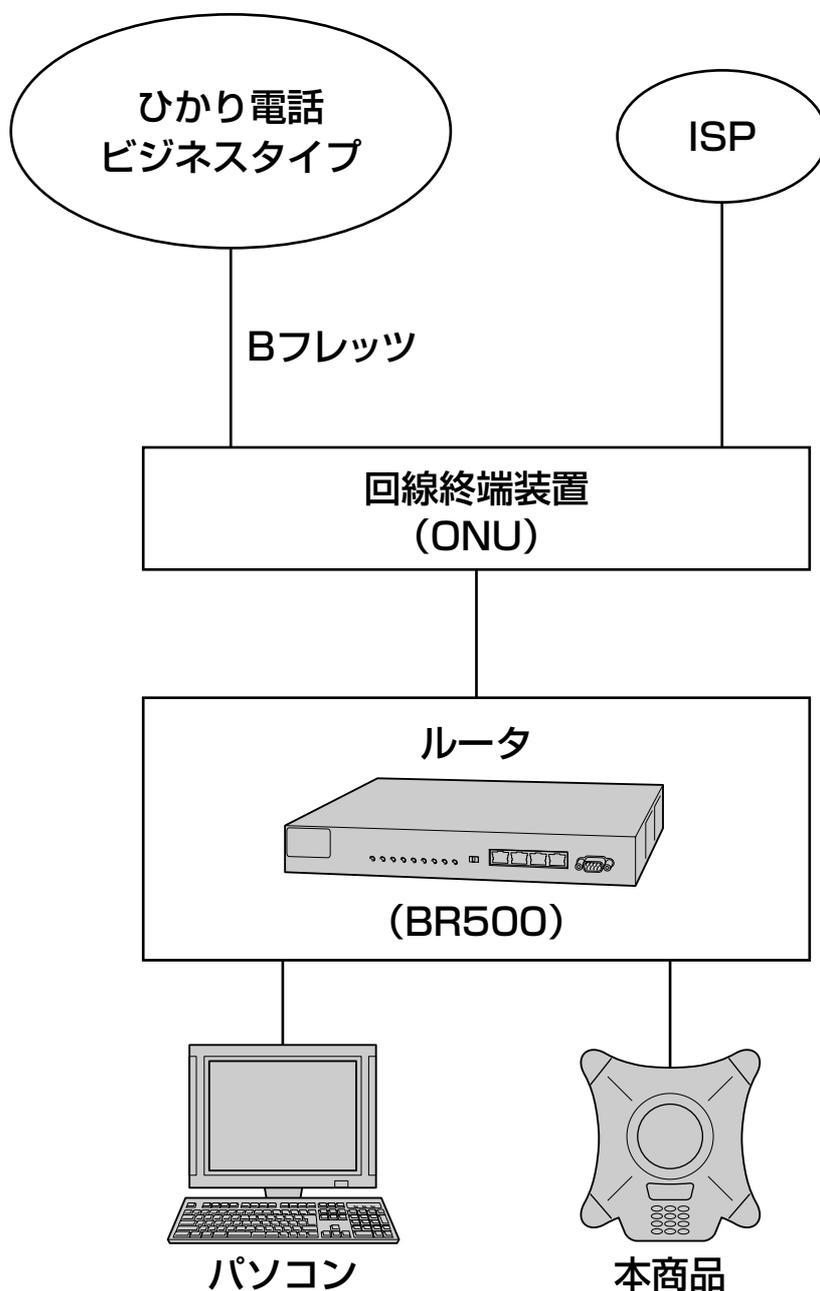
接続方式

本商品を接続する際の接続方式の種類について説明します。

IP電話サービスに接続する（外線接続）

法人向けIP電話サービスである「ひかり電話ビジネスタイプ」（NTT東日本・NTT西日本）を利用する場合の接続例を以下に示します。

外線接続をするために必要なシステムデータについては、「ネットワーク設定を行うには」の「外線接続」を参照してください。（☛P44）



1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

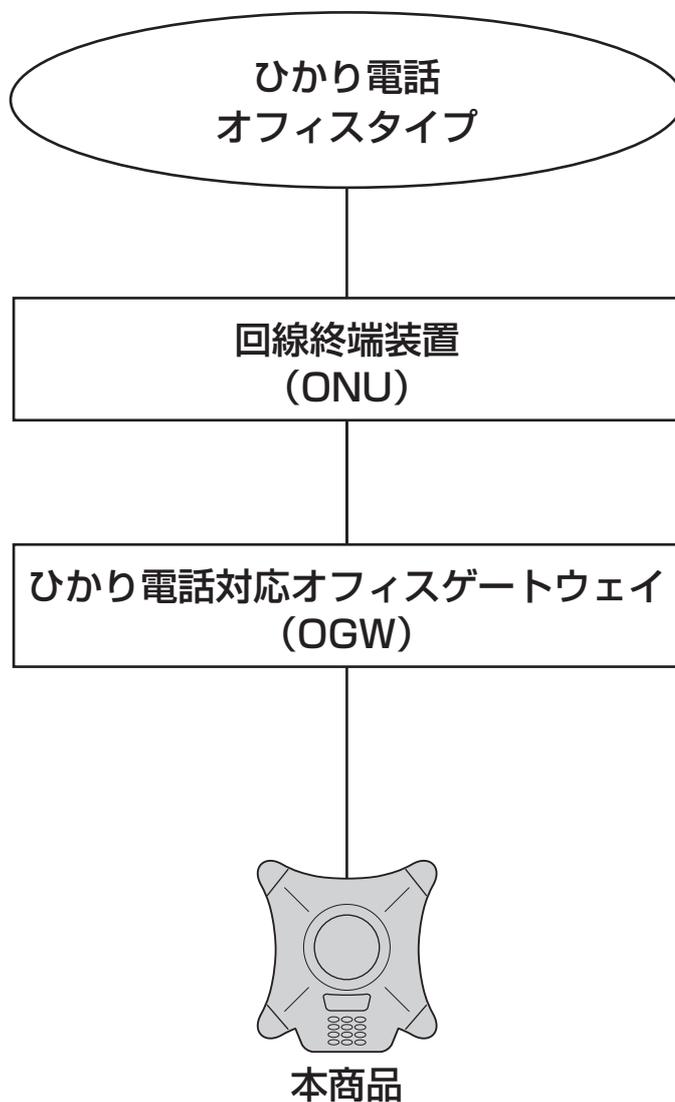
7
お困りの
ときには

8
付録

ゲートウェイに接続する（ゲートウェイ接続）

IP電話対応機器のひとつであるひかり電話対応オフィスゲートウェイまたはひかり電話対応ホームゲートウェイに接続して、IP内線端末として利用する場合の接続例を示します。

ゲートウェイ接続をするために必要なシステムデータについては、「ネットワーク設定を行うには」の「ゲートウェイ接続」を参照してください。（☛P45）



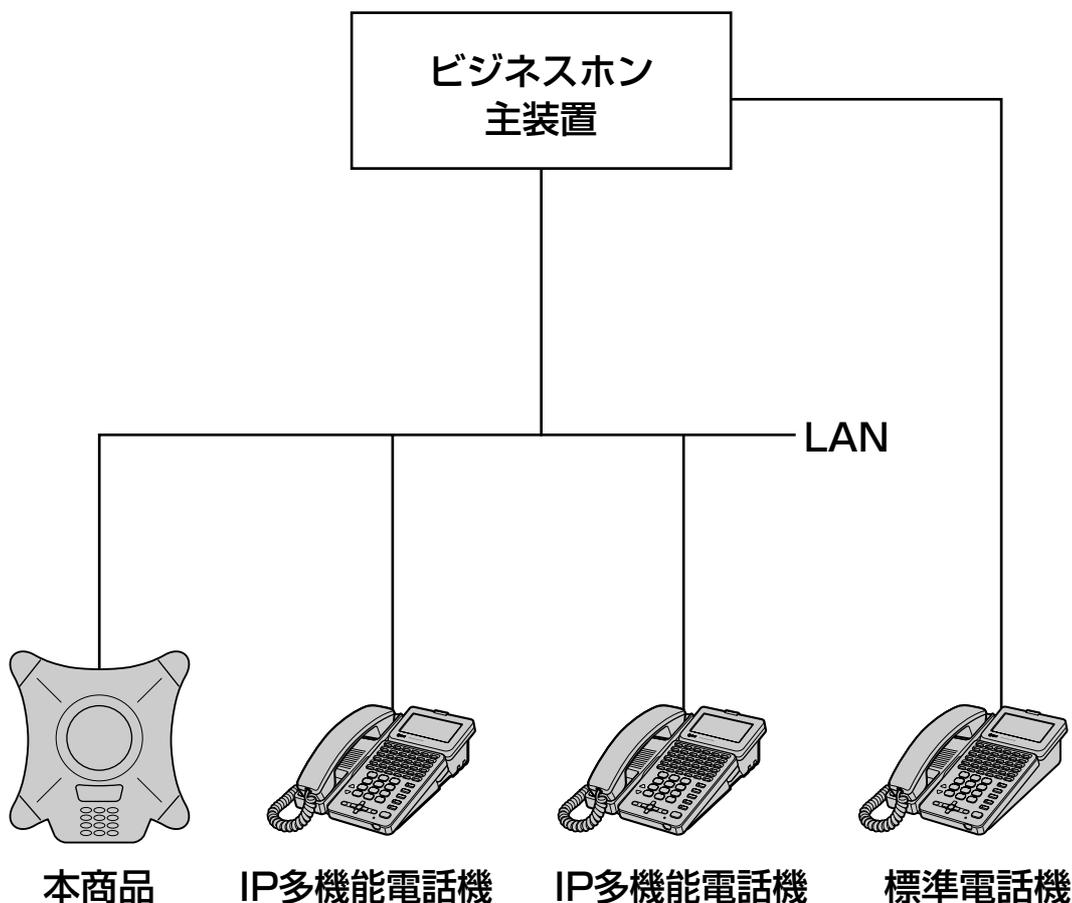
お知らせ

●本商品を接続してIP内線端末として利用できるIP電話対応機器は、お取扱相談センタへお問い合わせください。

ビジネスホンに接続する（内線接続）

ビジネスホンに接続して、IP内線端末として利用する場合の接続例を示します。

内線接続をするために必要なシステムデータについては、「ネットワーク設定を行うには」の「内線接続」を参照してください。（☛P46）



STOP お願い

- 本商品のシステムバージョン「V1.00」と「V2.00以降」との間では、広帯域音声コーデックによる高音質の会議通話できません。現在のシステムバージョンが「V1.00」の場合、最新のファームウェアへ更新を行ってください。バージョンの確認方法は、「バージョンを確認するには」(☛P96)を参照してください。ファームウェアの更新方法は、「ファームウェアの更新方法」を参照してください。(☛P88)

お知らせ

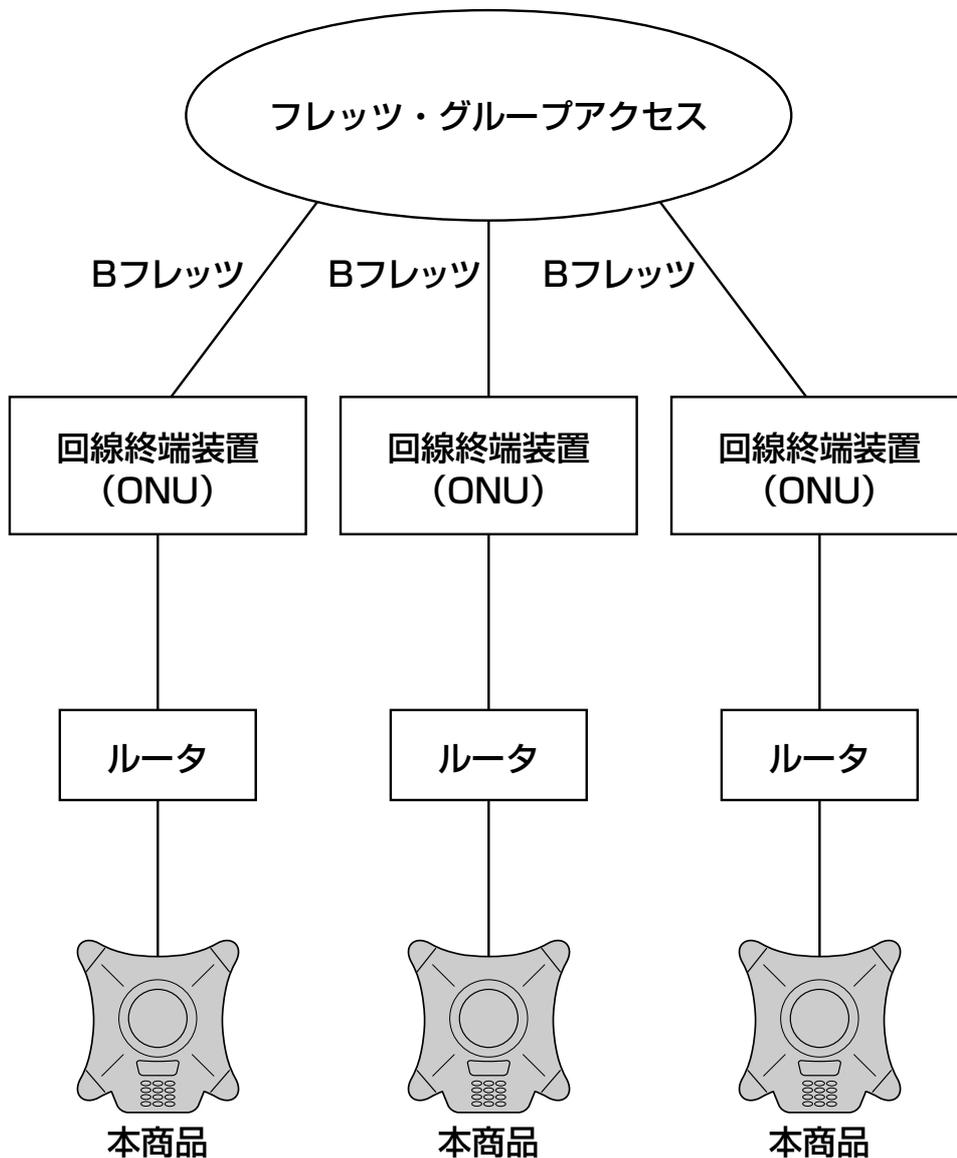
- 本商品をビジネスホンに収容し、多地点接続ができます。本商品を収容できるビジネスホンの種類および多地点接続機能などの動作機能については、お取扱相談センタへお問い合わせください。

IPアドレス指定により接続する (IPアドレス接続)

フレッツ・グループアクセスを利用したIPアドレス接続の接続例を以下に示します。

この接続方式では、電話番号ではなくIPアドレスで発着信します。

IPアドレス接続をするために必要なシステムデータについては、「ネットワーク設定を行うには」の「IPアドレス接続」を参照してください。(P47)



STOP お願い

- 本商品のシステムバージョン「V1.00」と「V2.00以降」との間では、広帯域音声コーデックによる高音質の会議通話できません。現在のシステムバージョンが「V1.00」の場合、最新のファームウェアへ更新を行ってください。バージョンの確認方法は、「バージョンを確認するには」(P96)を参照してください。ファームウェアの更新方法は、「ファームウェアの更新方法」を参照してください。(P88)

システム動作モード

本商品には、3種類のシステム動作モードがあります。IP電話を優先して利用する場合は、「VoIP優先モード」、加入電話回線のみ利用する場合は「TEL専用モード」、外部機器を接続して本商品をハンズフリーの音声入出力装置として利用する場合は「外部機器接続モード」に設定します。

VoIP優先モード

「VoIP優先モード」では、IP回線を優先して発信します。

※加入電話回線から発信する場合は、ダイヤルの先頭に「0000」（ゼロ4桁）を付けます。

LANケーブル差込口にIP回線を接続します。加入電話回線も利用する場合には、電話機コード差込口に加入電話回線を接続します。

本商品をIP回線と接続する方法については、「IP回線と接続するには」（●P33）を参照してください。

加入電話回線へも接続する方法については、「加入電話回線と接続するには」（●P34）を参照してください。

「VoIP優先モード」での待機状態の表示例を以下に示します。

[VoIPコウゼン]



お知らせ

- LANケーブル差込口にLANケーブルを差し込んで、LINK/ACTランプが緑色に点灯した場合は、「VoIP優先モード」になります。LINK/ACTランプが消灯している場合や、LANケーブルを差し込んでいない場合は、自動的に「TEL専用モード」に切り替わります。
- 通話中などにLANケーブルを抜き差ししても、「VoIP優先モード」と「TEL専用モード」は自動的に切り替わりません。待機状態で行ってください。

TEL専用モード

「TEL専用モード」では、加入電話回線からのみ発信します。

LANケーブル差込口に何も接続しない状態で、電話機コード差込口に加入電話回線を接続します。

※ IP回線からの発信はできません。

※ 「VoIP優先モード」とは異なり、ダイヤルの先頭に「0000」（ゼロ4桁）を付ける必要はありません。

本商品を加入電話回線と接続する方法については、「加入電話回線と接続するには」（●P34）を参照してください。

「TEL専用モード」での待機状態の表示例を以下に示します。

[TELセゾク]



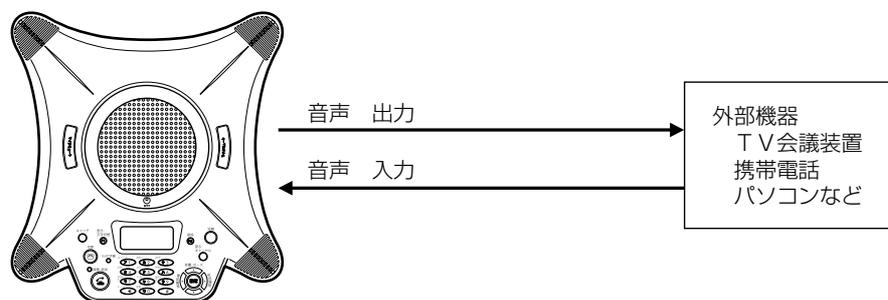
お知らせ

- LANケーブル差込口および電話機コード差込口に何も接続していない状態の場合は、「TEL専用モード」に切り替わります。

外部機器接続モード

「外部機器接続モード」では、外部機器を接続して、本商品をハンズフリーの音声入出力装置として利用できます。このモードでは、電話機としての機能は利用できません。

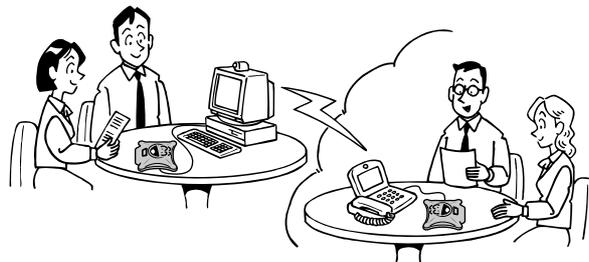
電源をOFFにした状態で「外部」・「回線/LAN」切替スイッチを「外部」に切り替えて、TV会議装置、携帯電話、パソコンなどの外部機器を外部音声入力（出力）端子に接続後、電源をONにすると「外部機器接続モード」で動作します。



「外部機器接続モード」での待機状態の表示例を以下に示します。

[カ イブ キセツゾク]

本商品を外部機器と接続する方法については、「外部機器と接続するには」(P35)を参照してください。



ワンポイント

- 「VoIP優先モード」や「TEL専用モード」に戻す場合には

電源をOFFにした状態で「外部」・「回線/LAN」切替スイッチを「回線/LAN」側に切り替えて、電源をONにしてください。(P39)

本商品の設置

本商品を設置するときは、設置場所が適当かどうか確認してから行ってください。

■ 円卓形式の場合

本商品は会議参加者の中央に置いてご使用ください。

本商品と会議参加者との距離は、約50 cm～約4 mが最適です。

従来商品ではマイクから離れた人の声が相手に届きにくいことがありましたが、本商品では「方向別AGC（自動音量調整）機能」により集音範囲の設定に応じてマイクから離れた人の声が適正な音量で相手に届きます。

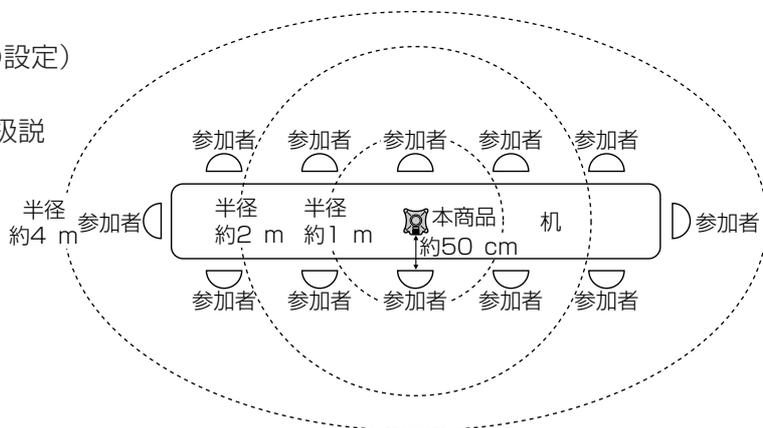
ご利用状況により、集音範囲を「狭い」／「通常」／「広い」の3段階に設定メニューから切り替えることができます。

狭い：半径 約1 m

通常：半径 約2 m（お買い求め時の設定）

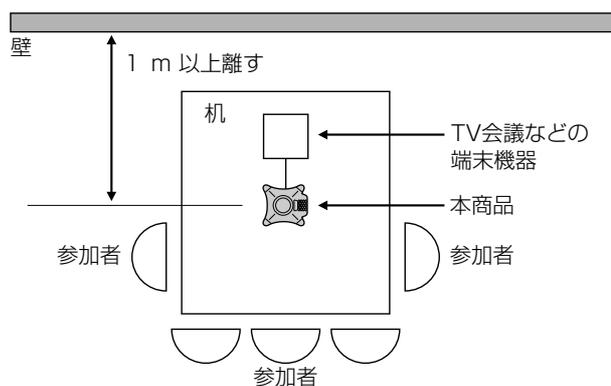
広い：半径 約4 m

集音範囲の切り替え方法については、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。



■ 対面形式の場合

TV電話・TV会議端末と接続してご使用になるときは、映像を見るため、円卓形式ではなく、対面形式をとる場合が多くなります。対面形式の場合は、本商品と壁との距離は1 m以上離して、接近しすぎないように注意してください。



STOP お願い

- マイク、スピーカはふさがないようにください。
- 本商品のそばに物を置かないでください。
- 反響や残響の多い場所など、ご使用になる部屋によっては、集音範囲内であっても適正な音量とならない場合やエコーやハウリングを消しきれないことがあります。
- 参加者と同じ方向にプロジェクタなどの雑音を発生する機器があると、参加者の音声を正しく識別することができない場合があります。プロジェクタなどは離してご使用ください。

1
お使用になる前に

2
本商品の接続

3
本商品の設定方法

4
電話機能の使いかた

5
Web機能について

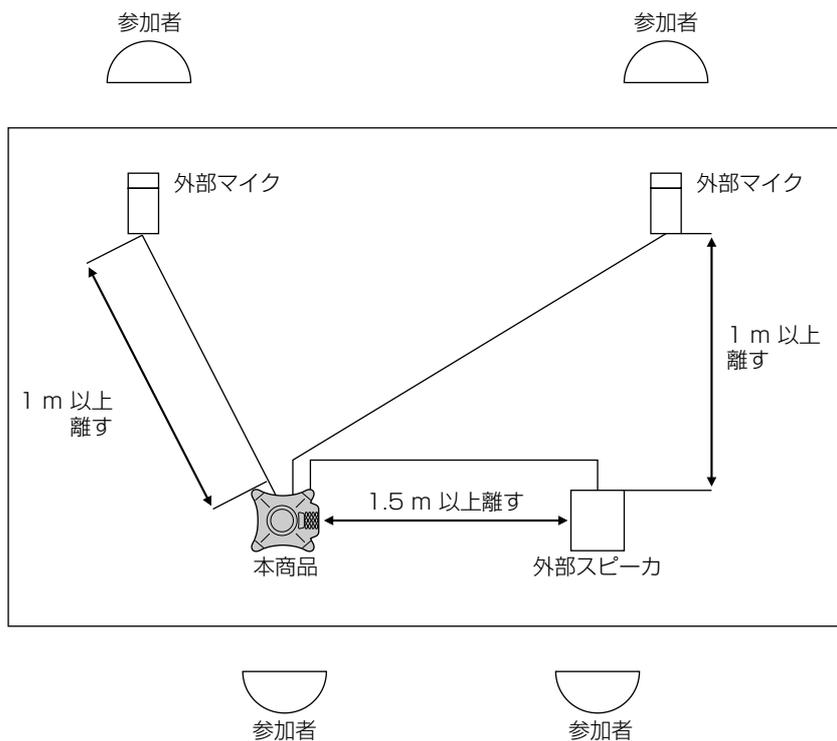
6
ご参考に

7
お困りには

8
付録

■ 外部マイク・外部スピーカを接続した場合

本商品と外部スピーカとの距離は1.5 m以上、本商品と外部マイクとの距離は1 m以上、外部スピーカと外部マイクとの距離は1 m以上離してください。ハウリング防止のため、近づけないように設置し、外部マイクは本商品や外部スピーカと向かい合わせにならないように（逆向き）に置いてください。

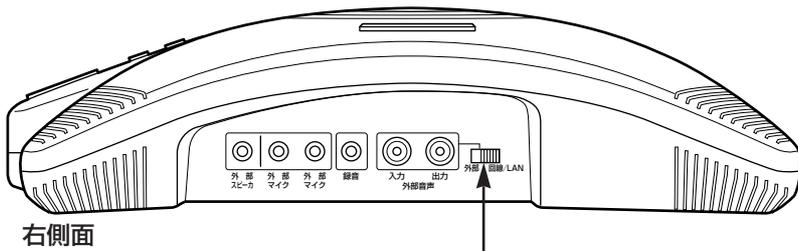


STOP お願い

- 外部マイクは正面からお使いください。
- 外部マイク、外部スピーカはふさがらないでください。
- 外部マイク、外部スピーカのそばに物を置かないでください。
- 外部スピーカの音量を上げすぎると、エコーやハウリングが発生し、相手に声が届きにくくなります。エコーやハウリングが発生するときは、外部スピーカの音量を小さくしてご利用ください。
- 外部マイクの性能に合わせてご利用ください。

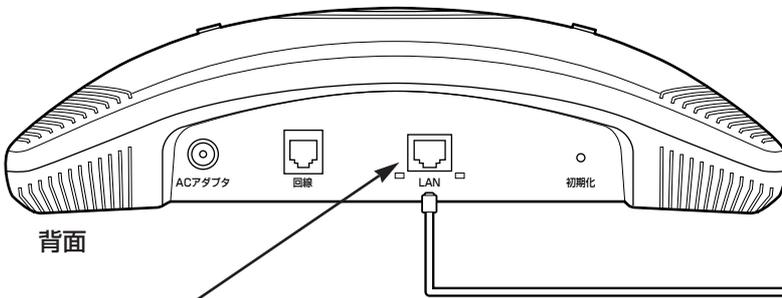
IP回線と接続するには

- 1** 電源がOFF（電源アダプタをコンセントから抜いた状態）であることを確認します。



右側面

- 2** 「外部」・「回線/LAN」切替スイッチを「回線/LAN」側にします。

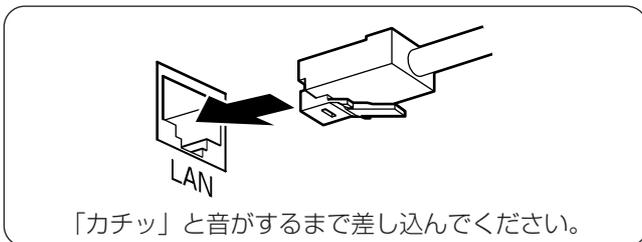


背面

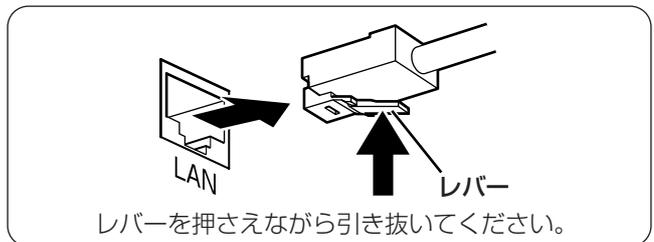
- 3** LANケーブルをLANケーブル差込口に差し込みます。

- 4** IP回線に接続されたルータや回線終端装置（ONU）などにLANケーブルを差し込みます。
- 5** 「本商品の電源を入れるには」（P39）に進んでください。

●LANケーブルを差し込むとき



●LANケーブルを引き抜くとき



1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

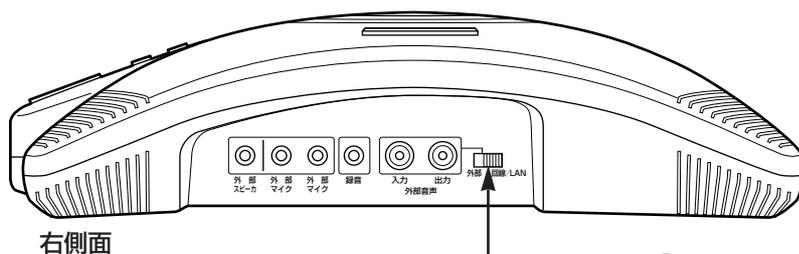
6
ご参考に

7
お困りの
ときは

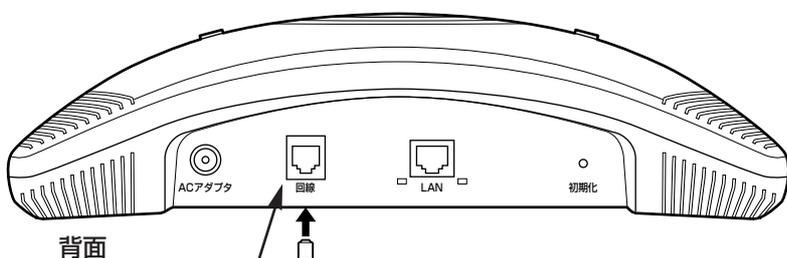
8
付録

加入電話回線と接続するには

- ① 本商品の電源がOFF（電源アダプタをコンセントから抜いた状態）であることを確認します。



- ② 「外部」・「回線/LAN」切替スイッチを「回線/LAN」側にします。

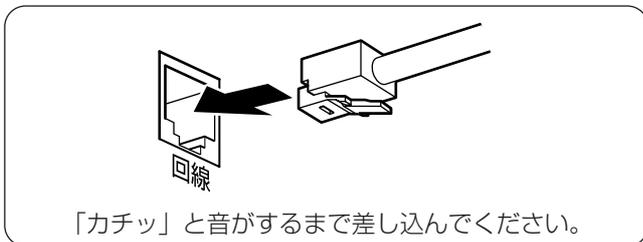


- ③ 電話機コードを電話機コード差込口に差し込みます。

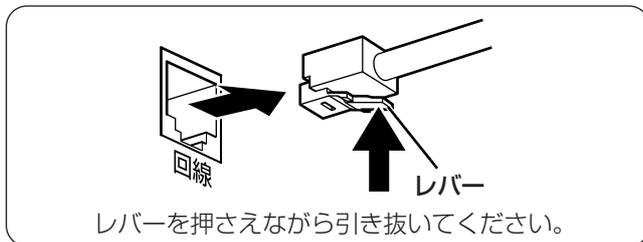
- ④ 電話機コードを電話機用ローゼット(モジュラジャック式)に差し込みます。

- ⑤ 「本商品の電源を入れるには」(P39)に進んでください。

●電話機コードを差し込むとき



●電話機コードを引き抜くとき



- ⑥ 電話回線の種別を設定メニューから設定します。

① 設定ボタンを押します。

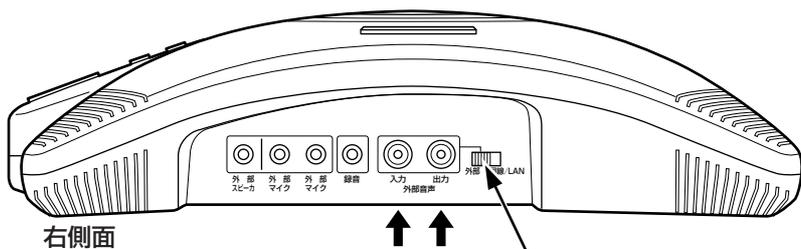
② **サ5** **ア1** と押します。

③ ダイヤル回線で10 ppsの場合は **ア1**、ダイヤル回線で20 ppsの場合は **カ2**、プッシュ回線の場合は **サ3** を押します。

外部機器と接続するには

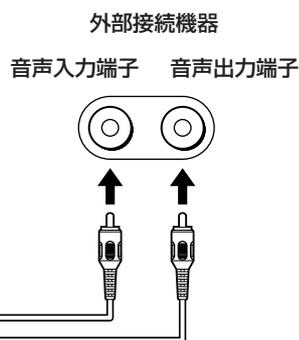
1 音声入出力端子の仕様が本商品と接続できる機器であることを確認します。

2 電源がOFF（電源アダプタをコンセントから抜いた状態）であることを確認します。



右側面

3 「外部」・「回線／LAN」切替スイッチを「外部」側にします。



4 本商品の外部音声 入力端子と接続する機器の音声出力端子間、および本商品の外部音声 出力端子と接続する機器の音声入力端子間をつなぎます。

接続するためのケーブルは付属していません。接続する機器の規格に合ったものをご用意ください。

5 「本商品の電源を入れるには」(P39)に進んでください。

STOP お願い

- 外部機器を利用する場合は、必ず「外部」・「回線／LAN」切替スイッチを「外部」側にしてください。
- 「外部」・「回線／LAN」切替スイッチを「外部」側にすると、電話機としての機能は利用できなくなります。電話機として利用する場合は、外部機器を取り外して、「外部」・「回線／LAN」切替スイッチを「回線／LAN」側にしてください。
- 接続ケーブルは規格に合ったものをご用意ください。（オプションとして、簡易型用ケーブルCを別売しています。）

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

■ 本商品の音声入出力端子の仕様

本商品の音声入出力端子の仕様は次のとおりです。入出力インピーダンスなどを確認して、本商品の仕様に合った機器（電話機など）を接続してください。

レベルの合わない機器を接続した場合は、相手の音声やこちらの音声がひずんで聞こえたり、ノイズが大きくて使用できない場合があります。接続した機器に合わせてレベルを調整してください。

詳しくは、『取扱説明書・システムデータ設定編』の「外部機器選択」を参照してください。

名 前	形 状	インピーダンス
外部音声 入力端子	RCAピンジャック	47 kΩ以上
外部音声 出力端子	RCAピンジャック	2 kΩ以下

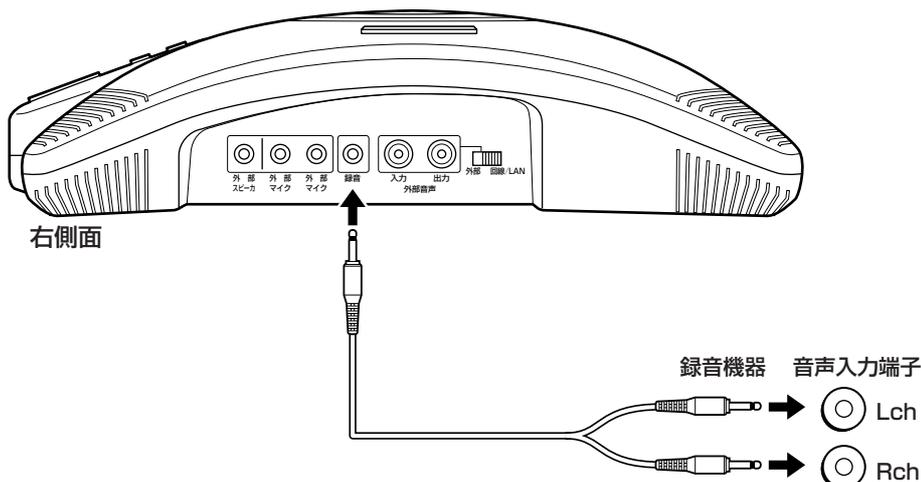
● 音声入出力端子への接続は、一般的には次のようになります。

本商品の外部音声 入力端子 ← 接続機器の音声出力端子

本商品の外部音声 出力端子 → 接続機器の音声入力端子

録音機器と接続するには

- 1** 録音端子の仕様が本商品と接続できる機器であることを確認します。



- 2** 本商品の録音端子と録音機器の音声入力端子間をつなぎます。接続するためのケーブルは付属していません。接続する録音機器の規格に合ったものをご用意ください。

STOP お願い

- 接続ケーブルは規格に合ったものをご用意ください。

■ 本商品の録音端子の仕様

本商品の録音端子の仕様は次のとおりです。入出力インピーダンスなどを確認して、本商品の仕様に合った録音機器を接続してください。

レベルの合わない機器を接続した場合は、録音できない場合があります。

名前	形状	インピーダンス
録音端子	ステレオミニジャック (φ 3.5)	2 kΩ以下

- 録音端子への接続は、一般的には次のようになります。
本商品の録音端子→録音機器の音声入力端子
- 録音端子はステレオミニジャックですが、Lch/Rch共に相手とこちらの音声がミキシングされた同じ音声が出力されます。

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

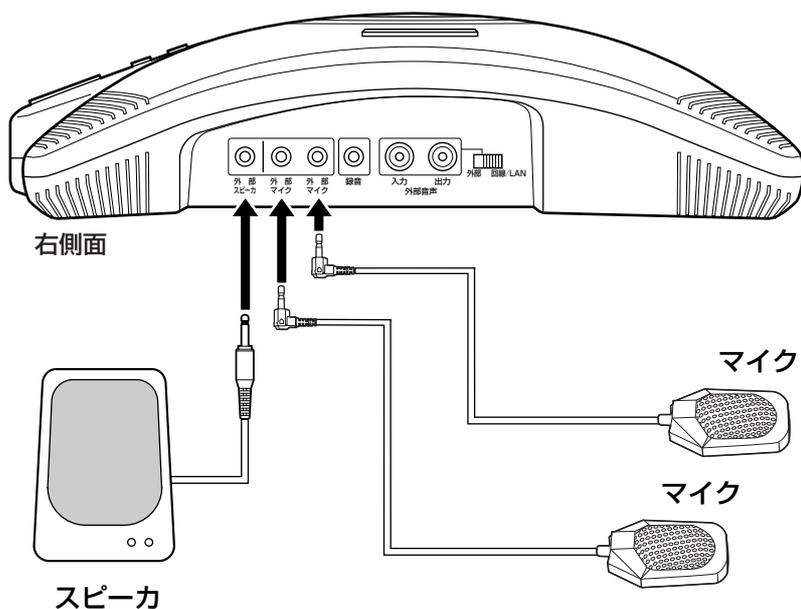
6
ご参考に

7
お困り
のときは

8
付録

スピーカやマイクを接続するには

外部スピーカを1個、外部マイクを最大2個まで増設して使用することができます。



■ 外部マイク端子・外部スピーカ端子の仕様

名前	形状	インピーダンス	その他
外部スピーカ端子	ステレオミニジャック (φ 3.5)	200 Ω以下	—
外部マイク端子×2	モノラルミニジャック (φ 3.5)	2 kΩ	プラグインパワー 対応

■ 外部スピーカについて

アンプ内蔵品で、プラグ形状がステレオミニプラグ (φ 3.5) のものをご使用ください。これ以外のものを使用すると、本商品やスピーカが故障したり、本商品が正常に動作しないおそれがあります。

■ 外部マイクについて

プラグインパワー対応でプラグ形状がモノラルミニプラグ (φ 3.5) のものをご使用ください。また、必ず単一指向性のものをご使用ください。これ以外のものを使用すると、本商品やマイクが故障したり、本商品が正常に動作しないおそれがあります。

🔊 お知らせ

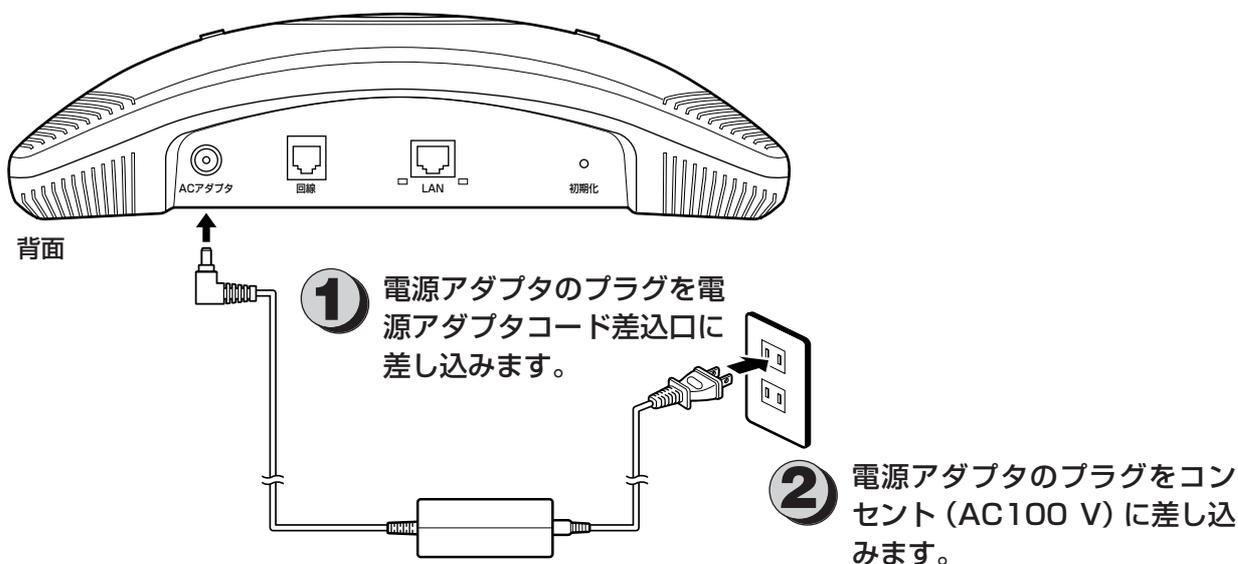
- 外部スピーカおよび外部マイクは、必ず上記の注意事項を留意し、上記に示した仕様に合ったものをご使用ください。
- 本商品と外部スピーカは1.5 m以上、本商品と外部マイクおよび外部スピーカと外部マイクは1 m以上離して設置してください。ハウリング防止のため、近づけすぎないように設置し、外部マイクは本商品や外部スピーカとは逆方向に向けて置いてください。設置条件については、P32の設置図を参照してください。
- 外部スピーカの音量を上げすぎると、相手に声が届きにくいなど、性能が低下します。
- エコーやハウリングが発生するときは、外部スピーカの音量を小さくしてご利用ください。

本商品の電源を入れるには

本商品の電源を入れる前に、「外部」・「回線/LAN」切替スイッチが正しく切り替えられているか、ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

本商品の利用目的	「外部」・「回線/LAN」切替スイッチの切り替えかた	接続が必要な端子	参照ページ
IP電話を利用する	「回線/LAN」側に切り替えます。	・LANケーブル差込口	「IP回線と接続するには」(P33)
加入電話回線を利用する	「回線/LAN」側に切り替えます。	・電話機コード差込口	「加入電話回線と接続するには」(P34)
IP電話と加入電話回線の両方を利用する	「回線/LAN」側に切り替えます。	・LANケーブル差込口 ・電話機コード差込口	「IP回線と接続するには」(P33) 「加入電話回線と接続するには」(P34)
外部機器を接続して、音声入出力装置として利用する	「外部」側に切り替えます。(電話機能は同時に使用できません。)	・音声入力端子 ・音声出力端子	「外部機器と接続するには」(P35)

電源を入れるには、電源アダプタを本商品とコンセントに接続します。(本商品には電源スイッチはありません。)



警告

●電源アダプタは、必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

1
お
使
い
に
前
に

2
本
商
品
の
接
続

3
本
商
品
の
設
定
方
法

4
電
話
機
能
の
使
い
か
た

5
W
e
b
機
能
に
つ
い
て

6
ご
参
考
に

7
お
困
り
の
時
に
は

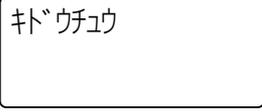
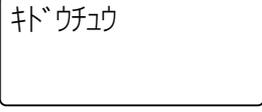
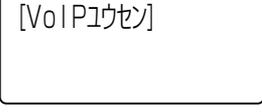
8
付
録

本商品の電源を入れるには



お知らせ

- 起動時には、下記のような順番でディスプレイと方向ランプが変化します。

順番	ディスプレイ表示	方向ランプ
1	何も表示されません。 	赤と青の点灯
2	何も表示されません。 	赤点灯
3	「キドウチュウ」と表示されます。 	赤点灯
4	「キドウチュウ」と表示されます。 	青点灯
5	「キドウチュウ」の文字が点滅します。 	青点滅
6	待機画面が表示されます。(「VoIP優先モード」の例) 	消灯

- IP電話を使用する場合は、本商品の電源を入れたあと、本商品のLANケーブル差込口にあるLINK/ACTランプが緑色に点灯することを確認してください。
LINK/ACTランプが緑色に点灯しない場合は、LANケーブル差込口にLANケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
- IP電話を使用する場合は、ネットワーク設定が必要です。「IP電話の設定」(P43)を参照してください。
- 「SIP動作モード」を「ゲートウェイ-A」または「ゲートウェイ-B」に設定している場合、ゲートウェイとの接続状況によっては、待機画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 「外部」・「回線/LAN」切替スイッチを「外部」に切り替えてご利用になる場合、「SIP動作モード」が「ゲートウェイ-A」または「ゲートウェイ-B」に設定されていたり、「IPアドレス」が「DHCP」に設定されていたりすると、電源を入れてから待機画面が表示されるまで5分程度時間がかかります。

本商品を再起動するには

本商品を再起動する場合は、本商品の電源アダプタのプラグをコンセント（AC100 V）から抜き、再度電源アダプタのプラグをコンセント（AC100 V）に差し込んでください。

ディスプレイに「サイキドウシテクダサイ」と表示された場合は、上記の方法で再起動するか、下記の操作で再起動してください。



1 待機状態で、設定ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 1: イジセッテイ
- 2: ツウオンセイセッテイ
- 3: タンシュクセッテイ



2 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「8: ソノタセッテイ」を選択します。

- 6: VoIPセッテイ
- 7: ネットワークセッテイ
- 8: ソノタセッテイ



3 設定ボタンを押します。

その他設定メニューが表示されます。

- 1: ハッシンガタカンタイマ
- 2: Webログ インデータ
- 3: リレキショウキョ



4 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「7: サイキドウ」を選択します。

- 5: システムデータリセット
- 6: オールリセット
- 7: サイキドウ



1
お使用に
前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときは

8
付録

(次ページに続く)

5 設定ボタンを押します。

サイトウシマスカ?

- (1) NO
- (2) YES



6 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「(2) YES」を選択します。

サイトウシマスカ?

- (1) NO
- (2) YES



7 設定ボタンを押します。

再起動が実行され、待機状態に戻ります。

サイトウ...



IP電話の設定

IP電話サービス（ひかり電話ビジネスタイプ）をご利用いただくためには、NTT東日本またはNTT西日本との契約および本商品へのIP電話設定が必要です。
IP電話の設定方法は、「IP電話を利用するための設定」（●P44）を参照してください。

本商品でIP電話をご利用いただく場合には、「SIP動作モード」の設定に合わせた「VoIP設定」と「ネットワーク設定」が必要です。

※「SIP動作モード」の設定や「VoIP設定」の一部の項目、「ネットワーク設定」の全項目のシステムデータを設定した場合には、本商品の再起動が必要です。必要な項目を全て設定し終わったあとに、本商品を再起動してください。再起動を行う操作は、「本商品を再起動するには」（●P41）を参照してください。

本商品へのIP電話設定は、設定メニューから行います。

設定の概略については、「ネットワーク設定を行うには」（●P44）を参照してください。
設定項目の詳細については、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。

1
お
使
い
前
に

2
本
商
品
の
接
続

3
本
商
品
の
設
定
方
法

4
電
話
機
能
の
使
い
か
た

5
W
e
b
機
能
に
つ
い
て

6
ご
参
考
に

7
お
困
り
の
時
に
は

8
付
録

⚠ 注意

- 本商品をご使用になる場合には、設置条件や契約回線をご確認のうえ、「SIP動作モード」を選択してください。本書では「SIP動作モード」で「外線-A」を選択した場合をもとに記載しています。「SIP動作モード」の選択を変更（同じ動作モードを選択した場合を含む）すると、システムデータの「6:VoIP設定」と「7:ネットワーク設定」の全てのシステムデータが初期化されますので、パソコンへのシステムデータのバックアップをしておくことをおすすめします。バックアップ方法については、「システムデータのバックアップ方法」（●P82）を参照してください。



お知らせ

- 設定完了後、再起動してVoIP状態ランプが緑色に点灯すればIP電話がご使用可能となります。IP電話をご利用の際にVoIP状態ランプが消灯している場合は、IP電話設定に誤りがある可能性がありますので、再度設定をご確認ください。
- IPアドレス接続では、VoIP状態ランプは点灯しません。

ネットワーク設定を行うには

IP電話を利用する場合には、ネットワーク設定が必要です。ネットワーク接続が完了するまで、IP電話は利用できませんが、加入電話回線は利用できます。



お知らせ

- 詳しくは、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。
- 設定完了後、VoIP状態ランプが緑色に点灯すればIP電話がご使用可能となります。VoIP状態ランプが消灯している場合は、IP電話設定に誤りがある可能性がありますので、再度設定をご確認ください。
- IPアドレス接続の場合には、VoIP状態ランプは点灯しません。

IP電話を利用するための設定

IP電話を利用するためには、「VoIP設定」と「ネットワーク設定」が必要です。

設定が必要な項目や設定内容は、接続方式によって異なります。

接続方式の種類については、「接続方式」(●P24)を参照してください。

「SIP動作モード」の選択を変更(同じ動作モードを選択した場合を含む)すると、「VoIP設定」と「ネットワーク設定」の全てのシステムデータが初期化されます。

■外線接続

「外線接続」でIP電話サービス(ひかり電話ビジネスタイプ)を利用するには、以下の設定が必要です。

「IP電話サービスに接続する(外線接続)」

※必ず最初に「SIP動作モード」を設定してください。

メニュー (第1階層)	第2階層	第3階層	設定	
VoIP設定	SIPサーバ	SIP動作モード	「外線-A」を選択します。	
		SIPドメイン名	利用するIP電話キャリアに対応した設定をします。	
		SIPサーバIPアドレス		
		SIPサーバドメイン名		
		SIPサーバポート番号		
		REGISTERサーバIPアドレス		
		REGISTERサーバドメイン名		
		REGISTERサーバポート番号		
	IP電話番号	IP電話番号		IP電話番号1
			IP電話番号2/3	追加番号、ユーザID、パスワードを設定します。
IP着信番号	IP着信番号	IP着信番号1~3	IP電話回線から着信させる番号(ダイヤルイン番号など)を設定します。	
代表親番号	—	—	IP電話回線から着信させる代表親番号(他契約回線の基本番号)を設定します。 代表親番号が自契約回線の基本契約番号の場合は設定しないでください。	

メニュー (第1階層)	第2階層	第3階層	設 定
VoIP設定	番号通知	—	IP電話発信時に発信者番号を通知するか、しないかを選択します。
	VoIP詳細	誤着防止	IP電話番号/IP着信番号以外への着信を拒否するか、しないかを選択します。
		再発信動作	IP回線からのエラーレスポンス受信時に、加入電話回線から再発信するか、しないかを選択します。
		通知番号選択	IP電話発信時に通知する発信者番号を自動的に割り当てるか、固定的に通知するかを選択します。
		代表着信拒否	代表親番号での着信を拒否するか、しないかを選択します。
ネットワーク設定	IPアドレス	—	IPアドレスの取得方法は「固定IPアドレス」を選択します。
		IPアドレス	本商品のIPアドレスを設定します。
		サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
		デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
	DNSサーバアドレス	—	DNSサーバのIPアドレスの取得方法は「手動設定」を選択します。
		プライマリIPアドレス	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。
		セカンダリIPアドレス	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。 ※プライマリIPアドレスが設定されていない状態では、設定できません。

■ゲートウェイ接続

「ゲートウェイ接続」で利用する場合は、以下の設定が必要です。「ゲートウェイに接続する (ゲートウェイ接続)」(P25)

※その他の「VoIP設定」「ネットワーク設定」を設定する必要はありません。

メニュー (第1階層)	第2階層	第3階層	設 定
VoIP設定	SIPサーバ	SIP動作モード	ひかり電話対応オフィスゲートウェイの場合は「ゲートウェイ-A」、ひかり電話対応ホームゲートウェイの場合は「ゲートウェイ-B」を選択します。

ネットワーク設定を行うには

■内線接続

「内線接続」で利用する場合は、以下の設定が必要です。「ビジネスホンに接続する（内線接続）」（P26）

※必ず最初に「SIP動作モード」を設定してください。

※その他の「VoIP設定」「ネットワーク設定」を設定する必要はありません。

メニュー（第1階層）	第2階層	第3階層	設定
VoIP設定	SIPサーバ	SIP動作モード	「内線-A」を選択します。
		SIPサーバIPアドレス	利用するビジネスホンに対応した設定をします。
		SIPサーバポート番号	
		REGISTERサーバIPアドレス	
	REGISTERサーバポート番号		
	IP電話番号	IP電話番号1	利用するビジネスホンに対応した内線番号を設定します。
	IP着信番号	IP着信番号1～3	IP電話回線から着信させる番号を設定します。
VoIP詳細	誤着防止	IP電話番号／IP着信番号以外への着信を拒否するか、しないかを選択します。	
	通知番号選択	IP電話発信時に通知する発信者番号を自動的に割り当てるか、固定的に通知するかを選択します。	
ネットワーク設定	IPアドレス	—	IPアドレスの取得方法を選択します。（固定IPアドレス／DHCP）
		IPアドレス	IPアドレスが「固定IPアドレス」の場合、本商品のIPアドレスを設定します。
		サブネットマスク	IPアドレスが「固定IPアドレス」の場合、サブネットマスクを設定します。
		デフォルトゲートウェイ	IPアドレスが「固定IPアドレス」の場合、デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。

メニュー (第1階層)	第2階層	第3階層	設定
ネットワーク設定	DNSサーバアドレス	—	DNSサーバのIPアドレスの取得方法を選択します。(自動取得/手動設定)
		プライマリIPアドレス	DNSサーバアドレスが「手動設定」の場合、プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。
		セカンダリIPアドレス	DNSサーバアドレスが「手動設定」の場合、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。 ※プライマリIPアドレスが設定されていない状態では、設定できません。

■IPアドレス接続

「IPアドレス接続」を利用する場合は、以下の設定が必要です。「IPアドレス指定により接続する (IPアドレス接続)」(●P27)

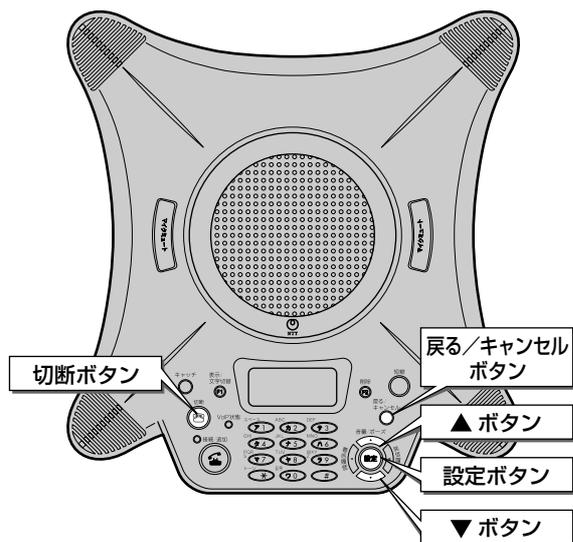
※必ず最初に「SIP動作モード」を設定してください。

※その他の「VoIP設定」「ネットワーク設定」を設定する必要はありません。

メニュー (第1階層)	第2階層	第3階層	設定
VoIP設定	SIPサーバ	SIP動作モード	「Peer to Peer」を選択します。
ネットワーク設定	IPアドレス	—	固定IPアドレスを選択します。
		IPアドレス	本商品のIPアドレスを設定します。
		サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
		デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。

着信音量を調節するには

着信音の音量を3段階（小／中／大）に調節することができます。



1 待機状態または通話中に、設定ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 1: イジセッテイ
- 2: ツウワオンセイセッテイ
- 3: タンシュクセッテイ



2 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「4: オト/ランプセッテイ」を選択します。

- 2: ツウワオンセイセッテイ
- 3: タンシュクセッテイ
- 4: オト/ランプセッテイ



3 設定ボタンを押します。

音／ランプ設定メニューが表示されます。

- 1: チャクシンガンジュルイ
- 2: チャクシンオンリョウ
- 3: ワリコミオンリョウ



4 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「2: チャクシンオンリョウ」を選択します。

- 1: チャクシンオンジュルイ
- 2: チャクシンオンリョウ
- 3: ワリコミオンリョウ



お知らせ

- お買い求め時は、「中」（チュウ）に設定されています。
- 電源を切っても設定した着信音量が保存されます。
- システム動作モードにかかわらず設定できます。

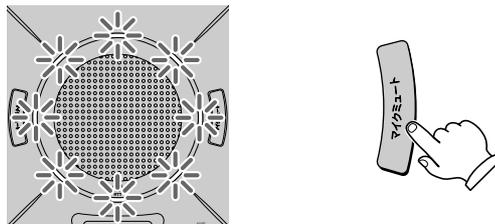
マイクミュートをするには

こちらの声を相手に聞こえないように（マイクミュート）することができます。



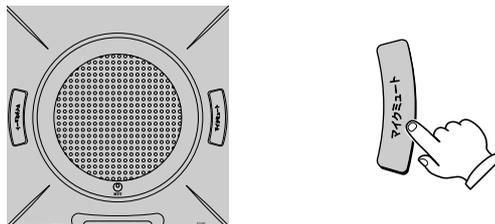
1 マイクミュートボタンを押します。

方向ランプの8個のランプが赤色に点滅します。
マイクミュート中でも相手の声は聞こえます。



2 マイクミュートを解除するには、再度マイクミュートボタンを押します。

方向ランプが消灯します。



お知らせ

- マイクミュートボタンは2か所あり、どちらのボタンでも設定・解除ができます。
- 通話中に設定および解除できます。
- システム動作モードにかかわらず設定および解除できます。
- マイクミュートが設定されている状態で、全ての通話を終了して待機状態に戻ると、マイクミュートは解除されます。
- 外部マイクを接続している場合にマイクミュートボタンを押すと、内部マイクと外部マイクの両方がマイクミュートされます。

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

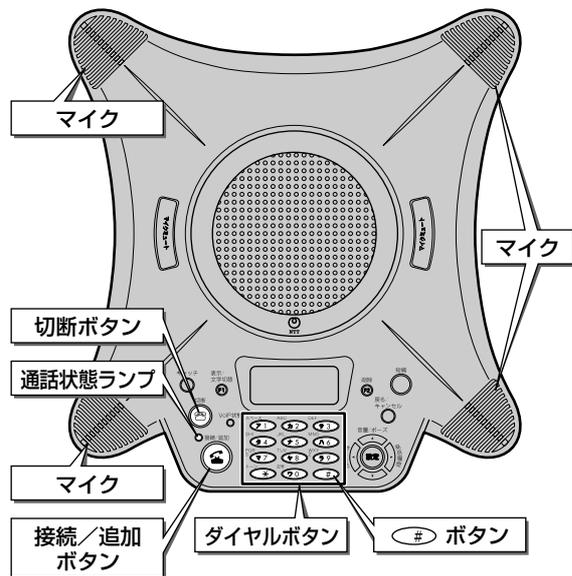
8
付録

電話をかけるには

電話をかける操作について説明します。電話をかけるには、接続／追加ボタンを押してからダイヤルする方法、電話番号をあらかじめダイヤルしてから接続／追加ボタンを押す方法（プリセットダイヤル）、加入電話回線を選択して電話をかける方法があります。

お知らせ

- IP電話を利用する場合は、VoIP状態ランプが緑色に点灯していることを確認してください。消灯している場合には、IP電話を利用できません。

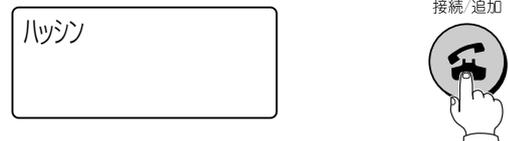


電話をかける（発信）

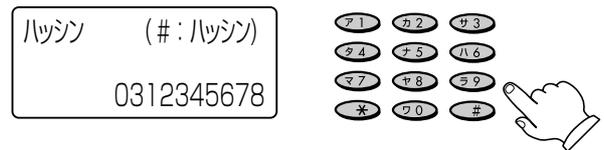
接続／追加ボタンを押してからダイヤルする方法について説明します。

1 接続／追加ボタンを押します。

「ツー」という発信音が聞こえます。



2 電話番号を押します。



3 # ボタンを押します。

通話状態ランプが緑色に点灯し、呼出音が聞こえます。



ワンポイント

- 電話番号入力中に操作を中止するには
切断ボタンを押します。ダイヤル表示が解除されて待機状態に戻ります。
- 電話番号の入力を間違えたときは
切断ボタンを押します。ダイヤル表示が解除されて待機状態に戻りますので、再度入力し直してください。（削除ボタンによる文字修正はできません。）
- 発信後、「ツーツー」 という音が聞こえた場合は
相手がお話中です。切断ボタンを押して、しばらくたってからかけ直してください。
- 相手の声が聞き取りにくいときは
受話音量を大きくしてください。また、ハウリングやエコーが発生するときには、受話音量を小さくしてください。設定方法は「受話音量を調節するには」(P50)を参照してください。

4 相手が出たら、マイクに向かってお話しします。

ツウ (IP1/TELO) PB



5 お話が終わったら、切断ボタンを押します。

セツダンガケンタク
ｽﾊﾞﾃツﾀﾞﾝ
IP#1:0312345678



6 再度、切断ボタンを押します。

通話状態ランプが消灯します。



ワンポイント

- ダイヤルしてから発信するまでの時間を設定するには、設定メニューの「発信桁間タイマ」で、ダイヤルしてから発信するまでの時間を設定できます。「発信桁間タイマ」を設定した場合は、電話番号を押したあと所定の時間後に自動的に発信します。「発信桁間タイマ」は、外線接続と内線接続の場合に有効となります。詳しくは、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。



お知らせ

- 接続方式によって、発信できる相手先が異なります。

接続方式	外線番号	内線番号	IPアドレス
外線接続	○	×	×
ゲートウェイ接続	○	○	×
内線接続	○※1	○	×
IPアドレス接続	×	×	○

○：発信できる ×：発信できない

※1：本商品を収容するビジネスホンの仕様によります。

■「IPアドレス接続」の場合は、IPアドレスで発信します。IPアドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力し、**#** ボタンを押すと発信します。「.」を入力するには、***** ボタンを押します。

- 電話番号は、48桁まで入力できます。
- IP電話サービス（ひかり電話ビジネスタイプ）として発信している場合の通話料金は、NTT東日本またはNTT西日本から請求されます。
- 加入電話として発信している場合の通話料金は、NTT等接続された電話会社から請求されます。加入電話回線を選択して発信する方法については、「加入電話回線を選択して電話をかける」(P56)を参照してください。

1
お使用に
なる前に

2
本商品
の接続

3
本商品
の設定
方法

4
電話
機能
の
使用
方法

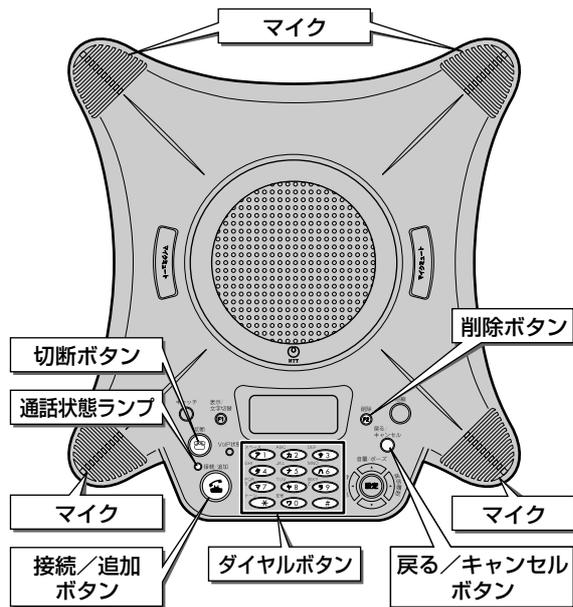
5
Web
機能
につ
いて

6
ご参
考に

7
お困
りな
らば

8
付録

電話をかけるには



ワンポイント

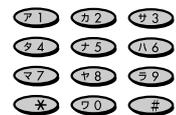
- プリセットダイヤル入力中に操作を中止するには
切断ボタン、または戻る/キャンセルボタンを押します。
ダイヤル表示が解除されて、待機状態に戻ります。
- 電話番号の入力を間違えたときは
削除ボタンを押します。削除ボタンを押すと、直前に入力した文字が1文字削除されます。間違えた文字まで削除して、入力し直してください。
- 発信後、「ツーツー」 という音が聞こえた場合は
相手がお話中です。切断ボタンを押して、しばらくたってからかけ直してください。
- 相手の声が聞き取りにくいときは
受話音量を大きくしてください。また、ハウリングやエコーが発生するときには、受話音量を小さくしてください。設定方法は「受話音量を調節するには」(P50)を参照してください。

プリセットダイヤル

電話番号を確認してから発信する方法について説明します。

1 待機状態で、電話番号を押します。

0312345678



2 接続/追加ボタンを押します。

通話状態ランプが緑色に点灯し、呼出音が聞こえます。

VoIPルック
0312345678

接続/追加



3 相手が出たら、マイクに向かってお話しします。

ツウ (IP1/TELO) PB



4 お話しが終わったら、切断ボタンを押します。

セツダンサキセンタク
スハデセツダン
IP#1:0312345678

切断



5 再度、切断ボタンを押します。

通話状態ランプが消灯します。



お知らせ

- 接続方式によって、発信できる相手先が異なります。

接続方式	外線番号	内線番号	IPアドレス
外線接続	○	×	×
ゲートウェイ接続	○	○	×
内線接続	○※1	○	×
IPアドレス接続	×	×	○

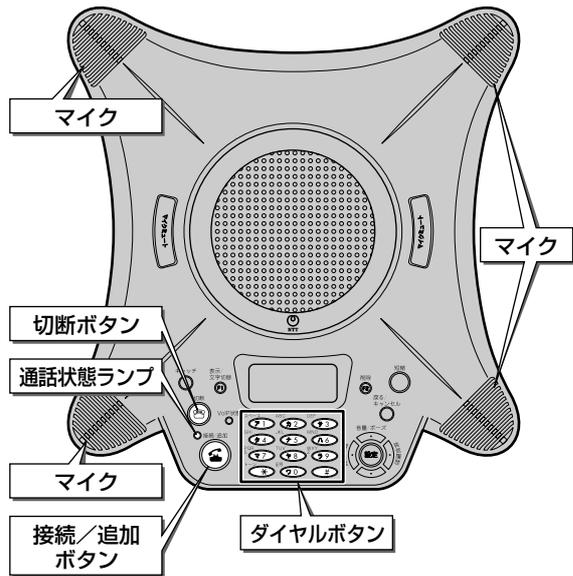
○：発信できる ×：発信できない

※1：本商品を取容するビジネスホンの仕様によります。

IP「IPアドレス接続」の場合は、IPアドレスで発信します。IPアドレスを「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。「.」を入力するには、 ボタンを押します。

- 電話番号は、48桁まで入力できます。
- IP電話サービス（ひかり電話ビジネスタイプ）として発信している場合の通話料金は、NTT東日本またはNTT西日本から請求されます。
- 加入電話として発信している場合の通話料金は、NTT等接続された電話会社から請求されます。加入電話回線を選択して発信する方法については、「加入電話回線を選択して電話をかける」（P56）を参照してください。

電話をかけるには



ワンポイント

- 電話番号入力中に操作を中止するには
切断ボタンを押します。ダイヤル表示が解除されて待機状態に戻ります。
- 電話番号の入力を間違えたときは
切断ボタンを押します。ダイヤル表示が解除されて待機状態に戻りますので、再度入力し直してください。(削除ボタンによる文字修正はできません。)
- 発信後、「ツーツー」 という音が聞こえた場合は
相手がお話中です。切断ボタンを押して、しばらくたってからかけ直してください。
- 相手の声が聞き取りにくいときは
受話音量を大きくしてください。また、ハウリングやエコーが発生するときには、受話音量を小さくしてください。設定方法は「受話音量を調節するには」(P50)を参照してください。



お知らせ

- 「TEL専用モード」の場合は、「0000」(ゼロ4桁)を付ける必要はありません。
- マイライン(マイラインプラス)をご利用になる場合も、加入電話回線を選択して発信してください。この場合、通話料金はマイライン(マイラインプラス)に登録している電話会社から請求されます。

加入電話回線を選択して電話をかける

「VoIP優先モード」で、加入電話回線を選択して発信するには、次のように操作します。

1 接続/追加ボタンを押します。

「ツー」という発信音が聞こえます。

ハッソ

接続/追加



2 0000 (ゼロ4桁) を押します。

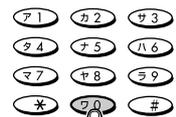
ハッソ (#ハッソ)

0



0000 (ゼロ4桁) を入力すると、通話状態ランプが緑色に点灯し、加入電話回線に切り替わります。

TELハッソ PB

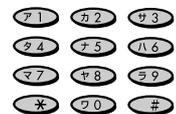


3 電話番号を押します。

呼出音が聞こえます。

TELハッソ PB

0312345678



4 相手が出たら、マイクに向かってお話しします。

ツウ (IPO/TEL1) PB



5 お話が終わったら、切断ボタンを押します。

セツダンセンター
 スペツダン
 TEL : 0312345678



加入電話回線の相手から切断された場合は、必ず切断操作を行ってください。

6 再度、切断ボタンを押します。

通話状態ランプが消灯します。



電話をかけられる相手先について

ひかり電話ビジネスタイプでは加入電話と異なり接続できない番号があります。この場合は加入電話回線で発信してください。

また、ひかり電話ビジネスタイプの詳細な内容は、お取扱相談センターへお問い合わせください。

	発信先の電話番号	発信できるサービス
一般の電話番号	例：03-XXXX-XXXX 3XXX-XXXX	ひかり電話ビジネスタイプで発信できます。 市内局番からのダイヤルでも発信できます。
050番号(IP電話)	例：050-XXXX-XXXX	ひかり電話ビジネスタイプで発信できます。
0X0 (050以外)	例：携帯電話 (090) PHS (070) 国際電話 (010) など	【ダイヤルした番号がひかり電話ビジネスタイプ対象の場合】 ひかり電話ビジネスタイプで発信できます。 【ダイヤルした番号がひかり電話ビジネスタイプ対象外の場合】 加入電話回線で発信してください。
00XY	例：0036などで始まる番号	
0XY0 (市外局番以外)	例：0120、0570などで始まる番号	
1XY	110番、118番、119番の緊急電話番号	ひかり電話ビジネスタイプで発信できます。
	184/186番+一般の電話番号	ひかり電話ビジネスタイプで発信できます。
	その他の [1] で始まる番号 例：106番、177番	【ダイヤルした番号がひかり電話ビジネスタイプ対象の場合】 ひかり電話ビジネスタイプで発信できます。 【ダイヤルした番号がひかり電話ビジネスタイプ対象外の場合】 加入電話回線で発信してください。
#で始まるダイヤル		加入電話回線で発信してください。



お知らせ

- ひかり電話対応オフィスゲートウェイまたはひかり電話対応ホームゲートウェイを介してひかり電話オフィスタイプまたはひかり電話をご利用の場合は、それぞれの機器マニュアルなどを参照してください。

IP電話利用時の緊急通報 (110/118/119) 発信の留意事項

緊急通報 (110番、118番、119番) に発信した際は、呼び返しが来る場合がありますので、すべての通話を終了してお待ちください。

1
お使用に
なる前に

2
本商品
の接続

3
本商品
の設定
方法

4
電話機
機能の
使いかた

5
Web機
能につ
いて

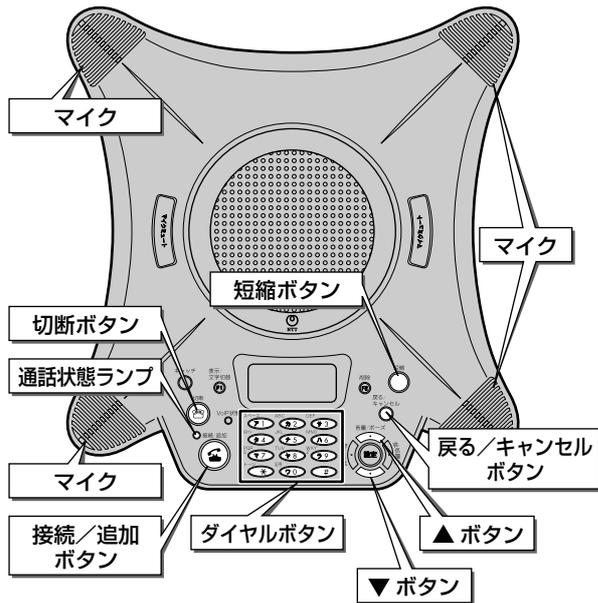
6
ご参考
に

7
お困り
のとき
には

8
付録

短縮ダイヤルで電話をかけるには

よくかける相手の電話番号（外線・内線）、またはIPアドレスを短縮ダイヤルに登録しておく
と、2桁の番号を押すだけで、電話をかけられます。短縮ダイヤルの登録方法については、「短
縮ダイヤルを登録するには」（P72）を参照してください。



1 短縮ボタンを押します。

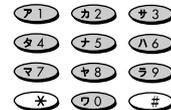
タシユク __

短縮



2 登録されている短縮番号（2桁）を 押します。

タシユク 01
タカ
0312345678



3 接続/追加ボタンを押します。

通話状態ランプが緑色に点灯し、呼出音が聞こえます。

VoIPハツシ
タカ
0312345678

接続/追加



4 相手が出たら、マイクに向かってお 話します。

ツウ (IP1/TELO) PB



ワンポイント

- 短縮番号入力中に操作を中止するには
切断ボタン、または戻る/キャンセルボタンを押します。
ダイヤル表示が解除されて、待機状態に戻ります。
- 短縮ダイヤルを検索するには
短縮番号は、下記の2通りの方法で検索することができます。
 - ・手順1のあと、▲ボタンまたは▼ボタンを押すと、登録されている一番若い短縮番号が表示されます。
再度、▼ボタンを押すと昇順に、▲ボタンを押すと降順に短縮番号が表示されます。
 - ・手順1のあと、短縮番号の10の位のみダイヤルボタンで入力して▲ボタンまたは▼ボタンを押すと、その10の位の番号をもつ短縮番号の中で、登録されている一番若い短縮番号が表示されます。
再度、▼ボタンを押すと昇順に、▲ボタンを押すと降順に短縮番号が表示されます。

5 お話が終わったら、切断ボタンを押します。

セツダンサキセンタク
スハテセツダン
IP#1:0312345678



6 再度、切断ボタンを押します。

通話状態ランプが消灯します。



お知らせ

- 100件 (00~99) の短縮ダイヤルを登録できます。
- 接続方式によって、発信できる相手先が異なります。

接続方式	外線番号	内線番号	IPアドレス
外線接続	○	×	×
ゲートウェイ接続	○	○	×
内線接続	○※1	○	×
IPアドレス接続	×	×	○

○：発信できる ×：発信できない

※1：本商品を収容するビジネスホンの仕様によります。

- 短縮番号を押して表示される電話番号のあとに、続けてダイヤルを入力することはできません。

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

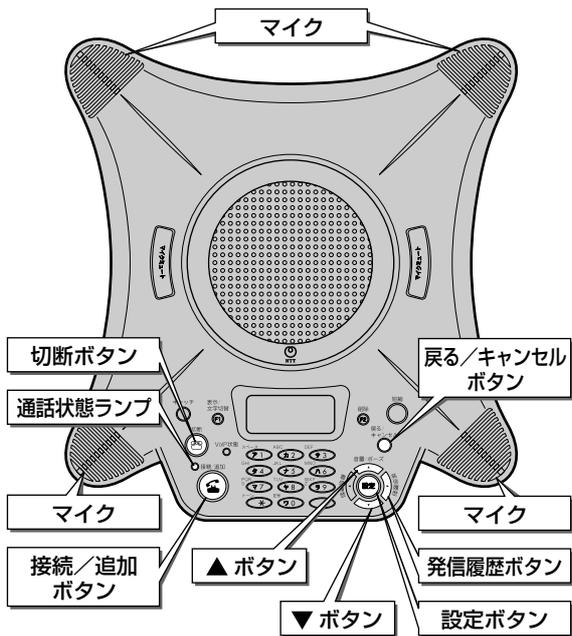
6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

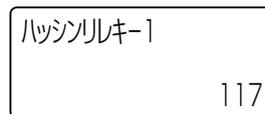
発信履歴を使って電話をかけるには

発信した電話番号は、発信履歴として9件分が保存されています。これらの発信履歴を使って、簡単に電話をかけることができます。

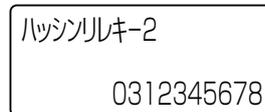


1 発信履歴ボタンを押します。

一番新しい発信履歴が表示されます。



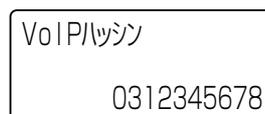
2 ▼ボタンまたは▲ボタンを押して、目的の履歴を検索します。



発信履歴ボタンを再度押しても▼ボタンと同じ動作をします。

3 目的の履歴が表示されている状態で、接続/追加ボタンを押します。

通話状態ランプが緑色に点灯し、呼出音が聞こえます。



お知らせ

- 発信履歴は、一番新しい履歴が「ハッシンリレキ-1」となり、一番古い履歴は「ハッシンリレキ-9」となります。
- すでに発信履歴が9件保存されているときに、新たに電話をかけると、最も古い発信履歴から自動的に消去されます。
- 発信履歴は、電源をOFFにしても保存されます。
- ☑ 「ゲートウェイ接続」の場合は、外線番号だけでなく、内線番号も発信履歴に保存されます。
- ☑ 「内線接続」の場合は、外線番号だけでなく、内線番号も発信履歴に保存されます。
- ☑ 「IPアドレス接続」の場合は、発信履歴にIPアドレスが保存されます。

4 相手が出たら、マイクに向かってお話しします。



5 お話が終わったら、切断ボタンを押します。

セツタンサキセンタク
スハテセツタン
IP#1:0312345678



6 再度、切断ボタンを押します。

通話状態ランプが消灯します。



ワンポイント

●**発信履歴選択中に操作を中止するには**
切断ボタン、または戻る／キャンセルボタンを押します。
ダイヤル表示が解除されて、待機状態に戻ります。

●**発信履歴の電話番号やIPアドレスを短縮ダイヤルに登録するには**

発信履歴から、簡単に短縮ダイヤルに登録できます。短縮ダイヤルに登録したい発信履歴の表示中に設定ボタンを押すと、電話番号またはIPアドレスが入力された状態で短縮ダイヤルの登録画面が表示されます。「短縮ダイヤルに登録するには」の手順5（P73）以降を参照して、名称と短縮番号を設定してください。

●**短縮ダイヤルに名称が登録されている場合は**
発信履歴に名称も表示されます。

●**履歴を全て消去するには**

設定メニューから実行します。下記の操作を行うと、発信履歴とともに着信履歴も全て消去されます。

- ①待機状態で、設定ボタンを押す
- ②▼ボタンまたは▲ボタンで「8：ソノタセツテイ」を選択し、設定ボタンを押す
- ③▼ボタンまたは▲ボタンで「3：リレキシヨウキョ」を選択し、設定ボタンを押す
- ④▼ボタンまたは▲ボタンで「(2) YES」を選択し、設定ボタンを押す

リレキシヨウキョシマスカ?
(1) NO
(2) YES

発信履歴と着信履歴が全て消去されます。

- ⑤切断ボタンを押す
待機状態に戻ります。

詳しくは、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

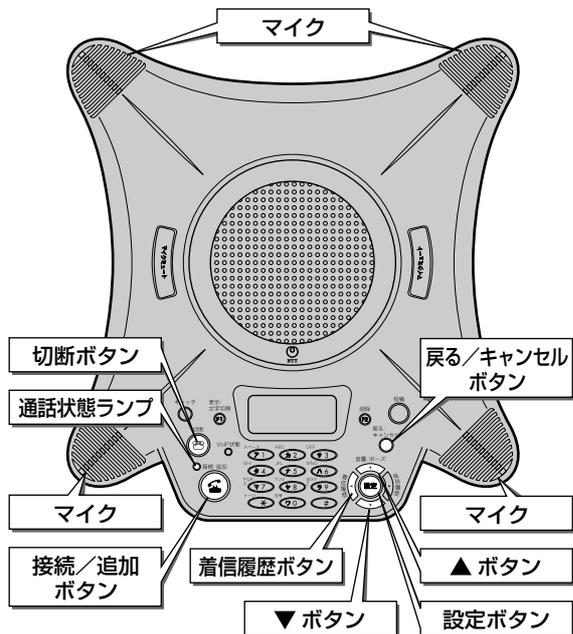
6
ご参考に

7
お困りの
ときは

8
付録

着信履歴を使って電話をかけるには

着信した電話番号は、着信履歴として9件分が保存されています。これらの着信履歴を使って、簡単に電話をかけることができます。



1 着信履歴ボタンを押します。

一番新しい着信履歴が表示されます。

チャクシンリレキ-1
スズキ 321



2 ▼ボタンまたは▲ボタンを押して、目的の履歴を検索します。

チャクシンリレキ-2
0312345678



着信履歴ボタンを再度押しても▼ボタンと同じ動作をします。

3 接続/追加ボタンを押します。

通話状態ランプが緑色に点灯し、呼出音が聞こえます。

VoIP/ツツシ
0312345678



4 相手が出たら、マイクに向かってお話しします。

ツツウ (IP1/TELO) PB



お知らせ

- 着信履歴は、一番新しい履歴が「チャクシンリレキ-1」となり、一番古い履歴は「チャクシンリレキ-9」となります。
- すでに着信履歴が9件保存されているときに、新たに着信があると、最も古い着信履歴から自動的に消去されます。
- 着信履歴は、電源をOFFにしても保存されます。
- 相手が非通知で電話をかけてきた場合は、着信履歴に保存されません。
- ☑ 「ゲートウェイ接続」の場合は、外線番号だけでなく、内線番号も着信履歴に保存されます。
- ☑ 「内線接続」の場合は、外線番号だけでなく、内線番号も着信履歴に保存されます。
- ☑ 「IPアドレス接続」の場合は、着信履歴に保存されません。

5 お話が終わったら、切断ボタンを押します。

セツタンサキセンタク
スハテセツタン
IP#1:0312345678



6 再度、切断ボタンを押します。

通話状態ランプが消灯します。



ワンポイント

- 着信履歴選択中に操作を中止するには
切断ボタン、または戻る／キャンセルボタンを押します。
ダイヤル表示が解除されて、待機状態に戻ります。
- 着信履歴の電話番号を短縮ダイヤルに登録するには
着信履歴から、簡単に短縮ダイヤルに登録できます。短縮ダイヤルに登録したい着信履歴の表示中に設定ボタンを押すと、電話番号が入力された状態で短縮ダイヤルの登録画面が表示されます。「短縮ダイヤルに登録するには」の手順5 (P73) 以降を参照して、名称と短縮番号を設定してください。
- 短縮ダイヤルに名称が登録されている場合は
着信履歴に名称も表示されます。
- 履歴を全て消去するには
設定メニューから実行します。下記の操作を行うと、着信履歴とともに発信履歴も全て消去されます。
 - ①待機状態で、設定ボタンを押す
 - ②▼ボタンまたは▲ボタンで「8：ソノタセッテイ」を選択し、設定ボタンを押す
 - ③▼ボタンまたは▲ボタンで「3：リレキシヨウキョ」を選択し、設定ボタンを押す
 - ④▼ボタンまたは▲ボタンで「(2) YES」を選択し、設定ボタンを押す

リレキシヨウキョシマスカ?

(1) NO

(2) YES

発信履歴と着信履歴が全て削除されます。

- ⑤切断ボタンを押す
待機状態に戻ります。

詳しくは、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

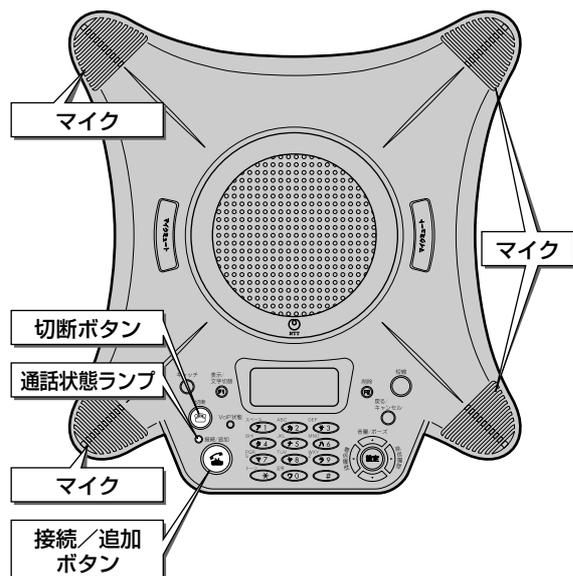
5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときは

8
付録

電話がかかってくると着信音が鳴り、通話状態ランプが緑色に速く点滅します。



1 着信音が鳴り、通話状態ランプが早く点滅します。

VoIP チャクシ
0312345678



2 接続/追加ボタンを押します。

通話状態ランプが点滅から緑色の点灯に変わります。

ツウ (IP1/TELO) PB

接続/追加



3 マイクに向かって、お話しします。



ワンポイント

- 相手の声が聞き取りにくいときは
受話音量を大きくしてください。また、ハウリングやエコーが発生するときには、受話音量を小さくしてください。設定方法は「受話音量を調節するには」(P50)を参照してください。
- IP電話に着信があった場合のディスプレイについて
IP電話に着信があった場合、次のように表示されます。ただし、加入電話回線に着信があった場合には表示されません。
 - ・短縮ダイヤルに名称を登録した相手からの着信時には、登録した名称も表示されます。
 - ・非通知で着信したときは、電話番号は表示されず、「ヒツウチ」または「ヒョウジケンガイ」と表示されます。
 - ・公衆電話からかかってきたときは、電話番号は表示されず、「コウシュウデンワ」と表示されます。

☑「ゲートウェイ接続」で内線から着信した場合は
相手の内線番号が表示されます。

☑「内線接続」で内線から着信した場合は
相手の内線番号が表示されます。

☑「IPアドレス接続」の場合は
着信時にIPアドレスが表示されます。

4 お話が終わったら、切断ボタンを押します。

セツダンサキセンタク
スハ デセツダン
IP#1:0312345678

切断



5 再度、切断ボタンを押します。

通話状態ランプが消灯します。

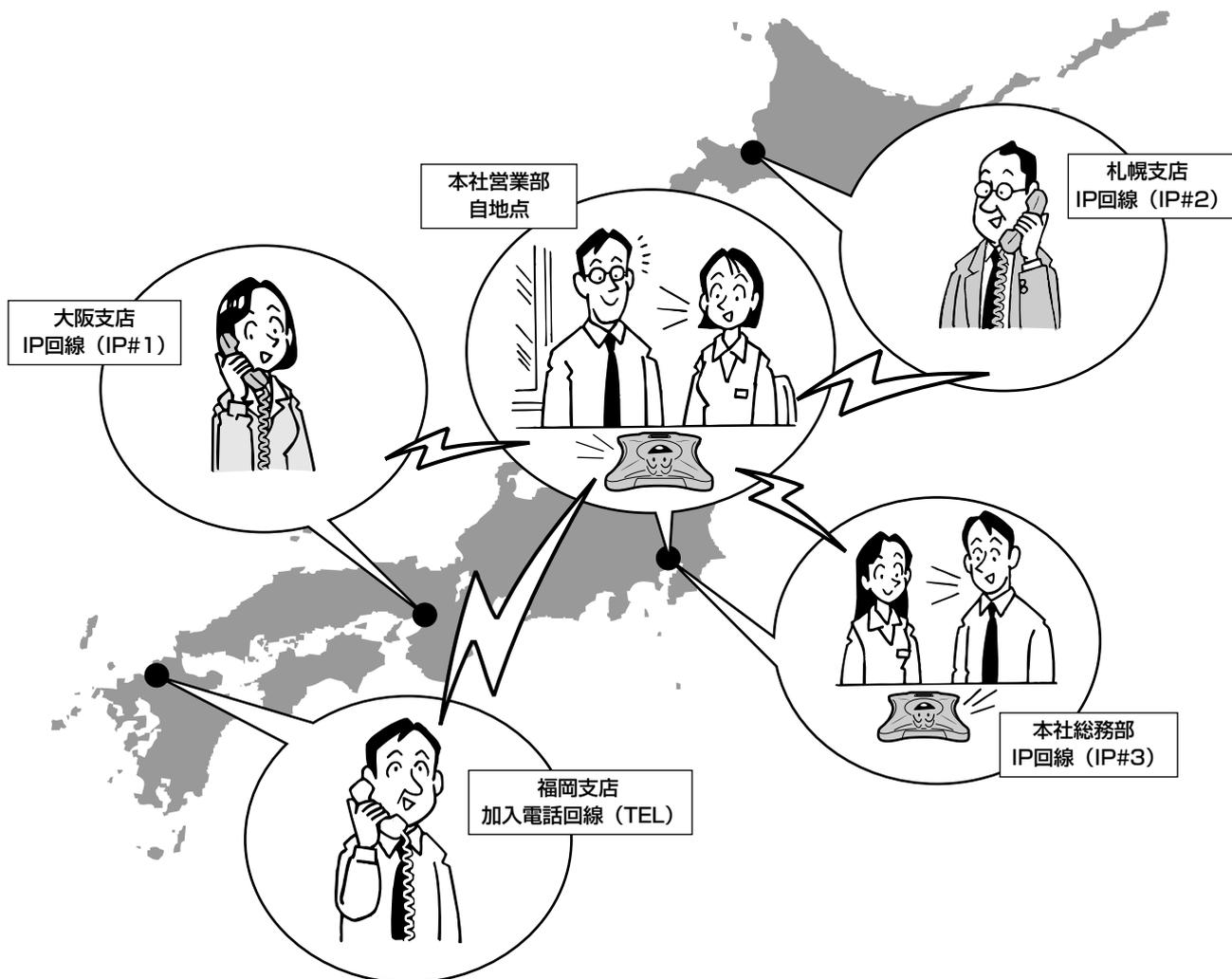
切断



多地点接続するには

(発着信)

本商品は、IP回線3地点と加入電話回線1地点を使って、同時に4地点との通話ができ、自地点を含めて最大5地点での会議通話ができます。



1
なる前に
お使用に

2
接続
本商品の

3
設定方法
本商品の

4
使用かた
電話機能の

5
について
Web機能

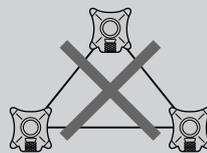
6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

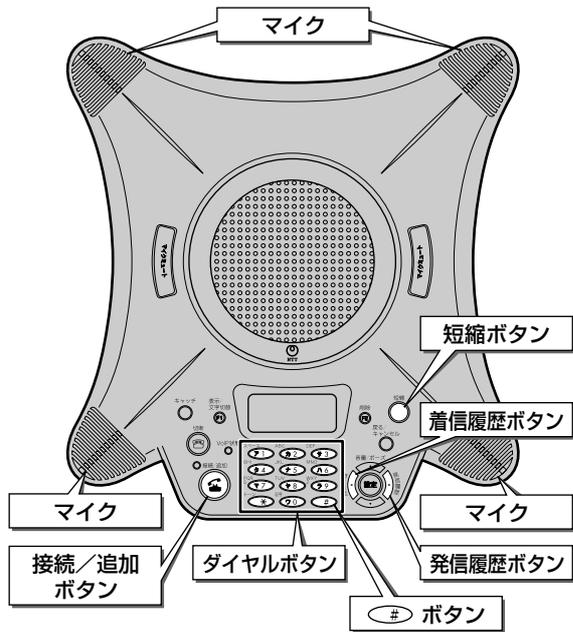
⚠ 注意

- 本商品を2台接続し、IP電話回線どうしや加入電話回線を含めての2回線以上の接続は、ハウリングを生じますので絶対におやめください。
- 本商品をリング状態接続して多地点接続をすると、ハウリングを生じますので絶対におやめください。
- 本商品をカスケード状態で接続して多地点接続すると、遅延等により通話品質が劣化しますのでおやめください。



お知らせ

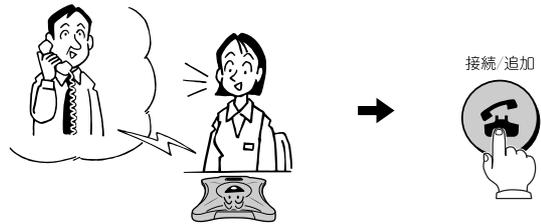
- 広帯域音声利用時でも、多地点接続したときは、会話の状態や周囲の雑音によって一時的に電話帯域音声として聞こえる場合があります。



通話中に新たに電話をかける

本商品は、通話中でも新たに電話をかけることができ、最大4地点（自地点を含めて5地点）での会議通話ができます。

1 通話中に、接続/追加ボタンを押します。



「ツー」という発信音が聞こえます。

ハッソ

ワンポイント

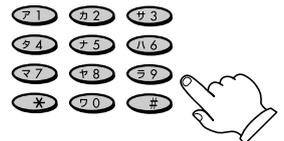
- ダイヤルしてから発信するまでの時間を設定するには
設定メニューの「発信桁間タイム」で、ダイヤルしてから発信するまでの時間を設定できます。「発信桁間タイム」を設定した場合は、電話番号を押したあとと所定の時間後に自動的に発信します。「発信桁間タイム」は、外線接続と内線接続の場合に有効となります。
詳しくは、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。

お知らせ

- IP電話回線3地点と加入電話回線1地点を使用しているときは、新たに電話をかけることはできません。
- 加入電話回線のみが空いている場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ4桁）を付けて発信してください。この場合は、電話番号を押したあとに # ボタンを押す必要はありません。詳しくは、「加入電話回線を選択して電話をかける」(P56)を参照してください。

2 電話番号を押し、最後に # ボタンを押します。

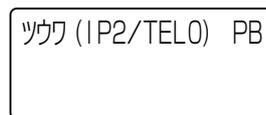
呼出音が聞こえます。



電話番号を押す代わりに、発信履歴ボタン、着信履歴ボタン、短縮ボタンからも発信先を選択できます。

3 2人目の相手が出たら、マイクに向かってお話しします。

最初にお話ししていた相手との通話もそのまま継続でき、3人で会議通話ができます。



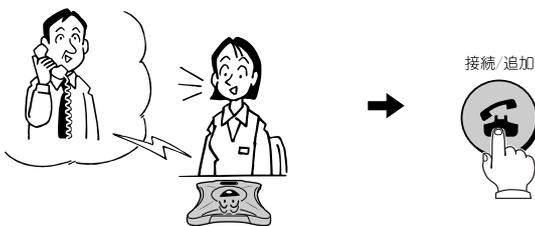
通話地点を増やす場合は、手順1~3を繰り返します。

通話中にかかってきた電話を受ける

本商品は、通話中でも、かかってきた電話に出ることができます。

1 通話中に「プップッ……」という着信音（割込音）が聞こえたら、接続／追加ボタンを押します。

通話状態ランプが速く点滅します。

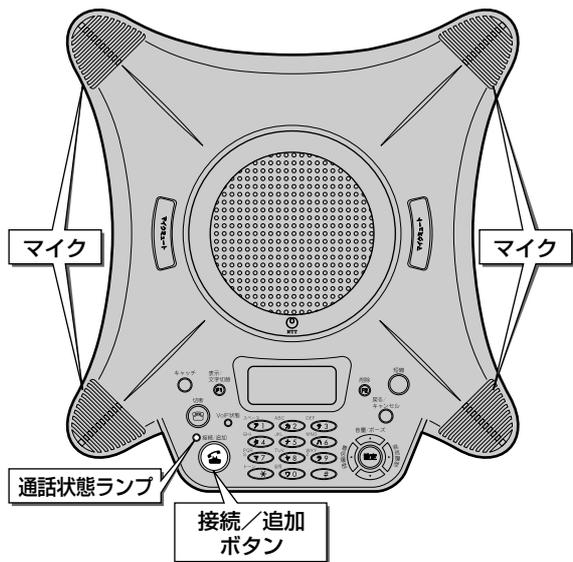


VoIPチャクシ
061234XXXX

2 相手が出たら、マイクに向かってお話しします。

最初にお話ししていた相手との通話もそのまま継続でき、3人で会議通話ができます。

ツウ (IP2/TELO) PB



ワンポイント

● 割込音の音量を調節するには

割込音の音量は、3段階（OFF／小／中）に調節することができます。お買い求め時は、「小」（ショウ）に設定されています。設定方法については、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。



お知らせ

- IP電話回線3地点と加入電話回線1地点を使用しているときは、新たにかかってきた電話を受けることはできません。お話し中になり、相手には「ツーツー」と聞こえます。
- 加入電話回線のみが空いている場合は、IP電話回線は着信しませんが、加入電話回線は着信します。
- 「着信拒否」をONにしているときは、新たにかかってきた電話を受けることはできません。IP電話回線の相手には「ツーツー」という話中音が聞こえ、加入電話回線の相手には「トルルトルル」という呼出音が聞こえますが、本商品に割込音は聞こえません。

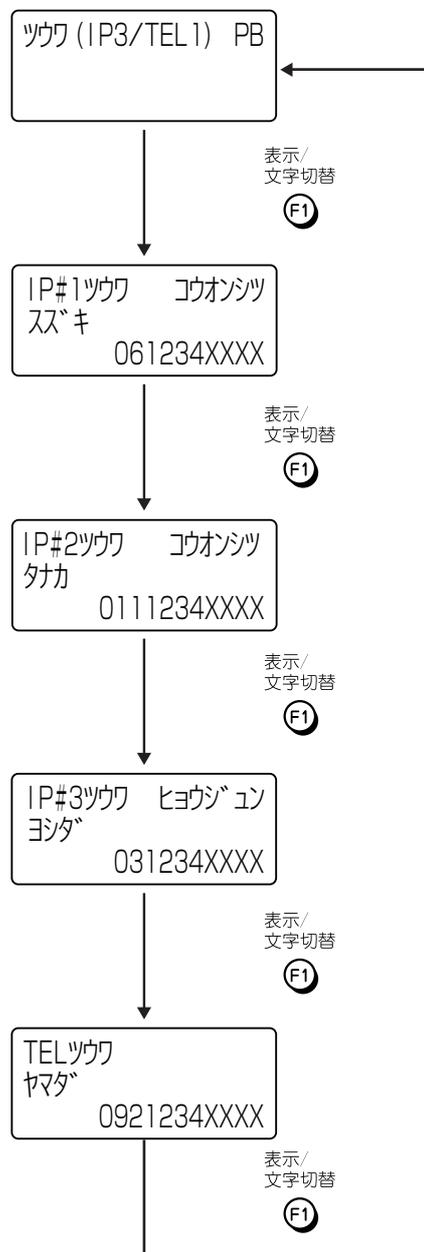
各地点の電話番号を表示する

通話中に、表示／文字切替ボタンを押すたびに、IP#1→IP#2→IP#3→TELの順に通話中の各地点の電話番号が表示されます。

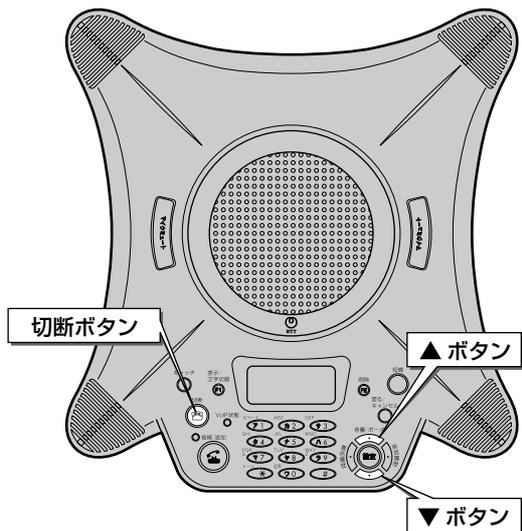
IP回線での通話では、短縮ダイヤルに登録している相手先の場合は、相手先の名称も表示されます。

ただし、加入電話回線での通話では、本商品から発信した相手先の名称が表示されますが、相手からの着信の場合には、名称は表示されません。

また、IP回線での通話では、通話中の音質（高音質または標準）も表示します。



多地点接続中に、相手を選択して切断することができます。



1 多地点接続中に切断ボタンを押します。

セツダンサクセンタク
▲△テセツダン
IP#1:0312345678



2 ▼ボタンまたは▲ボタンで、切断する通話を選択します。

セツダンサクセンタク
IP#1:0312345678
IP#2:イトウ



3 切断ボタンを押します。

選択した通話が切断されます。



ワンポイント

- 全ての通話を一度に切断する場合は
手順1の「スベテセツダン」が選択された状態で切断ボタンを押します。

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

キャッチホンについて

キャッチホンの動作について説明します。キャッチホンの利用方法については、「キャッチホンサービスを利用する」(P108)を参照してください。

加入電話のキャッチホンサービスをご利用の方

着信のパターン		お客様側	発信側
加入電話で通話中のときに	加入電話に着信があった場合	通常のキャッチホンの動作をします。	呼出音が鳴ります。

加入電話のキャッチホンサービスを利用していない方

着信のパターン		お客様側	発信側
加入電話で通話中のときに	加入電話に着信があった場合	通話を継続します。	お話し中になります。

ひかり電話のキャッチホンサービスをご利用の方

着信のパターン		お客様側	発信側
ひかり電話で通話中のときに	ひかり電話に着信があった場合	通話を継続します。	ひかり電話対応ホームゲートウェイの機器マニュアルを参照してください

ひかり電話のキャッチホンサービスを利用していない方

着信のパターン		お客様側	発信側
ひかり電話で通話中のときに	ひかり電話に着信があった場合	通話を継続します。	ひかり電話対応ホームゲートウェイの機器マニュアルを参照してください



お知らせ

- 本商品は加入電話のキャッチホンサービスにのみ対応しております。IP電話回線での着信では動作しません。

発信者番号の通知と表示

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。

通知される電話番号

IP電話で発信した場合は、IP電話番号が通知されます。加入電話で発信した場合は、加入電話番号が通知されます。

電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、加入電話、IP電話として発信する場合でそれぞれ以下のような条件になります。

■IP電話として発信する場合

●IP電話の発信者番号通知設定

IP電話の発信者番号通知設定は、「RFC3323/3325」が「有効」に設定されている場合に本商品から非通知／通知の設定の選択ができます。お買い求め時は「無効」の設定となっていますので、非通知／通知はIP電話サービスの設定内容が優先されます。詳細については、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。

●発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

発信者番号通知設定	ダイヤル操作		
	相手番号（通常の操作）	184+相手番号	186+相手番号
通知	○	×	○
非通知	×	×	○

○：通知する ×：通知しない



お知らせ

W「ゲートウェイ接続」をご利用の場合は、「発信者番号通知設定」に対応していません。非通知／通知は本商品を収容するひかり電話対応オフィスゲートウェイまたはひかり電話対応ホームゲートウェイの設定をご確認ください。

内「内線接続」をご利用の場合は、「発信者番号通知設定」に対応していません。非通知／通知は本商品を収容するビジネスホンの設定をご確認ください。

■加入電話として発信する場合

●加入電話回線ご契約時の内容

加入電話回線のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

●発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契 約	ダイヤル操作		
	相手番号（通常の操作）	「0000+184+相手番号」	「0000+186+相手番号」
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する ×：通知しない

1
なる
前に
に
お
使
い
に

2
接
続
本
商
品
の

3
設
定
方
法
本
商
品
の

4
使
い
か
た
電
話
機
能
の

5
に
W
e
b
機
能
に
つ
い
て

6
ご
参
考
に

7
お
困
り
の
時
に
は

8
付
録

短縮ダイヤルを登録するには

よく電話をかける相手の電話番号（外線・内線）、またはIPアドレスを短縮ダイヤルに登録しておく、2桁の番号（00～99）を押すだけで、電話をかけられます。
ここでは、短縮ダイヤルの登録方法について説明します。
短縮ダイヤルでの電話のかけかたについては、「短縮ダイヤルで電話をかけるには」（P58）を参照してください。



お知らせ

- 通話中に短縮ダイヤルは登録できません。
- 100件の短縮ダイヤル（短縮番号00～99）を登録できます。
- 短縮ダイヤルに登録できる電話番号は最大48桁です。
- 名称には、16文字（カタカナ、英数字、記号）まで登録できます。文字入力のしかたについては、「文字入力について」（P110）を参照してください。
- 短縮ダイヤルには、電話番号（外線、内線）、またはIPアドレスを登録できます。ただし、電話番号とIPアドレスを1つの短縮ダイヤルに登録することはできません。両方を登録したい場合は、別々の短縮ダイヤルに登録してください。
- 「VoIP優先モード」でご利用時に、加入電話回線を選択して発信する相手先を短縮ダイヤルに登録する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ4桁）を付けて登録してください。
- 接続方式によって、発信できる相手先が異なります。

接続方式	外線番号	内線番号	IPアドレス
外線接続	○	×	×
ゲートウェイ接続	○	○	×
内線接続	○※1	○	×
IPアドレス接続	×	×	○

○：発信できる ×：発信できない

※1：本商品を収容するビジネスホンの仕様により異なります。

1 待機状態で、設定ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

1: ｲﾝｼﾞセｯﾃｲ
2: ツウワｵﾝｾｲセｯﾃｲ
3: ﾀﾝｼﾞｭｸセｯﾃｲ



2 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「3: タンシュクセッテイ」を選択します。

1: ｲﾝｼﾞセｯﾃｲ
2: ツウワｵﾝｾｲセｯﾃｲ
3: ﾀﾝｼﾞｭｸセｯﾃｲ



3 設定ボタンを押します。

短縮設定メニューが表示されます。

1: シﾝｷﾄﾞｳﾛｸ
2: シュｳｾｲ
3: ﾀﾞﾝﾊﾞﾝｺﾞｳ



4 「1: シンキトウロク」が選択されている状態で、設定ボタンを押します。

ﾃﾞﾝﾊﾞﾝｺﾞｳ?
-



1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

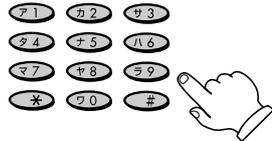
7
お困りの
ときには

8
付録

■電話番号を登録する場合

5 登録する電話番号を入力します。

デンワバンゴウ?
0312345678_



■IPアドレスを登録する場合

5 何も入力しないで、設定ボタンを押します。

IPアドレス?
-



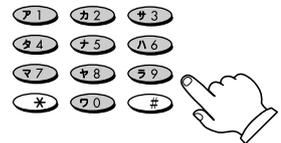
6 設定ボタンを押します。

IPアドレス?
-



6 登録するIPアドレスを入力します。

IPアドレス?
192.168. 1. 17



7 何も入力しないで、設定ボタンを押します。

メイショウ? (ア)
-



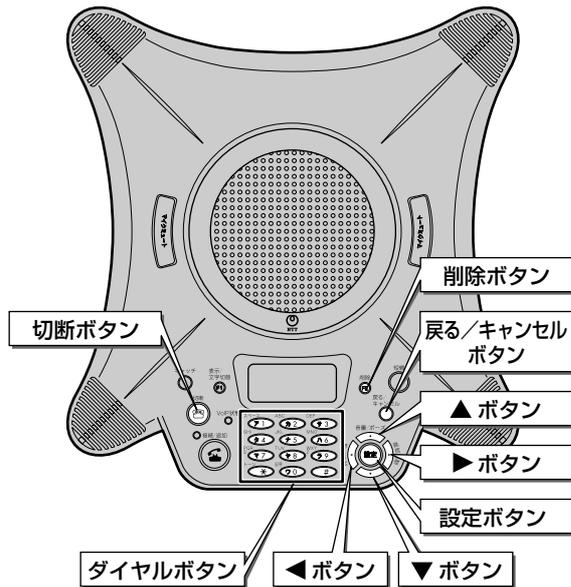
7 設定ボタンを押します。

メイショウ? (ア)
-



(次ページに続く)

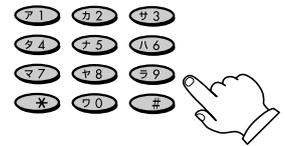
短縮ダイヤルを登録するには



8 名称を入力します。

名称の入力は省略できます。名称を登録しない場合は、手順9へ進んでください。
文字入力のしかたについては、「文字入力について」(P110)を参照してください。

メイヨウ? (ア)
タカ_



9 設定ボタンを押します。

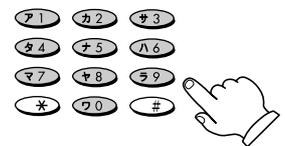
登録されていない一番若い短縮番号が表示されます。短縮番号を修正する場合は手順10へ、修正しない場合は手順11へ進んでください。

タンシュクバンゴウ?
00



10 短縮番号を2桁で入力します。

タンシュクバンゴウ?
13



11 設定ボタンを押します。

確認メッセージが表示されて、手順3の画面に戻ります。

1: ショクトウク
2: シュウセイ
3: サクゾヨ



続けて登録する場合は、手順4から11までの操作を繰り返してください。

12 短縮ダイヤルの登録が全て終了したら、切断ボタンを押します。

待機状態に戻ります。



切断ボタンの代わりに、戻る／キャンセルボタンを2回押しでも待機状態に戻ります。



ワンポイント

- 短縮ダイヤルの登録中に1つ前の画面に戻りたい場合は戻る／キャンセルボタンを押します。
- 入力文字を削除するには削除ボタンを押します。カーソル上の文字が1文字削除されます。
- 入力中にカーソルを左右に移動させるには左に移動するときは◀ボタン、右に移動するときには▶ボタンを押します。
- 登録しようとした短縮番号に、すでに短縮ダイヤルが登録されている場合は手順11で設定ボタンを押すと、「ウワガキマスカ?」という確認画面が表示されます。この場合は、▼ボタンまたは▲ボタンで「(1)NO」、「(2)YES」のどちらかを選択して、設定ボタンを押してください。(カ1 (NO)、カ2 (YES) を押してもかまいません。)

ウワガキマスカ?

(1) NO
(2) YES

- (1) NO : 登録済みの短縮ダイヤルを保存するときを選択します。短縮ダイヤルを入力する画面に戻りますので、再度、別の短縮番号を入力してください。
- (2) YES : 登録済みの短縮ダイヤルを削除して、新しい短縮ダイヤルを上書きするときを選択します。

新規に短縮ダイヤルを登録する場合には、あらかじめ登録されている短縮番号を確認しておくことをおすすめします。

- 登録した短縮ダイヤルを削除するときは次のように操作します。
 - ①手順3の画面で、(サ3) (サクジヨ) を押す
 - ②▼ボタンまたは▲ボタンで削除する短縮ダイヤルを検索する
 - ③設定ボタンを押す
 - ④表示された確認画面で(カ2) (YES) を押す
- 登録した短縮ダイヤルを修正するときは次のように操作します。
 - ①手順3の画面で、(カ2) (シュウセイ) を押す
 - ②▼ボタンまたは▲ボタンで修正する短縮ダイヤルを選択する
 - ③設定ボタンを押す
 - ④電話番号を修正し、設定ボタンを押す
電話番号を修正しない場合は、そのまま設定ボタンを押します。
 - ⑤IPアドレスを修正し、設定ボタンを押す
IPアドレスを修正しない場合は、そのまま設定ボタンを押します。
 - ⑥名称を修正し、設定ボタンを押す
名称を修正しない場合は、そのまま設定ボタンを押します。
 - ⑦短縮番号を修正し、設定ボタンを押す
短縮番号を修正しない場合は、そのまま設定ボタンを押します。
 - ⑧表示された確認画面で(カ2) (YES) を押す
- 内線接続のときにポーズを登録するには▲ (ポーズ) ボタンを押します。ディスプレイには「P」と表示されます。

方向ランプの表示について

方向ランプは、8個のランプで構成されており、以下の3種類の表示方法を選択できます。お買い求め時には、「話者方向表示」に設定されています。

- ・話者方向表示：話者方向をランプで示します。
- ・通話地点表示：通話地点をランプで示します
- ・OFF：方向ランプを使用しません。



ワンポイント

●方向ランプの表示方法を変更するには

次のように操作します。

- ①待機状態または通話中に設定ボタンを押す
- ②▼ボタンまたは▲ボタンで「4：オート／ランプセッテイ」を選択し、設定ボタンを押す
- ③▼ボタンまたは▲ボタンで「5：ランプヒョウジシユルイ」を選択し、設定ボタンを押す
- ④方向ランプの表示方法を▼ボタンまたは▲ボタンで選択し、設定ボタンを押す

(1) OFF
(2) ツウワチテン
(3) ワンヤホウコウ

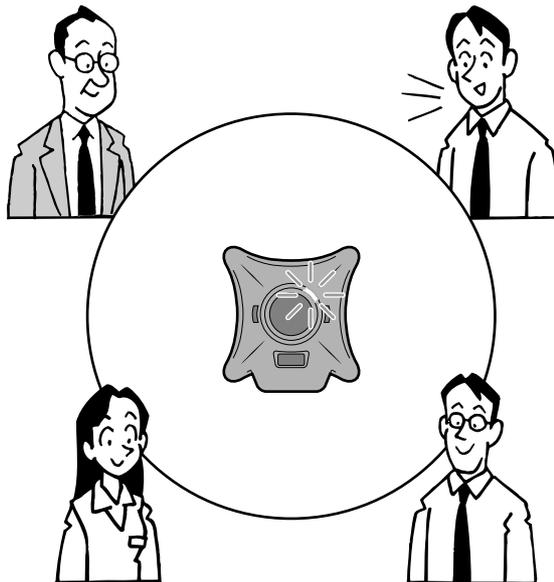
確認メッセージが表示されます。

- ⑤切断ボタンを押す

待機状態または通話中の画面に戻ります。

話者方向表示

本商品のどの方向から音声が入っているかを検出して、話者の方向にあるランプが青く点灯します。話者方向が切り替わると、点灯するランプの位置が変わります。



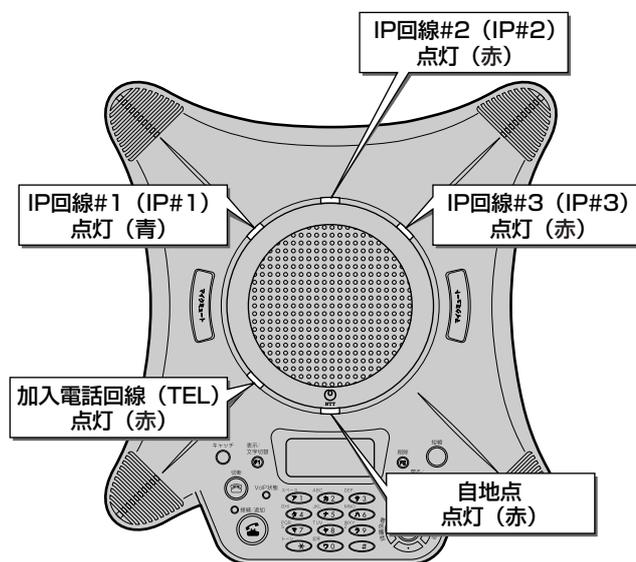
お知らせ

- 内部マイクがOFFのときや、マイクミュート状態では動作しません。マイクミュート状態では、全方向の方向ランプが赤く点滅します。
- 音声極端に小さかったり、周囲の雑音や部屋の残響が大きい場合、話者方向を誤ったり、表示されないことがあります。

通話地点表示

多地点接続のときに、接続地点に該当する方向ランプが赤く点灯し、音声入力が発検された地点のランプは青く点灯します。

例：5地点での会議通話で、IP#1から音声が入っている場合は、以下のように方向ランプが点灯します。



お知らせ

- 内部マイクがOFFのときや、マイクミュート状態では動作しません。マイクミュート状態では、全方向の方向ランプが赤く点滅します。
- 多地点接続の発着信方法については、「多地点接続するには（発着信）」（P65）を参照してください。
- 多地点通話中に表示／文字切替ボタンを押すたびに、IP#1→IP#2→IP#3→TELの順に電話番号が表示されます。詳しくは「各地点の電話番号を表示する」（P68）を参照してください。
- 複数の通話地点表示は、多地点接続している本商品でのみできます。多地点接続に参加している本商品では、自地点とIP回線のどれか1つのみが接続地点表示されます。
- 音声が極端に小さかったり、周囲の雑音や部屋の残響が大きい場合、通話地点表示（方向ランプが青色で点灯）を誤ったり、表示されないことがあります。
- 広帯域音声の高音質会議通話の場合、複数の地点の音声と同時に聞こえますが、音声が入った地点としてランプが青く点灯した地点のみの音声が高音質となります。

ログイン方法

Webブラウザでログイン後、本商品のシステムデータのバックアップ/リストア、ファームウェア更新、および再起動を実行できます。

ここでは、Webブラウザから本商品へログインする手順について説明します。

1 本商品とパソコンをLANケーブルで接続します。

本商品背面にあるLANケーブル差込口とパソコンを、HUBを利用してLANケーブル（添付のストレートケーブル）で接続してください。



お知らせ

- 市販のLANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。HUBを利用しないで直接本商品とパソコンを接続する場合は、クロスケーブルをお使いください。

2 本商品に接続したパソコンでInternet Explorerを起動します。



お知らせ

- OSやブラウザは、以下のバージョン以上をご使用ください。
OS :
Windows® 2000 SP4以降
Windows® XP (Home、Pro) SP2以降
Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business)
ブラウザ :
Windows Vista® の場合
・ Internet Explorer 7.0以降
Windows® XP SP2の場合
・ Internet Explorer 6.0 SP2以降
Windows® XP/2000の場合
・ Internet Explorer 6.0 SP1以降
- 本商品に同時にログインできるパソコンは、1台のみです。複数のパソコンから同時にログインすることはできません。
- Internet Explorerの標準のボタン [戻る] や [更新] には対応していませんので、下記の条件下でご利用ください。
・メニュー [表示] の [ステータスバー] のチェックを外してください。
・メニュー [表示] → [ツールバー] の [標準のボタン] と [リンク] のチェックを外してください。

3 アドレスバーに 「<http://192.168.1.1/mb-1000.html>」

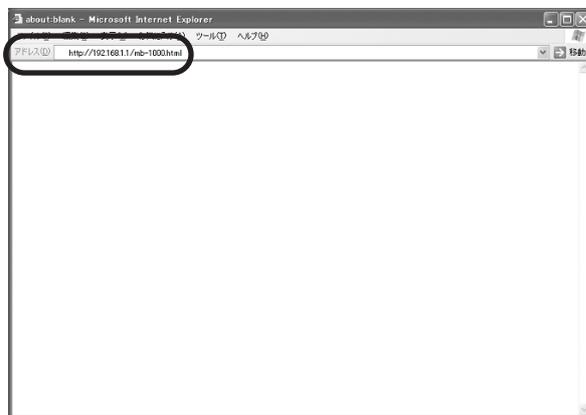
↑
IPアドレス（初期値）

と入力し、「Enter」キーを押します。



お知らせ

- 「自IPアドレスを確認するには」（P98）を参照して、IPアドレスを確認してから入力してください。



ログイン画面が表示されます。

4

「ユーザID」と「パスワード」を入力し、
[ログイン] をクリックします。



項目	入力内容	お買い求め時の設定
ユーザID	ユーザIDを入力します。 4文字以上8文字以内の英数字で入力します。 設定可能な文字は、「数字：0～9、*、#」、「英字：a～z、A～Z」です。大文字小文字の識別があり、スペースおよび記号等は使用できません。	admin
パスワード	ログインパスワードを入力します。 4文字以上8文字以内の英数字で入力します。 設定可能な文字は、「数字：0～9、*、#」、「英字：a～z、A～Z」です。大文字小文字の識別があり、スペースおよび記号等は使用できません。	未登録



お知らせ

- Webブラウザから本商品にログインするには、本商品の設定メニューからのパスワードの設定が必要です。パスワードの設定方法については、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。
- 「ユーザID」と「パスワード」は、本商品の設定メニューで変更することができます。パソコンからは変更できません。
- 「ユーザID」や「パスワード」を変更した場合は、必ず、メモに控えてください。
- 「ユーザID」や「パスワード」を忘れた場合は、本商品の設定メニューで再設定してください。詳しくは、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。
- 本商品の設定メニューでシステムデータ設定操作を行っている場合は、ログインできません。
- すでに他のパソコンからログインされている場合は、ログインできません。
- ログイン状態で本商品の設定ボタンを押すと、「Webログインチュウ!」と表示され、システムデータ設定はできません。システムデータ設定する場合は、ログアウトしてください。
- 通話中にWeb機能の操作を行うと、通話の音声途切れたりすることがあります。なるべく待機状態で操作してください。

(次ページに続く)

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

本商品へログインすると、右の画面が表示されます。



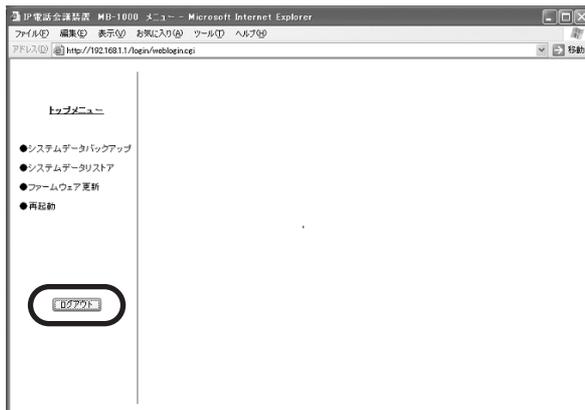
お知らせ

- ログイン後、30分以上操作しないと、ログアウト状態に戻ります。その後操作を行う場合は、再度ログイン操作が必要です。

ログアウト方法

ログインしている状態から、ログアウトする方法について説明します。

1 トップメニューの最下行にある【ログアウト】をクリックします。



2 確認ダイアログボックスで、【OK】をクリックします。



3 ログアウト画面で、【閉じる】をクリックします。



4 確認ダイアログボックスで、【はい】をクリックします。

ブラウザが閉じます。



お知らせ

- ブラウザ画面の右上にある  (閉じる) ボタンを押すと、ブラウザ画面が閉じられ、約50秒後に自動的にログアウトします。

1
お使用に
なる前に

2
接続
本商品の

3
設定方法
本商品の

4
使用かた
電話機能の

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

システムデータのバックアップ方法

Webブラウザを利用して、接続したパソコンへ本商品のシステムデータをバックアップします。

1 本商品とパソコンを接続して、ログインします。
ログイン方法については、「ログイン方法」(P78)を参照してください。

2 トップメニューの【システムデータバックアップ】をクリックします。



3 バックアップするシステムデータファイルの種類を選択し、【実行】をクリックします。

選択できるシステムデータファイルは、「本体設定データ」または「短縮ダイヤルデータ」です。

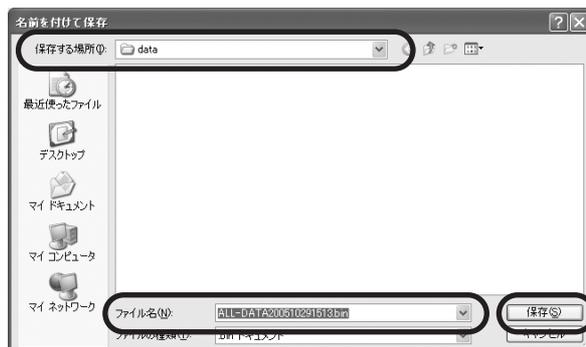


お知らせ

- 「本体設定データ」は、本体の全設定データで、短縮ダイヤルのデータも含んでいます。「短縮ダイヤルデータ」は、短縮ダイヤルのデータのみです。

4
確認ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

※お使いのパソコンによっては、[OK] をクリックしたあとに右のセキュリティの警告画面が表示されることがあります。その場合は、[保存] をクリックしてください。

5
保存先とファイル名を指定して、[保存] をクリックします。

バックアップしたシステムデータは、「システムデータリストア」でリストアデータとして使用します。

 お知らせ

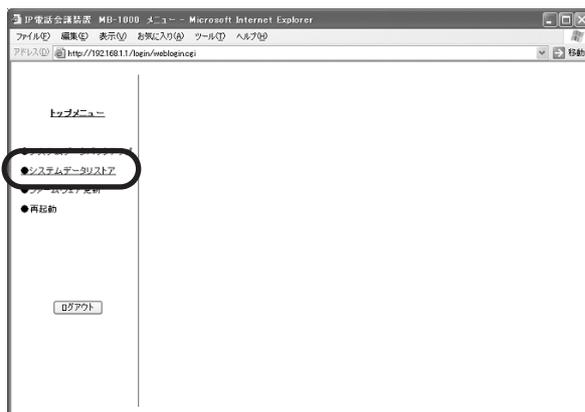
- デフォルトのファイル名は、以下のとおりです。
 本体設定データ : 「ALL-DATAxxxxxxxxxxxxx.bin」
 短縮ダイヤルデータ : 「TEL-DATAxxxxxxxxxxxxx.bin」
 xx...には日付(年月日時分)が出力されます。
 例. ALL-DATA200512191737 (2005年12月19日17時37分の本体設定データ)
 日付は、ご使用中のパソコンに設定されている日付となります。

システムデータのリストア方法

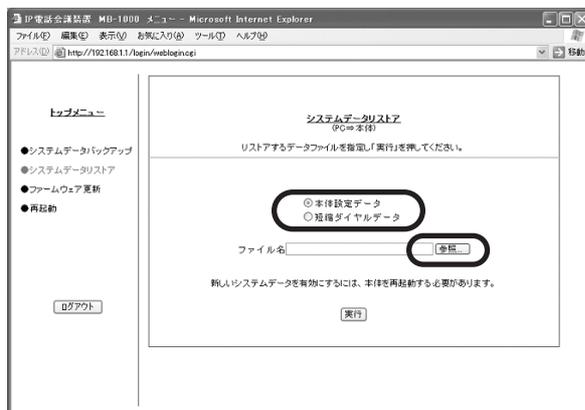
Webブラウザを利用して、バックアップした本商品のシステムデータをリストアします。

1 本商品とパソコンを接続して、ログインします。
ログイン方法については、「ログイン方法」(P78)を参照してください。

2 トップメニューの【システムデータリストア】をクリックします。



3 リストアするシステムデータファイルの種類を選択し、【参照】をクリックします。
選択できるシステムデータファイルは、「本体設定データ」または「短縮ダイヤルデータ」です。



お知らせ

- 「本体設定データ」は、本体の全設定データで、短縮ダイヤルのデータも含んでいます。「短縮ダイヤルデータ」は、短縮ダイヤルのデータのみです。

4 リストアするファイルを選択し、【開く】をクリックします。



5

【実行】 をクリックします。



6

確認ダイアログボックスで、【OK】 をクリックします。



リストア状況が表示されます。



1
お使用に
なる前に

2
接続
本商品の

3
設定方法
本商品の

4
使用かた
電話機能の

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

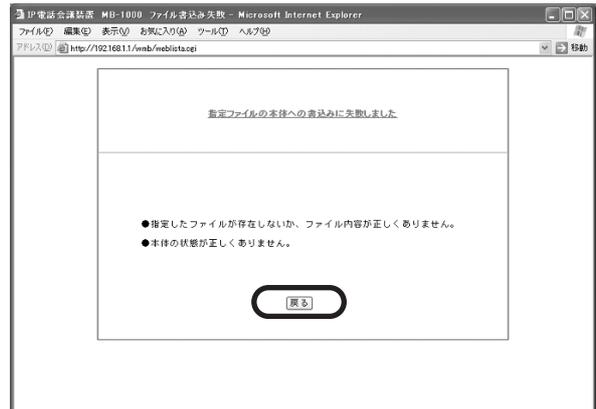
8
付録

(次ページに続く)



お知らせ

- リストアが途中で失敗すると、右の画面が表示されます。[戻る] をクリックし、もう一度手順1から実行してください。



- 7** リストアが成功したら、[実行] をクリックします。



- 8** 確認ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。



9

【閉じる】をクリックします。



10

確認ダイアログボックスで、【はい】をクリックします。

ブラウザが閉じます。



1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

ファームウェアの更新方法

当社ホームページからファームウェアをパソコンへダウンロードして、パソコンから本商品のファームウェアを更新します。



お知らせ

- 本商品がファームウェア更新処理中はIP電話、加入電話はご利用いただけません。
- ファームウェアの更新の時期・方法などにつきましては、以下のホームページをご確認ください。
当社ホームページ : <http://web116.jp/ced/>
: <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

ファームウェアバージョンの確認方法

現在使用しているファームウェアよりも、ダウンロードするファイルが新しいことを確認してください。ダウンロードするファームウェアの方が古い場合は、更新処理は不要です。

確認方法は、「バージョンを確認するには」(●P96)を参照してください。

ファームウェアのダウンロード方法

あらかじめ、ファームウェアをパソコンの任意のフォルダへダウンロードします。

最新のファームウェアは、当社ホームページで確認できます。

ファームウェアのバージョンをクリックするとダウンロードが実行されます。



ワンポイント

- パソコンを使わずに最新のファームウェアを更新するには

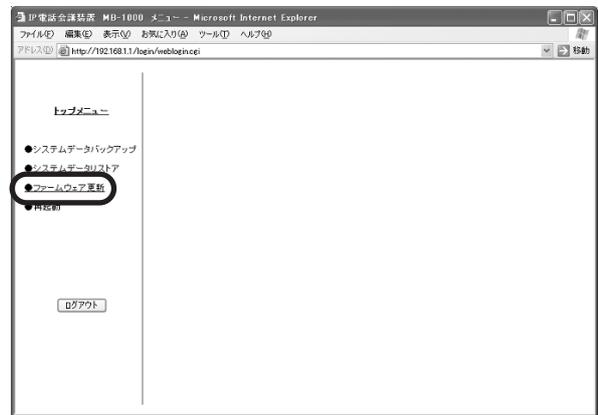
本商品を直接操作することにより、手動で最新のファームウェアが公開されているかを問い合わせ、公開されていた場合はアップデートすることもできます。詳しくは「手動アップデート」(●P104)を参照してください。

ファームウェアの更新方法

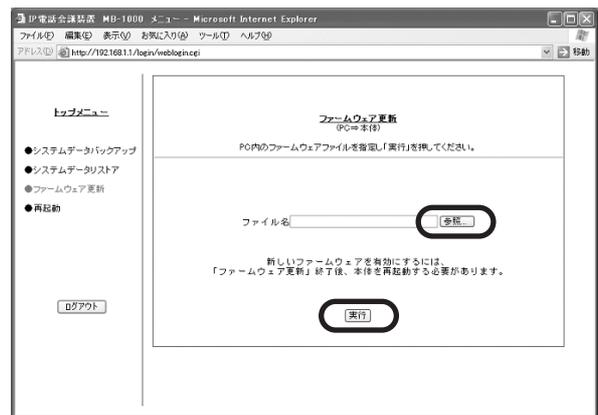
ファームウェアの更新手順について説明します。

1 本商品とパソコンを接続して、ログインします。
ログイン方法については、「ログイン方法」(P78)を参照してください。

2 トップメニューの【ファームウェア更新】をクリックします。



3 【参照】をクリックして、当社ホームページよりダウンロードしたファームウェアの保存場所を選択します。



4 「実行」をクリックします。

5 確認ダイアログボックスで、【OK】をクリックします。



1
お使用に
なる前に

2
接続
本商品の

3
設定方法
本商品の

4
使用いかた
電話機能の

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困り
ときには

8
付録

(次ページに続く)

ファームウェアの更新方法

ファームウェアの更新中は、右の画面が表示されます。ファームウェアの更新が終了するまでしばらくお待ちください。
 ファームウェアの更新が終了するまでの時間は、ファームウェアの更新内容によって異なります。



注意

●この間、電源をOFFにしないでください。更新中にOFFにすると、回復不能な故障の原因となります。



お知らせ

●バージョンアップが途中で失敗すると、右の画面が表示されます。[戻る] をクリックし、もう一度手順1から実行してください。



6 バージョンアップが終了したら、[実行] をクリックします。



7 確認ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

新しいファームウェアで本商品を起動します。

8 [閉じる] をクリックします。

9 確認ダイアログボックスで、[はい] をクリックします。

ブラウザが閉じます。



1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

再起動方法

Webブラウザを利用して、本商品を再起動（リポート）することができます。
通常、本商品を再起動するときは、設定メニュー操作で行う、または本商品の電源アダプタのプラグをコンセント（AC100 V）からいったん抜いて再度接続する操作をしますが、離れた場所から再起動を行いたい場合などに、Web機能から実行することができます。

お知らせ

- 再起動後に、Web機能を利用した操作を行うには、再度、ログイン操作から始めてください。

1 本商品とパソコンを接続して、ログインします。
ログイン方法については、「ログイン方法」（P78）を参照してください。

2 トップメニューの【再起動】をクリックします。



3 【実行】をクリックします。



4 確認ダイアログボックスで、【OK】をクリックします。

本商品が再起動します。



5 **【閉じる】 をクリックします。**



6 **確認ダイアログボックスで、【はい】 をクリックします。**

ブラウザが閉じます。



1
お使用に
なる前に

2
接続
本商品の

3
設定方法
本商品の

4
使用かた
電話機能の

5
Web機能
について

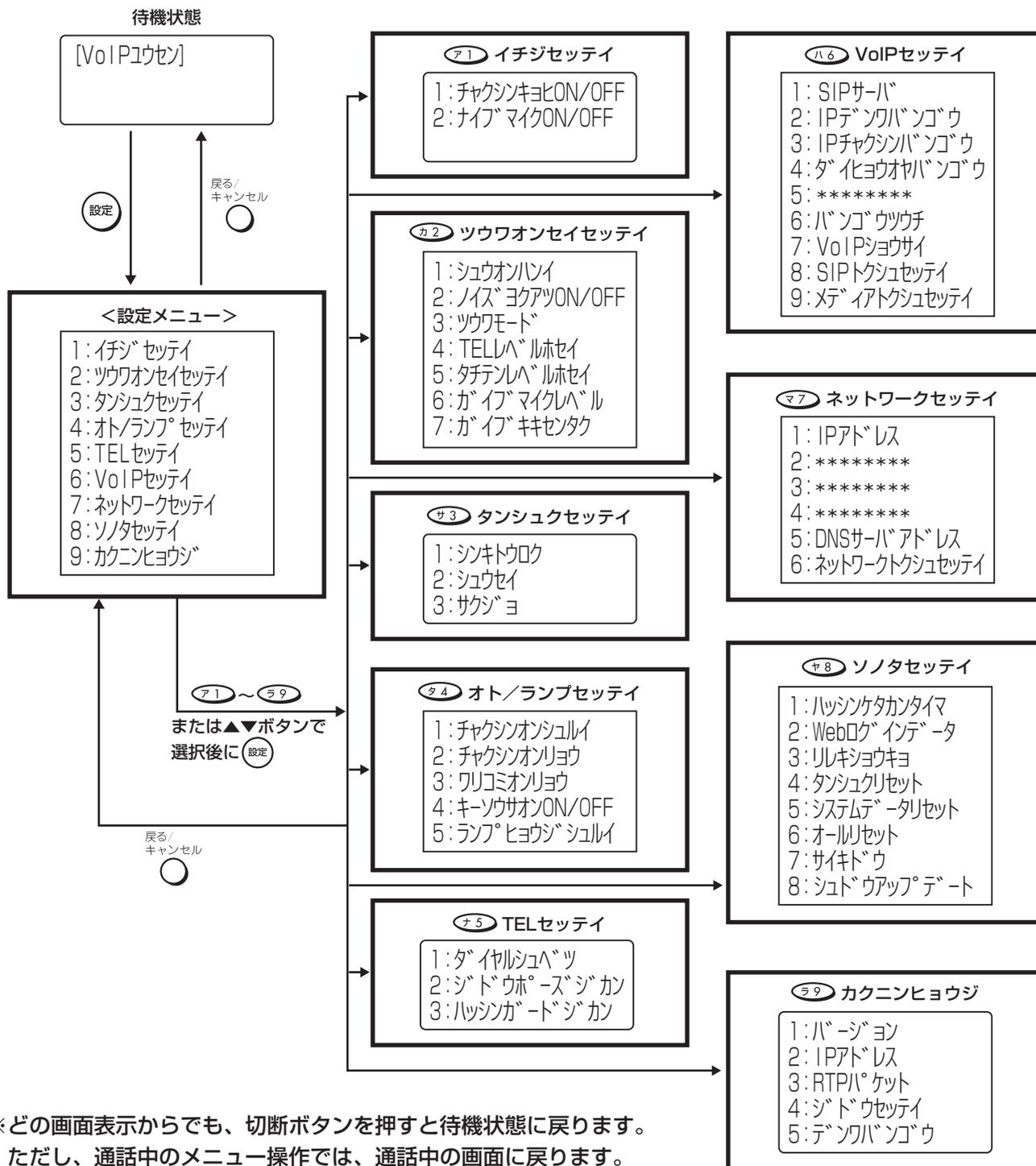
6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

メニュー構成

本商品の設定メニューから、ネットワーク設定、システム設定などの各種設定ができます。メニューの階層構造と操作ボタンについて、以下に示します。詳しくは、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。



※どの画面表示からでも、切断ボタンを押すと待機状態に戻ります。ただし、通話中のメニュー操作では、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「SIP動作モード」が「ゲートウェイ-A」または「ゲートウェイ-B」の場合、「VoIP設定」の一部や「ネットワーク設定」は設定できません。詳しくは『取扱説明書・システムデータ編』を参照してください。



ワンポイント

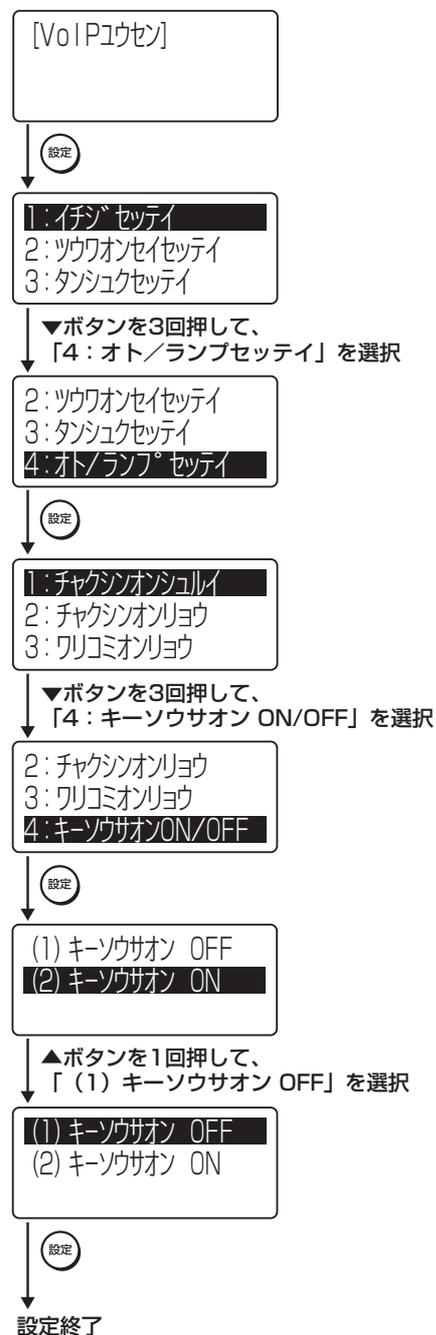
●設定メニューの選択操作について

▲▼ボタンを利用する方法とダイヤルボタンで番号を押す方法の2種類があります。ここでは、ボタン操作音をOFFにするときの設定を例にして説明します。

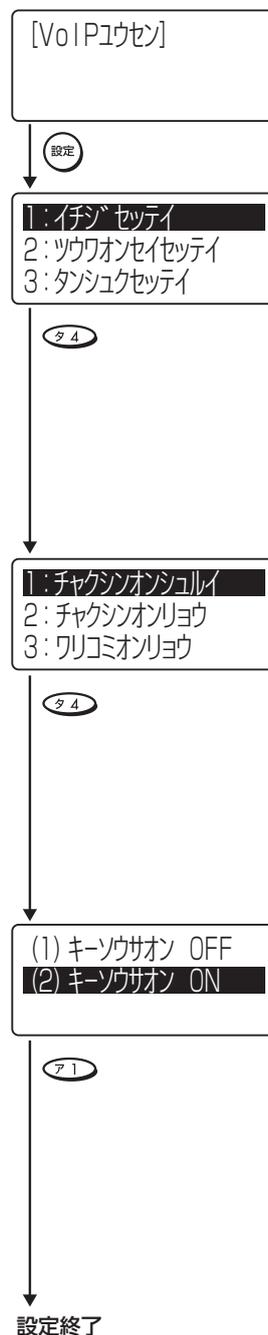
ダイヤルボタンを利用してメニューを選択する場合は、前ページのメニュー構成を参照してください。

項目の内容や設定値の範囲などについては、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。

<▲▼ボタンを利用する方法>

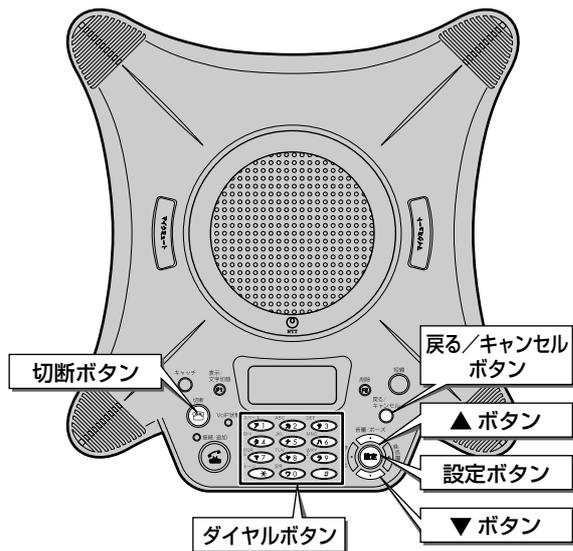


<ダイヤルボタンを利用する方法>



バージョンを確認するには

本商品の現在のシステムバージョンを確認することができます。



1 待機状態または通話中に、設定ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 1: イジセッテイ
- 2: ツウオンセイセッテイ
- 3: タンシュクセッテイ



2 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「9: カクニンヒョウジ」を選択します。

- 7: ネットワークセッテイ
- 8: ソノタセッテイ
- 9: カクニンヒョウジ



3 設定ボタンを押します。

確認表示メニューが表示されます。

- 1: バージョン
- 2: IPアドレス
- 3: RTPパケット



4 「1: バージョン」が選択されている状態で、設定ボタンを押します。

- 1: システムバージョン

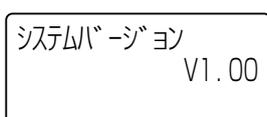


ワンポイント

- ダイヤルボタンを利用して操作するには
手順1のあと、**59** **71** **71** と押しても、バージョンが表示されます。

5 「1：システムバージョン」が選択されている状態で、設定ボタンを押します。

本商品のシステムバージョンが表示されます。



6 確認したら、切断ボタンを押します。

待機状態または通話中に戻ります。



切断ボタンの代わりに、戻る／キャンセルボタンを4回押しでも待機状態または通話中に戻ります。

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

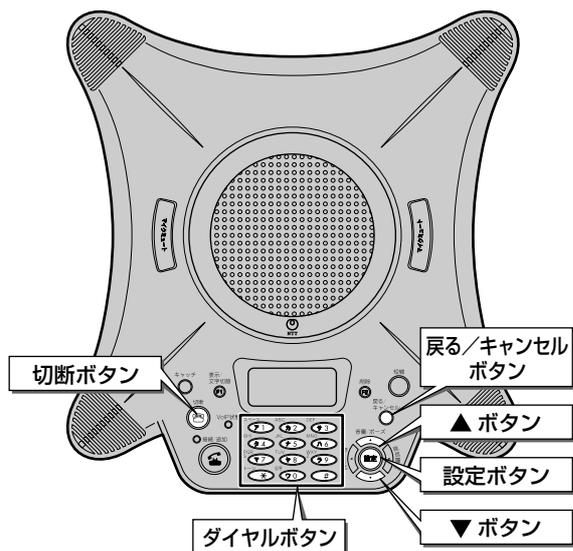
7
お困りの
ときには

8
付録

自IPアドレスを確認するには

本商品の現在の自IPアドレス（IPアドレスやサブネットマスクなど）を確認することができます。

ここでは、IPアドレスを確認する操作について説明します。



1 待機状態または通話中に、設定ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 1: イチジセツテイ
- 2: ツウワオンセイセツテイ
- 3: タンシュクセツテイ



2 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「9: カクニンヒョウジ」を選択します。

- 7: ネットワークセツテイ
- 8: ソノタセツテイ
- 9: カクニンヒョウジ



3 設定ボタンを押します。

確認表示メニューが表示されます。

- 1: パージョン
- 2: IPアドレス
- 3: RTPパケット



4 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「2: IPアドレス」を選択します。

- 1: パージョン
- 2: IPアドレス
- 3: RTPパケット



ワンポイント

- ダイヤルボタンを利用して操作するには
手順1のあと、**9** **2** **7** と押しても、IPアドレスが表示されます。

5 設定ボタンを押します。

1: IPアドレス
2: サブネットマスク
3: デフォルトゲートウェイ



6 「1: IPアドレス」が選択されている状態で、設定ボタンを押します。

本商品の現在のIPアドレスが表示されます。

IPアドレス
192.168. 1. 1



7 確認したら、切断ボタンを押します。

待機状態または通話中に戻ります。



切断ボタンの代わりに、戻る／キャンセルボタンを4回押しでも待機状態または通話中に戻ります。

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

本商品の初期化について

初期化とは、本商品に設定したシステムデータ内容を消去して、お買い求め時の状態に戻すことをいいます。

本商品の初期化には、「初期化スイッチによる操作」(●P101)と「メニューによる操作」(●P102)の2種類の方法があります。

本商品がうまく動作しない場合、今までとは違う回線に接続し直す場合、または設定を間違えた場合は、本商品を初期化して、初めから設定し直すことをおすすめします。

いったん初期化すると、それまでに設定した値は全て消去され、お買い求め時の状態に戻りますのでご注意ください。(IP電話に関する設定も全て消去されてしまいますので、設定をやり直してください。)

初期化を行う前に、本商品に設定した内容をパソコンにバックアップすることをおすすめします。バックアップ方法については、「システムデータのバックアップ方法」(●P82)を参照してください。

本商品に設定するユーザIDやパスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。

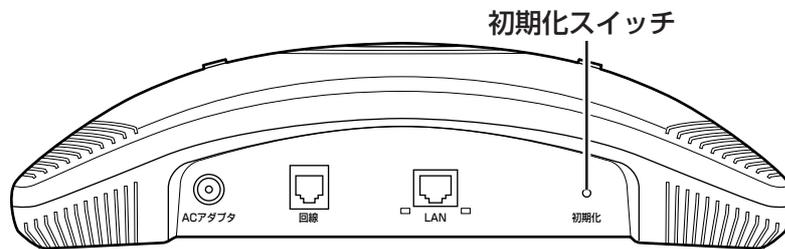
本商品を当社に返却したり廃棄したりする場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

初期化スイッチによる操作

1 本商品の電源アダプタコードのプラグをコンセント（AC100 V）から抜きます。

電源がOFFになります。

2 本商品背面にある初期化スイッチの小穴に、細くて堅い棒を入れて押しながら、電源を入れます。



初期化が始まると、方向ランプが青く点灯し、以下の画面が表示されます。方向ランプが青く点滅し、画面の「ショキカ キドウチュウ」が点滅表示するまで初期化スイッチを押し続けてください。点滅している間は初期化中です。

ショキカ キドウチュウ

初期化が完了すると、方向ランプが消灯し、以下の画面が表示されます。

セッテイガ ショキカサレマシタ!
サイキドウシテクダサイ

3 初期化が完了したら、本商品を再起動します。

再起動を行う操作は、「本商品を再起動するには」(●P41)を参照してください。

本商品の初期化について



メニューによる操作

設定メニューから、本商品を初期化することができます。

1 待機状態で、設定ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 1: イチンセッテイ
- 2: ツウワオンセイセッテイ
- 3: タンシュクセッテイ



2 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「8: ソノタセッテイ」を選択します。

- 6: VoIPセッテイ
- 7: ネットワークセッテイ
- 8: ソノタセッテイ



3 設定ボタンを押します。

その他設定メニューが表示されます。

- 1: ハッショクダカンタイム
- 2: Webログ インター
- 3: リレキシヨウキョ



4 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「6: オールリセット」を選択します。

- 4: タンシュクリセット
- 5: システムデータリセット
- 6: オールリセット



5 設定ボタンを押します。

!!オールセットシマスか!!
(1) NO
(2) YES



6 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「(2) YES」を選択します。

!!オールセットシマスか!!
(1) NO
(2) YES



7 設定ボタンを押します。

ホントウニオールセットシマスか
(1) NO
(2) YES



8 再度、▼ボタンまたは▲ボタンで「(2) YES」を選択します。

ホントウニオールセットシマスか
(1) NO
(2) YES



9 設定ボタンを押します。

初期化が開始され、方向ランプが青く点灯します。

シヨキカチュウ



初期化が完了すると、下記の画面が表示されます。

セツテイガ シヨキカサレマシタ!
サイキドウ シテクダサイ

10 初期化が完了したら、本商品を再起動します。

方向ランプが消灯します。

再起動を行う操作は、「本商品を再起動するには」(P41)を参照してください。

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困りの
ときには

8
付録

手動アップデート

インターネットに接続できる環境に本商品を接続することにより、手動で最新のファームウェアが公開されているかを問い合わせ、公開されていた場合はアップデートすることができます。



メニューによる操作

1 待機状態で、設定ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 1: イジセッテイ
- 2: ツウオンセイセッテイ
- 3: タンシュクセッテイ



2 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「8: ソノタセッテイ」を選択します。

- 6: VoIPセッテイ
- 7: ネットワークセッテイ
- 8: ソノタセッテイ



3 設定ボタンを押します。

その他設定メニューが表示されます。

- 1: ハツシカガタカタイム
- 2: Webログ インデ-タ
- 3: リキショウキョ



4 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「8: シュドウアップデート」を選択します。

- 6: オールリセット
- 7: サイドウ
- 8: シュドウアップデート



STOP お願い

●アップデート中や再起動中は、絶対に電源を切らないでください。回復不可能な故障の原因になります。

5 設定ボタンを押します。

更新情報の取得を開始します。

コウソウジ ヨウホウ
シユクチュウ



最新のファームウェアが更新されていると、下記の画面が表示されます。

アップデータですか?
(1) NO
(2) YES

6 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「(2) YES」を選択します。

アップデータですか?
(1) NO
(2) YES



7 設定ボタンを押します。

ファームウェアのダウンロードを開始します。

ダウンロードチュウ!
>>>>>_____



続いて本装置のメモリへの書き込みを開始します。

メモリカキコミチュウ!
ゼツタニ デンガンヲ
キライテクダサイ



メモリへの書き込みが完了すると、下記の画面が表示されます。

サイキドウシマスカ?
(1) NO
(2) YES

8 ▼ボタンまたは▲ボタンで、「(2) YES」を選択します。

サイキドウシマスカ?
(1) NO
(2) YES



9 設定ボタンを押します。

サイキドウ...



お知らせ

- アップデート中や再起動中は、電話の発着信を含め、すべての機能がご利用できません。
- ファームウェア更新にかかる時間は、ご利用の回線の通信速度、ネットワークの状況、サーバーの混雑状況によって変動します。
- 本商品はPPPoE機能を搭載していません。インターネットに接続するためには、別途ルータが必要になります。
- インターネットに接続できない環境では、ファームウェアのアップデートができません。
- 手順4で、最新のファームウェアが公開されていない場合は、下記の画面が表示されますので、設定ボタンを押してください。

アタラシイコウソウジ ヨウホウハ
アリマセン
(1) OK

- アップデートに失敗すると、下記の画面が表示されますので、設定ボタンを押して、もう一度手順4からやり直してください。

アップデータニ
シツパ イシマシタ
(1) OK

1
お使用に
なる前に

2
本商品の
接続

3
本商品の
設定方法

4
電話機能の
使いかた

5
Web機能
について

6
ご参考に

7
お困り
のときは

8
付録

トラブルや疑問点がある場合

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、こちらをお読みください。

該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化して、初めから設定し直してください。初期化を行うと本商品の全ての設定が消去されますのでご注意ください。初期化を行う場合は、Web機能のバックアップを利用して、現在の設定内容をパソコンに保存しておくことをおすすめします。設定内容の保存方法については、「システムデータのバックアップ方法」(P82)を参照してください。

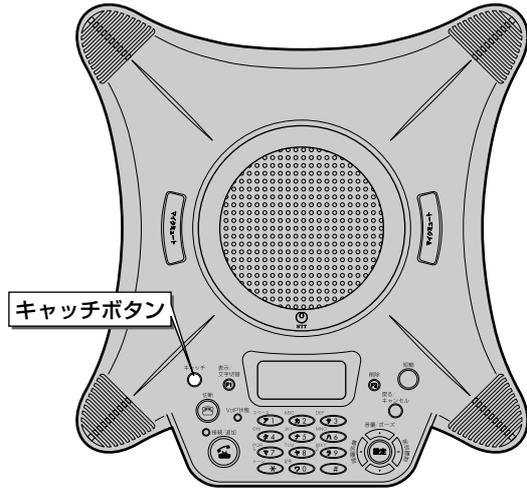
初期化の方法については、「本商品の初期化について」(P100)を参照してください。

症 状	原因と対策
接続／追加ボタンを押しても発信音が聞こえない	本商品の接続構成を確認してください。「2. 本商品の接続」(P24)
本商品からダイヤルしても発信音が停止しない	① 本商品の設定が加入電話回線契約（DP（ダイヤルパルス指定）／PB（プッシュホン信号指定））と一致しているか確認してください。一致していないときは本商品の設定を変更してください。
相手先が応答しない	① 相手先の電話番号を確認してください。
IP電話回線が利用できない（VoIP状態ランプが点灯しない）	① 本商品と他機器との接続構成および、本商品背面のLANポート等、ケーブルの種類や接続状態を再度ご確認ください。「2. 本商品の接続」(P24) ② 「ネットワーク設定を行うには」(P44)を再度確認してください。 ③ 加入電話回線を選択する電話番号「0000」（ゼロ4桁）をダイヤルしている場合があります。電話番号をご確認ください。 ④ 本商品がIP電話サービスをご利用いただけない状態になっている可能性があります。本商品を再起動してください。
相手を呼び出せない（「外部」・「回線／LAN」切替スイッチを「回線／LAN」側で使用時）	① ケーブル類の接続が間違っている可能性があります。正しく接続してください。 ② ケーブル類が抜けている可能性があります。正しく差し込んでください。 ③ ケーブル類が傷んでいる可能性があります。交換してください。 ④ 回線種別などの設定が間違っている可能性があります。正しく設定してください。
スピーカから音が出ない	① ケーブル類の接続が間違っている可能性があります。正しく接続してください。 ② ケーブル類が抜けている可能性があります。正しく差し込んでください。 ③ ケーブル類が傷んでいる可能性があります。交換してください。 ④ 外部機器の設定、操作が間違っている可能性があります（外部機器を接続して使用時）。正しく設定、操作してください。 ⑤ 相手側の音声を送信OFFになっている可能性があります。
外部スピーカから音が出ない 外部スピーカからの音が小さい	① ケーブル類が抜けている可能性があります。正しく差し込んでください。 ② 外部スピーカの仕様が本商品と合っていない可能性があります。本商品の仕様に合った外部スピーカを接続してください。

症状	原因と対策
こちらの音声相手が伝わらない	<ul style="list-style-type: none"> ① ケーブル類の接続が間違っている可能性があります。正しく接続してください。 ② ケーブル類が抜けている可能性があります。正しく差し込んでください。 ③ ケーブル類が傷んでいる可能性があります。交換してください。 ④ マイクミュートの状態になっている可能性があります。マイクミュートボタンを押して解除してください。 ⑤ 参加者とマイクの距離に問題がある可能性があります。参加者との距離を調節してください。または、集音範囲の設定を変更してください。 ⑥ 外部機器の設定、操作が間違っている可能性があります（外部機器を接続して使用時）。正しく設定、操作してください。 ⑦ 外部マイクのケーブルが抜けている可能性があります（外部マイク使用時）。正しく差し込んでください。 ⑧ 外部マイクの仕様が本商品と合っていない可能性があります（外部マイク使用時）。本商品の仕様に合った外部マイクを接続してください。 ⑨ 内部マイクをOFFに設定している可能性があります。外部マイクを使用しない場合には、内部マイクをONに設定してください。
エコーやハウリングが発生する	<ul style="list-style-type: none"> ① マイクやスピーカの近くに物を置いている可能性があります。本商品や外部マイク、外部スピーカのそばには物を置かないでください。 ② 壁の近くに設置している可能性があります。本商品や外部マイク、外部スピーカを壁から離して設置してください。 ③ 音量を必要以上に大きくしている可能性があります。音量を調節してください。 ④ 外部マイクが単一指向性でない可能性があります。単一指向性のマイクを使用してください。 ⑤ 外部マイクが本商品や外部スピーカの方に向いている可能性があります。外部マイクを本商品や外部スピーカと反対向きに設置してください。 ⑥ 本商品2台を2回線以上接続したり、リング状接続で多地点接続をしている可能性があります。正しく多地点接続してください。 ⑦ 電話機コードが電話機コード差込口に正しく差し込まれていない、または差し込まれていない状態で加入電話回線から発信している可能性があります。正しく電話機コードを差し込んでください。
電源アダプタのコンセントを差し込んだのに本商品が起動しない	電源アダプタのケーブルが本商品に接続されているか確認してください。
Webログイン用のユーザIDやパスワードを忘れてしまった	設定メニューから、Webログイン用のユーザIDやパスワードを変更してください。詳しくは、『取扱説明書・システムデータ設定編』を参照してください。
ディスプレイに“Safety Mode”と表示された	本商品に異常があることが考えられます。お取扱相談センタへご連絡ください。

各種サービスを利用するには

加入電話回線の利用時に、キャッチホンサービス、三者通話のできるトリオホンサービス、およびダイヤル回線におけるプッシュホンサービスを利用できます。



キャッチホンサービスを利用する

キャッチホンサービスは、通話中にかかってきた電話を受けるサービスです。キャッチホンサービスを利用するには、次のように操作します。

1 通話中に「キャッチホン」の信号音が聞こえたら、相手の方に待っていたように伝え、キャッチボタンを押します。

ツウ (IPO/TEL1) PB

キャッチ



2 かけてきた相手とお話しします。

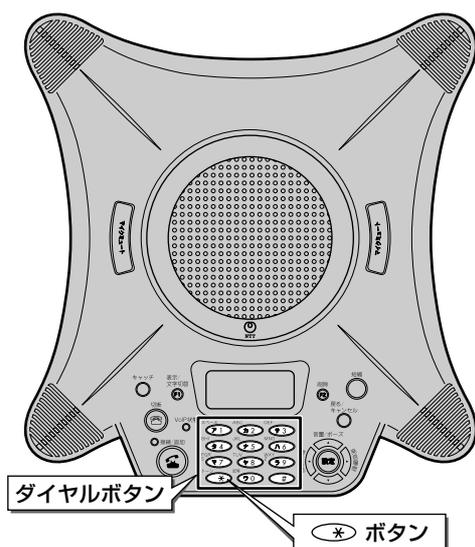


もう一度キャッチボタンを押すと、前の相手の方とお話しすることができます。



お知らせ

- キャッチホンサービスおよびトリオホンサービスを利用するには、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 本商品は、ナンバー・ディスプレイサービスには対応していません。
- キャッチホンサービスをご利用になるとき以外で、お話し中にキャッチボタンを押すと、加入電話回線との通話が切れてしまいますのでご注意ください。
- キャッチホンサービスは、加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。



プッシュホンサービスを利用する (DP→PB切替)

ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには、次のように操作します。

1 電話をかけます。

TELハッソ

2 相手が応答して通話中に * ボタンを押します。

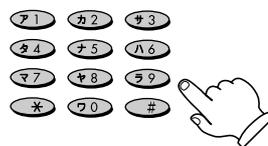
“PB” が表示されます。

TELハッソ PB



プッシュ回線をご利用の場合は * ボタンを押す必要はありません。

3 必要なダイヤルボタンを押します。



お知らせ

- プッシュホンサービスには、以下の種類があります。
 - ・クレジット通話サービス
 - ・ポケットベルサービス
 - ・銀行ANSERサービス
 - ・ホームテレホンにおけるテレコントロール
 - ・留守番電話へのリモコン操作 など
- 銀行ANSERサービスなどの一部システムでは、サービスを利用できない場合があります。
- 加入電話回線をご利用の場合、プッシュホンサービスご利用後、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。
- #8300番、#8501番など1桁目が*や#の番号を利用するときは、プッシュ回線の契約が必要です。

1
お使用に
なる前に

2
本商品
の接続

3
本商品
の設定
方法

4
電話
機能
の使
いか
た

5
W
e
b
機
能
に
つ
い
て

6
ご
参
考
に

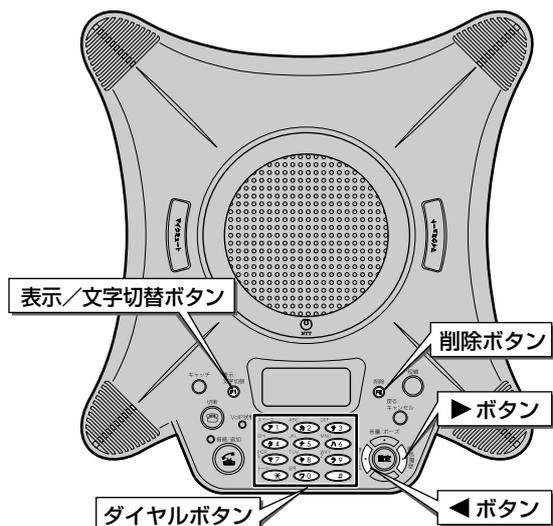
7
お
困
り
の
時
に
は

8
付
録

文字入力について

半角文字のカタカナ、英字、数字、記号を入力できます。ここでは、文字入力の方法について説明します。

短縮ダイヤルの登録方法については、「短縮ダイヤルを登録するには」(●P72)を参照してください。



＜例＞短縮ダイヤルの名称を登録する画面で、「NTT タロウ」と入力する場合

1 表示/文字切替ボタンを押して入力モードを切り替えます。

メイショウ? (ア)
-

表示/
文字切替



名称の入力画面では、最初はカナ入力モードになっています。

表示/文字切替ボタンを押すごとに、カナモード(ア)→英字モード(a)→数字モード(1)→カナモード(ア)の順に切り替わります。

ここでは、カナモードから英字モードに切り替えるために、表示/文字切替ボタンを1回押します。

メイショウ? (a)
-

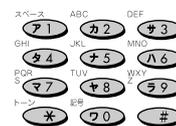
2 入力したい文字が割り当てられているダイヤルボタンを押します。

「文字入力モード別入力ボタン対応表」(●P111)を参照してください。

ここでは、次のように押します。

- ① 「N」 : ^{MNG} (Λ6) を5回押す
- ② 「T」 : ^{TUV} (ヤ8) を4回押す
- ③ カーソルを右に移動 : ▶ ボタンを1回押す
- ④ 「I」 : ^{TUV} (ヤ8) を4回押す

メイショウ? (a)
NTI



ワンポイント

- 入力文字を削除するには
削除ボタンを押します。カーソル上の文字が1文字削除されます。
- 入力中にカーソルを左右に移動させるには
左に移動するときは◀ボタン、右に移動するときは▶ボタンを押します。

3 表示/文字切替ボタンを押して入力モードを切り替えます。

ここでは、英字モードからカナモードに切り替えるために、表示/文字切替ボタンを2回押します。



表示 / 文字切替

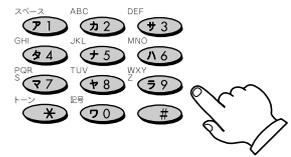
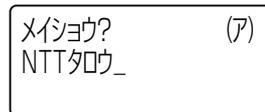


4 入力したい文字が割り当てられているダイヤルボタンを押します。

「文字入力モード別入力ボタン対応表」(←下記)を参照してください。

ここでは、次のように押します。

- ①「タ」: ^{GHI} タ4 を1回押す
- ②「ロ」: ^{WXYZ} ラ9 を5回押す
- ③「ウ」: ^{スペース} ア1 を3回押す
- ④ 文字の決定: ▶ ボタンを1回押す



文字入力モード別入力ボタン対応表

ダイヤルボタンの1つのボタンには、複数の文字や機能が割り当てられています。ボタンを繰り返し押すと文字が切り替わります。

文字モード ボタン	数字 モード	カナモード	英字モード
^{スペース} ア1	1	アイウエオ アイウエオ	(空白)
^{ABC} カ2	2	カキクケコ	a b c A B C
^{DEF} サ3	3	サシスセソ	d e f D E F
^{GHI} タ4	4	タチツテトッ	g h i G H I
^{JKL} ナ5	5	ナニヌネノ	j k l J K L
^{MNO} ハ6	6	ハヒフハホ	m n o M N O
^{PQR S} マ7	7	マミムメモ	p q r s P Q R S
^{TUV} ヤ8	8	ヤユヨヤユヨ	t u v T U V
^{WXYZ} ラ9	9	ラリルレロ	w x y z W X Y Z
^{EP} ア0	0	ワヲソ`° - (空白) 「」。、・	. @ / : ! () , - _ ' ~ & ¥ * # " \$ % + ; < = > ? [] ^ ` { }
^{トーン} *	*	—	—
#	#	—	—
	P (ポーズ)	—	—
	—	カーソルを左に移動	—
	—	カーソルを右に移動 (カナ・英字モードの場合は文字の決定)	—
表示 / 文字切替 F1	—	文字モードの切り替え カナを入力できる項目 : カナモード→英字モード→数字モード→カナモード 英数字のみ入力する項目 : 英字モード→数字モード→英字モード 数字のみ入力する項目 : 数字モード固定	—
削除 F2	—	入力文字の1文字削除	—

1 使いに
なる前に

2 本商品の
接続

3 本商品の
設定方法

4 電話機能の
使いかた

5 W
について
機能

6 参考に

7 お困りの
ときには

8 付
録

数字

- 10BASE-T** ……IEEE802.3で規格されたもので、データ転送速度が10 Mbps、伝送媒体としてツイストペアケーブル（通常、LAN機器とHUBを接続するような場合に使用されるケーブル）を用います。
- 100BASE-TX** ……IEEE802.3uで規格された高速LANの1つで、データ転送速度が100 Mbps、伝送媒体としてツイストペアケーブル（通常、LAN機器とHUBを接続するような場合に使用されるケーブル）を用います。

アルファベット

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスやDNSサーバアドレスなど、ネットワーク端末の設定情報を動的に割り付けるプロトコルです。

DNS (Domain Name System)

ネットワークのIPアドレスとドメイン名を解決するためのシステムで、ドメイン名から対応するIPアドレスへの変換／逆変換を行います。

- HUB** ……HUBはネットワークに機器を接続させる中継器としての役割を持ち、複数のHUBを接続することによりネットワークにより多くの機器を接続することができるようになります。

- IPアドレス** ……ネットワーク上の機器を特定するために使用される番号です。IPアドレスは、「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で表され、ネットワーク内の全ての機器に個別のIPアドレスが割り当てられています。ローカルネットワークで使われるIPアドレスを「プライベートIPアドレス」といい、インターネットで使われるIPアドレスを「グローバルIPアドレス」といいます。

- IPアドレス接続** ……インターネット網やIP-VPNを利用して、サーバを経由せずに、電話機どうしが直接接続して通話する方法です。発着信にはIPアドレスを使用します。「IPアドレス指定により接続する (IPアドレス接続)」(●P27)

- MACアドレス** ……MACアドレスは、イーサネットに接続時に使用される物理的なアドレスで、データ通信時に送信先／送信元アドレスで使用されるものです。MACアドレスとイーサネットアドレスは同義語です。MACアドレスは6バイトからなり、LAN端末ごとに一意に割り当てられています。(MACアドレスは、LANのインタフェースに世界で1つ割り当てられる番号です。また、変更も不可能です。)

SIP (Session Initiation Protocol)

VoIPを応用したIP電話などで用いられる通信制御プロトコルのことです。

SIPサーバ (Session Initiation Protocol Server)

IP電話サービスネットワーク内に設置され、各装置のIP電話サービスへの登録および、装置間の通話確立などを仲介するサーバです。プロキシサーバ、レジスタサーバから構成します。

VoIP (Voice over IP)

インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに音声を送る技術のことです。

Webブラウザ ……Webページ (WWWシステムを使ってインターネット上で公開されている文書) を閲覧 (ブラウザ) するためのソフトウェア。代表的なものとしてInternet Explorerがあります。

五十音

【ア行】

イーサネット ……1970年代に米国ゼロックス社が開発し、現在では代表的なLANの規格の1つです。LANの標準化組織であるIEEE802委員会が標準化したIEEE802.3とイーサネットとは同義語として扱われることがあります。

エコーキャンセラ ……発信した音声がかえって戻ってくる現象を弱める機能のことです。

【カ行】

回線終端装置 ……デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置です。BフレッツではONU (Optical Network Unit) などを指します。

外線接続 ……本商品をIP電話サービスに接続して利用する方法です。「IP電話サービスに接続する (外線接続)」 (●P24)

【サ行】

サブネットマスク ……IPアドレスのネットワーク部分を識別するためのマスクを表します。

自IPアドレス ……本商品に設定した (または自動取得した) IPアドレスです。

ジッタバッファ ……IPネットワーク上で発生する音声パケットの到着時刻のゆらぎを吸収する機能です。

【タ行】

着信音 ……電話がかかってきたときに鳴る呼出音のことです。

【ナ行】

内線接続 ……本商品をビジネスホンに接続して、IP内線端末として利用する接続方法です。内線と外線の発着信ができます。「ビジネスホンに接続する (内線接続)」 (●P26)

ノイズリダクション ……周囲の雑音が入っても、ノイズを抑えてクリアな音声を相手に伝えます。

【ハ行】

ハンズフリー ……ハンドセットを使わずに、内蔵マイクと内蔵スピーカで通話することです。

ひかり電話 ……NTT東日本またはNTT西日本が提供する「Bフレッツ」または「フレッツ 光ネクスト」を利用した光IP電話サービスです。

ひかり電話

オフィスタ입 ……NTT東日本またはNTT西日本が提供する「Bフレッツ」または「フレッツ 光ネクスト」を利用した事業所向け光IP電話サービスです。

ひかり電話対応

ホームゲートウェイ ……NTT東日本またはNTT西日本が提供するひかり電話を利用するために必要な回線と電話機等を接続するためのIP電話対応機器のひとつです。

ひかり電話対応

オフィスゲートウェイ …NTT東日本またはNTT西日本が提供する、ひかり電話オフィスタイプを利用するために必要な回線と電話機等を接続するためのIP電話対応機器のひとつです。

ファームウェア ……本商品に内蔵されていて、本商品の動作を制御するソフトウェアのことを指します。ファームウェアは機能の追加や不具合の修正のためにあとから変更できるようになっており、ファームウェアの更新を行うことで、購入後でも最新機能をご利用いただくことができます。

プラグインパワー ……電池を必要とせず、接続した機器から電力供給を受ける仕様のことです。

プリセットダイヤル …電話番号を入力し、確認してから発信する機能のことです。

【マ行】

マイクミュート ……こちらの音声を相手に聞こえないようにします。

メニュー設定 ……ディスプレイを見ながらメニュー操作を行うことにより、各種の登録・設定を行うことです。メニューは、通話音声設定、短縮設定、音／ランプ設定、ネットワーク設定などに分かれています。また、自IPアドレス、バージョン情報などもメニューから確認できます。

【ラ行】

ルータ (Router) ……LANどうしやLANとWANを接続するための中継装置です。

アルファベット

IPアドレス接続	27
IP電話の設定	43
TEL専用モード	29
VoIP優先モード	28
Web機能	78
再起動	92
ログアウト	81
ログイン	78

五十音

【ア行】

エコーキャンセラ	12
音声入出力端子	36

【カ行】

外線接続	24
外部機器接続モード	30
外部スピーカ端子	38
外部マイク端子	38
各地点の電話番号を表示する	68
各部（ボタン・端子・スイッチ等）の機能	18
各部（ボタン・端子・スイッチ等）の名前	18
加入電話回線を選択して電話をかける	56
起動時の動作	40
キャッチホン	70、108
緊急通報発信	57
構成品	17
広帯域音声コーデック	12

【サ行】

再起動	41
自IPアドレスの確認	98
システムデータのバックアップ	82
システムデータのリストア	84
システム動作モード	28
集音範囲	14、31
終話	69
手動アップデート	104
受話音量	50
仕様	116
初期化	100
初期化スイッチによる操作	101
メニューによる操作	102

接続

IP回線	33
外部機器	35
外部スピーカ	38
外部マイク	38

加入電話回線	34
録音機器	37
接続方式	24
切断先選択	69
設置	31

【タ行】

多地点接続	65
短縮ダイヤル	
電話をかける	58
登録	72
着信音量	48
着信履歴	62
通話地点表示	77
通話中に新たに電話をかける	66
通話中にかかってきた電話を受ける	67
ディスプレイの見かた	23
電源を入れる	39
電話を受ける（着信）	64
電話をかける（発信）	52
トラブル	106

【ナ行】

内線接続	26
ネットワーク設定	44
ノイズリダクション	12

【ハ行】

バージョンの確認	96
発信者番号通知	71
発信履歴	60
ファームウェアの更新	88
プッシュホンサービス	109
プリセットダイヤル	54
方向別AGC（自動音量調整）	14
方向ランプ	76
保証および保守サービス	117

【マ行】

マイクミュート	51
メニュー構成	94
文字入力	110

【ヤ行】

用語の説明	112
-------	-----

【ラ行】

ランプ表示	20、22
録音端子	37

【ワ行】

話者方向表示	76
--------	----

1

お使用に
なる前に

2

本商品の
接続

3

本商品の
設定方法

4

電話機能の
使いかた

5

Web機能
について

6

ご参考に

7

お困り
のときは

8

付録

項 目		仕 様
回線インタフェース (一般加入電話回線)	適用回線	一般加入電話回線/PBX
	接続コネクタ	RJ-11×1
	ダイヤル種別	PBまたはDP (10 pps、20 pps)
LANインタフェース (VoIP回線)	接続コネクタ	RJ-45×1
	伝送速度	10Base-T/100Base-TX自動切替
	呼接続手順	SIP
	音声CODEC	G.711 (μ -law)、 広帯域コーデック (UEMCLIP)
音声信号インタフェース	内蔵マイク	4個 (装置としては全指向性)
	内蔵スピーカ	1個
	アナログライン端子	RCAピンジャック×2 (音声入力/出力)
	外部マイク端子	ϕ 3.5 mmモノラルミニジャック×2
	外部スピーカ端子	ϕ 3.5 mmステレオミニジャック×1
	録音端子	ϕ 3.5 mmステレオミニジャック×1
寸法・質量	本体寸法	約W274×D295×H77 [mm]
	本体質量	約1.5 kg
動作環境	電源電圧	AC100 V \pm 10 V、50/60 Hz
	消費電流	最大0.6 A
	温度範囲	5 $^{\circ}$ C~40 $^{\circ}$ C
	湿度範囲	20%~85% (結露のないこと)
外部規格	VCCI	VCCI基準 クラスAに適合

1
お
使
い
に
前
に

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをおすすめしています。

保守サービスの種類は、以下のとおりです。

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

2
本
商
品
の
接
続3
本
商
品
の
設
定
方
法4
電
話
機
能
の
使
い
か
た5
W
e
b
機
能
に
つ
い
て6
ご
参
考
に7
お
困
り
の
時
に
は8
付
録

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

IP電話対応機器取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-710444

（03-5667-7200※）

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-109217

東海、北陸、近畿、中国、四国地区（06-6341-5411※）

九州地区（092-720-4862※）

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

MEMO

MEMO

注 意

本商品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。

本商品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法にもとづく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

IP電話対応機器取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

☎ 0120-710444

(03-5667-7200※)

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります

受付時間 9:00~21:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

☎ 0120-109217

東海、北陸、近畿、中国、四国地区(06-6341-5411※)

九州地区 (092-720-4862※)

※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります

受付時間 9:00~21:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2008 NTTEAST・NTTWEST



本2777-3(2008.3)
MB-1000 トリセツ